

送達スヘシ第六十二條第二項ノ規定ハ此決定ニ之ヲ準用ス
檢事ハ前項ノ決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得此抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第六十六條 禁治産ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得ル者ハ其申立ヲ却下シタル決定ニ對シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第五十六條乃至第六十條、第六十一條第一項及ヒ第六十二條ノ規定ハ前項ノ訴ニ之ヲ準用ス

第六十七條 準禁治産ニ關スル手續ニハ本章ノ規定ヲ準用ス

第四十三條、第四十七條及ヒ第四十八條ノ規定ハ浪費者ニ之ヲ適用セ

第三條第二項乃至第四項ノ規定ハ準禁治産者ニ之ヲ適用セ

第六十八條 準禁治産ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得ル者ハ民法第十二條第二項ノ規定ニ依リテ爲シタル宣告ノ取消又ハ變更ヲ申立ツルコトヲ得此場

合ニ於テハ準禁治産ノ取消ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十九條 本章ノ規定ニ依リテ爲スヘキ宣告ノ方法ハ司法大臣之ヲ定ム

第七十條 失踪ニ關スル手續

第七十一條 失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ハ不在者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第一條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十二條 公示催告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 不在者ハ公示催告期日マテニ其生存ノ届出ヲ爲スヘク其届出ヲ爲

ササルトキハ失踪ノ宣告ヲ受クヘキコト

二 不在者ノ生死ヲ知ル者ハ公示催告期日マテニ其届出ヲ爲スヘキコト

公示催告期間ハ六個月以上ナルコトヲ要ス

第七十三條 不在者ノ出生後百年以上ヲ經過シタル場合ニ於テハ公示催告ノ公告ハ裁判所ノ掲示板ニ揭示スルヲ以テ足ル

前項ノ場合ニ於テハ公示催告期間ハ其公告ノ日ヨリ二個月以上ナルヲ以テ足ル

第七十四條 檢事ハ失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ニ付キ意見ヲ述ヘ且審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ立會フコトヲ得

第四十二條第二項、第四十五條第二項及ヒ第四十六條ノ規定ハ本章ノ手續ニ之ヲ準用ス

第七十五條 各利害關係人ハ共同ノ申立人トシテ手續ニ加ハリ又ハ申立人ニ代ハリテ手續ヲ續行スルコトヲ得

第七十六條 不在者カ其生存ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テ申立人カ其事實ヲ認メサルトキハ判決ノ確定ニ至ルマテ公示催告手續ヲ中止スヘシ

第七十七條 失踪ノ宣告ニ關スル手續ノ費用ハ失踪ノ宣告アリタル場合ニ於テハ相續財産ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ申立人ノ負擔トス

第七十八條 失踪ノ宣告ノ判決ニ對シテ不服ヲ申立ツル訴ハ利害關係人ヨリ之ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ訴ニ付テハ失踪ノ宣告ノ申立人カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ相手方トス此場合ニ於テハ第二條第四項及ヒ第五項ノ規定ヲ準用ス

第七十九條 數個ノ不服申立ノ訴アルトキハ裁判所ハ之ヲ併合スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第六十二條及ヒ第六十三條ノ規定ヲ適用ス

第八十條 民法第三十二條ニ依ル失踪ノ宣告ノ取消ハ其判決ニ對スル不服

申立ノ訴ヲ以テ之ヲ請求スルコトヲ得但失踪者ノ生存スルコトヲ理由トスル場合ニ於テハ民事訴訟法第七百七十五條ノ規定ヲ適用セ

附則

第八十一條 本法ハ民法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八十二條 明治二十三年法律第四百號其ノ他從前ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ抵触シ又ハ重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第八十三條 本法施行前ニ提起シタル訴ニシテ其ノ判決確定セサルモノニハ本法ノ規定ヲ適用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和四、勅令一〇五ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行)

○禁治産及準禁治産ニ關スル公告方

明治三十一年七月八日 司法省令第九號

人事訴訟手續法第三章ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ハ裁判ノ要旨ヲ官報及ヒ法人ノ登記ノ公告ニ付キ選定シタル新聞紙上ニ少クモ一回掲載シテ之ヲ爲スヘシ但上級裁判所ノ裁判ノ公告ハ其ノ所在地ノ區裁判所カ選定シタル新聞紙ニ掲載シテ之ヲ爲スヘシ
前項ノ新聞紙ナキトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ裁判所ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲スヘシ

第三節 非訟事件手續

○非訟事件手續法

明治三十一年六月二十一日 (總理、司法大臣、副署) 法律第十四號

第二編 民事 第七章 民事手續 非訟事件手續法

改正 明治三十二年第一號、四十四年第七四號

大正二年第一九號、一一年第六三號、第七一號、一五年第六七號

昭和二年第三三號、四年第六〇號、六年第四二號、九年第三三號

非訟事件手續法

第一編 總則

第二編 民事非訟事件

第一章 法人ニ關スル事件

第二章 財産ノ管理ニ關スル事件

第三章 信託ニ關スル事件

第四章 裁判上ノ地位ニ關スル事件

第五章 保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件

第六章 隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件

第七章 相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第八章 遺言ノ確認及ヒ執行

第九章 法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記

第三編 商事非訟事件

第一章 會社及ヒ競賣ニ關スル事件

第二章 會社ノ清算ニ關スル事件

第三章 商業登記

第一節 通則

第二節 商號ノ登記

第三節 未成年者、妻及ヒ法定代理人ノ登記

第四節 支配人及ヒ會社ノ清算人ノ登記

第五節 合名會社及ヒ合資會社ノ登記

第六節 株式會社ノ登記

第七節 株式合資會社ノ登記

第八節 外國會社ノ登記

附則

非訟事件手續法

第一編 總則

第一條 裁判所ノ管轄ニ屬スル非訟事件ニ付テハ本法其他ノ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本編ノ規定ヲ適用ス

第二條 裁判所ノ土地ノ管轄カ住所ニ依リテ定マル場合ニ於テ日本ニ住所ナキトキ又ハ日本ノ住所ノ知レサルトキハ居所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

居所ナキトキ又ハ居所ノ知レサルトキハ最後ノ住所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

最後ノ住所ナキトキ又ハ其住所ノ知レサルトキハ財産ノ所在地又ハ司法大臣ノ指定シタル地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス相續開始地ノ裁判所カ管轄裁判所ナル場合ニ於テ相續カ外國ニ於テ開始シタルトキ亦同シ

第三條 數個ノ管轄裁判所アル場合ニ於テハ最初事件ノ申立ヲ受ケタル裁判所其事件ヲ管轄ス但其裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ適當ト認ムル他ノ管轄裁判所ニ事件ヲ移送スルコトヲ得

第四條 管轄裁判所ノ指定ハ裁判所構成法第十條第一號ニ掲ケタル場合ノ外數個ノ裁判所ノ土地ノ管轄ニ付キ疑アルトキ之ヲ爲ス

管轄裁判所ノ指定ハ關係アル裁判所ニ共通スル直近上級裁判所申立ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ爲ス此決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五條 裁判所職員ノ除斥ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準

用ス

第六條 事件ノ關係人ハ訴訟能力者ヲシテ代理セシムルコトヲ得但自身出頭ヲ命セラレタルトキハ此限ニ在ラス

裁判所ハ辯護士ニ非スシテ代理ヲ營業トスル者ニ退斥ヲ命スルコトヲ得此命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七條 民事訴訟法第八十條ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス但私文書ニ認證ヲ受クヘキ旨ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條 民事訴訟法第五十條ノ規定ハ申立及ヒ陳述ニ之ヲ準用ス

第九條 申立ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ代理人之ニ署名捺印スヘシ

- 一 申立人ノ氏名、住所
- 二 代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其氏名、住所
- 三 申立ノ趣旨及ヒ其原因タル事實
- 四 年月日
- 五 裁判所ノ表示

證據書類アルトキハ其原本又ハ謄本ヲ添附スヘシ

第十條 期日、期間、疏明ノ方法、人證及ヒ鑑定ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス

第十一條 裁判所ハ職權ヲ以テ事實ノ探知及ヒ必要ト認ムル證據調ヲ爲スヘシ

第十二條 事實ノ探知、呼出、告知及ヒ裁判ノ執行ニ關スル行爲ハ之ヲ囑託スルコトヲ得

第十三條 審問ハ之ヲ公行セス但裁判所ハ相當ト認ムル者ニ傍聽ヲ許スコトヲ得

第十四條 證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ付テハ調書ヲ作ラシメ其他ノ審問ニ付

テハ必要ト認ムル場合ニ限リ之ヲ作ラシムヘシ

第十五條 檢事ハ事件ニ付キ意見ヲ述ヘ審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ヲ立會フコトヲ得

事件及ヒ審問期日ハ檢事ニ之ヲ通知スヘシ

第十六條 裁判所其他ノ官廳、檢事及ヒ公吏ハ其職務上檢事ノ請求ニ因リテ裁判ヲ爲スヘキ場合カ生シタルコトヲ知リタルトキハ之ヲ管轄裁判所ノ檢事ニ通知スヘシ

第十七條 裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

裁判ノ原本ニハ判事署名、捺印スヘシ但申立書又ハ調書ニ裁判ヲ記載シ判事之ニ署名、捺印シテ原本ニ代フルコトヲ得

裁判ノ正本及ヒ謄本ニハ書記署名、捺印シ且正本ニハ裁判所ノ印ヲ捺捺スヘシ

第十八條 裁判ハ之ヲ受クル者ニ告知スルニ因リテ其效力ヲ生ス

裁判ノ告知ハ裁判所ノ相當ト認ムル方法ニ依リテ之ヲ爲ス

告知ノ方法、場所及ヒ年月日ハ之ヲ裁判ノ原本ニ記入スヘシ

第十九條 裁判所ハ裁判ヲ爲シタル後其裁判ヲ不當ト認ムルトキハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

申立ニ因リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ於テ申立ヲ却下シタル裁判ハ申立ニ因ルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

即時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル裁判ハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

第二十條 裁判ニ因リテ權利ヲ害セラレタル者ハ其裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

申立ニ因リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ於テ申立ヲ却下シタル裁判ニ對

シテハ申立人ニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 抗告ハ特ニ定メタル場合ヲ除ク外執行停止ノ效力ヲ有セス

第二十二條 當事者カ其責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ即時抗告ノ期間ヲ遵守スルコト能ハサル場合ニ於テハ其事由ノ止ミタル後一週間内ニ限リ懈怠シタル行爲ノ追完ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 抗告裁判所ノ裁判ニハ理由ヲ附スルコトヲ要ス

第二十四條 削除

第二十五條 抗告ニハ特ニ定メタルモノヲ除ク外民事訴訟法ノ抗告ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十六條 裁判前ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ特ニ其負擔者ヲ定メタル場合ヲ除ク外事件ノ申立人ノ負擔トス但檢事カ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第二十七條 裁判所ハ前條ノ費用ニ付キ裁判ヲ爲スコトヲ必要ト認ムルトキハ其額ヲ確定シテ事件ノ裁判ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第二十八條 裁判所ハ特別ノ事情アルトキハ本法ノ規定ニ依リテ費用ヲ負擔スヘキ者ニ非サル關係人ニ費用ノ全部又ハ一部ノ負擔ヲ命スルコトヲ得

第二十九條 民事訴訟法第九十三條ノ規定ハ共同ニテ費用ヲ負擔スヘキ者數人アル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 費用ノ裁判ニ對シテハ其負擔ヲ命セラレタル者ニ限リ不服ヲ申立ツルコトヲ得但獨立シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第三十一條 費用ノ債權者ハ費用ノ裁判ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得

民事訴訟法第六編ノ規定ハ前項ノ強制執行ニ之ヲ準用ス但執行ヲ爲ス前

裁判ヲ送達スルコトヲ要セス
費用ノ裁判ニ對スル抗告アリタルトキハ民事訴訟法第五百條ノ規定ヲ準
用ス

第三十二條 職權ヲ以テ爲ス探知、證據調、呼出、告知其他必要ナル處分
ノ費用ハ國庫ニ於テ之ヲ立替フヘシ
第三十三條 本編ニ於ケル申立トハ申立、申請及ヒ申述ヲ謂フ

第二編 民事非訟事件

第一章 法人ニ關スル事件

第三十四條 民法第四十條ニ定メタル事件ハ法人ノ設立者カ死亡ノ時ニ有
シタル住所ノ區裁判所ノ管轄トス

法人ノ設立者カ日本ニ住所ヲ有セザリシトキ又ハ其住所カ知レサルトキ
ハ其死亡ノ時ノ居所地又ハ法人設立地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三十五條 假理事又ハ特別代理人ノ選任ハ法人ノ主タル事務所所在地ノ
區裁判所ノ管轄トス

法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ハ其主タル事務所所在地ノ區裁判所ノ管轄ト
ス

第三十六條 裁判所ハ特ニ選任シタル者ヲシテ法人ノ監督ニ必要ナル検査
ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條 第三百三十六條乃至第三百三十八條及ヒ第七百七十五條乃至第七
十七條ノ規定ハ法人ノ清算人ニ之ヲ準用ス

第三十七條ノ二 第二百二十九條ノ三及ヒ第二百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所
カ法人ノ清算人又ハ第三百三十六條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スヘキ者ヲ選任シ
タル場合ニ之ヲ準用ス

第二章 財産ノ管理ニ關スル事件

前二項ノ規定ハ設定シタル抵當權ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ之ヲ準用ス
第四十六條 裁判所カ財産ノ封印ヲ命シタル場合ニ於テハ管轄區裁判所之
ヲ爲ス

利害關係人、管理人及ヒ檢事ハ封印ノ手續ニ立會フコトヲ得

第四十七條 左ニ掲ケタル物ニハ封印ヲ爲スヘカラス

一 日用品

二 封印ヲ爲スニ適セサル物

三 第三者ノ占有ニ屬スル物但其提出ヲ拒マサルトキハ此限ニ在ラス
第四十八條 封印ニハ判事ノ職印ヲ用ユヘシ

民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封印ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四十九條 裁判所ハ封印ヲ爲シタルトキハ財産ノ保管者ヲ選任スヘシ

第四十條、第四十條ノ二、民法第六百五十八條第一項、第六百五十九條
乃至第六百六十一條及ヒ第六百六十四條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル保
管者ニ之ヲ準用ス但民法第六百六十條ノ通知ハ之ヲ檢事ニ爲スコトヲ要
ス

第五十條 封印ヲ爲シタルトキハ書記ハ直チニ調書ヲ作ルヘシ

調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ

一 封印ヲ命シタル裁判ノ表示

二 封印ノ手續ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ其事由

三 申立人ノ氏名、住所

四 封印ヲ爲シタル物件、家屋又ハ倉庫

五 封印ヲ爲サザリシ物件ノ概略及ヒ其事由

調書ハ二通ヲ作り其一通ハ之ヲ裁判所ニ保存シ其一通ハ之ヲ保管者ニ交
付シテ受領證ヲ取置クヘシ

第二編 民事 第七章 民事手續 非訟事件手續法

第三十八條 不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ハ其住所地ノ區裁判所ノ管
轄トス

第三十九條 裁判所ハ管理人ヲ選任シ又ハ改任スヘキ場合ニ於テハ利害關
係人ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第四十條 裁判所ハ何時ニテモ其選任シタル管理人ヲ改任スルコトヲ得
管理人ハ其任務ヲ辭セントスルトキハ裁判所ニ其旨ヲ届出ツヘシ此場合
ニ於テハ裁判所ハ更ニ管理人ヲ選任スヘシ

第四十條ノ二 管理人ノ選任又ハ改任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコ
トヲ得ス

第四十一條 裁判所ハ其選任シタル管理人ニ財産ノ狀況ヲ報告シ且管理ノ
計算ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

民法第二十七條第二項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ不在者カ置キタル管理人
ニモ前項ノ手續ヲ命スルコトヲ得

前二項ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四十二條 利害關係人ハ前條ノ報告及ヒ計算ニ關スル書類ノ閱覽ヲ申請
シ又ハ手数料ヲ納付シテ其原本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ前項ノ書類ヲ閱覽スルコトヲ得

第四十三條 民法第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十七條及ヒ
第六百五十條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル管理人ニ之ヲ準用ス

第四十四條 裁判所ハ管理人ヲシテ擔保ヲ供セシメタル後其増減、變更又
ハ免除ヲ命スルコトヲ得

第四十五條 裁判所ハ管理人ノ不動産又ハ船舶ノ上ニ抵當權ヲ設定スヘキ
コトヲ命シタルトキハ其設定ノ登記ヲ囑託スルコトヲ得
前項ノ囑託ニハ抵當權ノ設定ヲ命シタル裁判ノ原本ヲ添付スヘシ

第五十一條 裁判所ハ利害關係人、管理人又ハ檢事ノ請求ニ因リ民法第二
十五條第二項及ヒ本法第五十九條以外ノ場合ニ於テモ封印ノ除去ヲ命ス
ルコトヲ得

第四十六條、第五十條第一項及ヒ民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封
印ノ除去ニ之ヲ準用ス

保管者ハ封印ノ除去ニ立會フコトヲ得

第五十二條 裁判所ハ豫メ封印ヲ除去スヘキ期日ヲ定メ申立人、利害關係
人、保管者、管理人及ヒ檢事ニ之ヲ告知スヘシ

利害關係人、管理人及ヒ檢事ハ前項ノ期日前ニ裁判所ニ異議ヲ申立ツル
コトヲ得但民法第二十五條第二項及ヒ本法第五十九條ノ場合ハ此限ニ在
ラス

異議ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五十三條 異議ノ申立アリタルトキハ其申立ノ取下又ハ却下ノ後ニ非サ
レハ封印ヲ除去スルコトヲ得ス

封印ヲ除去シタルトキハ直チニ書記又ハ公證人ヲシテ財産ノ目錄ヲ調製
セシムヘシ但民法第二十五條第二項及ヒ本法第五十九條ノ場合ニ於テ立
會人カ之ヲ調製セザルコトニ同意シタルトキハ此限ニ在ラス

第五十四條 封印ノ除去ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ立會
人之ニ署名、捺印スヘシ

一 封印ノ除去ヲ命シタル裁判ノ表示

二 封印ノ除去ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ其事由

三 申立人ノ氏名、住所

四 異議ノ申立ナカリシコト又ハ其申立ノ取下若クハ却下アリタルコ
ト

第二編 民事 第七章 民事手續 非訟事件手續法

五 財産ノ目録ヲ調製セシメ又ハ之ヲ調製セシメサリシコト
六 封印ノ状況及ヒ異状アルトキハ其事由
調書ハ裁判所ニ之ヲ保存スヘシ

第五十五條 管理人カ調製スヘキ財産ノ目録ニハ左ノ事項ヲ記載シ管理人
及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ

一 調製ノ場所、年月日及ヒ其事由
二 申立人ノ氏名、住所

三 不動産ノ表示

四 動産ノ種類及ヒ數量

五 債權及ヒ債務ノ表示

六 帳簿、證書其他ノ書類

財産ノ目録ハ二通ヲ調製シ其一通ハ管理人ノ之ヲ保管シ其一通ハ之ヲ裁判
所ニ提出スヘシ

第四十六條第二項ノ規定ハ財産ノ目録ノ調製ニ之ヲ準用ス

第五十六條 民法第二十七條第一項及ヒ第二項ノ場合ニ於テ裁判所ハ公證
人ヲシテ財産ノ目録ヲ調製セシムヘキ旨ヲ管理人ニ命スルトコトヲ得管理
人カ調製シタル目録ヲ不充分ト認メタルトキ亦同シ

前項ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

前條ノ規定ハ本條第一項又ハ第五十三條第二項ノ規定ニ依リテ書記又ハ
公證人カ財産ノ目録ヲ調製スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 利害關係人ハ財産ノ目録ノ閲覧ヲ申請シ又ハ手数料ヲ納付シ
テ其原本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ財産ノ目録ヲ閲覧スルコトヲ得

第五十八條 裁判所ハ不在者ノ財産ヲ賣却セシムヘキ場合ニ於テハ該賣法

ノ規定ニ依リテ之ヲ賣却スヘキコトヲ命スヘシ

第五十九條 本人カ自ら其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキ又ハ
其死亡カ分明ト爲リ若クハ失踪ノ宣告アリタルトキハ裁判所ハ本人、利
害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命シタル處分ヲ取消スヘシ

第六十條 利害關係人ハ不在者ノ財産ノ管理若クハ保存ニ付キ處分ヲ命
シ、其處分ヲ取消シ又ハ管理人ニ其權限ヲ超ユル行爲ヲ爲スコトヲ許可
シタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

不在者カ置キタル管理人ハ其改任ヲ命シタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲
スコトヲ得抗告ノ期間ハ管理人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算
ス

第六十一條 裁判所カ職權ヲ以テ裁判ヲ爲シ又ハ申請ニ相當スル裁判ヲ爲
シタル場合ニ於テハ裁判前ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ不在者ノ財産
ノ負擔トス裁判所ノ命シタル處分ニ付キ必要ナル費用亦同シ

第六十二條 裁判所カ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テ
ハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ不在者ノ財
産ノ負擔トス

第六十三條 民法第八百九十二條第二項乃至第四項ノ財産ノ管理ニ關スル
事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三者カ數人ノ子ニ財産ヲ與ヘタル場合ニ於テ其住所カ異ナルトキ八年
少ノ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十四條 第三者カ被後見人ニ與ヘタル財産ノ管理ニ關スル事件ハ被後
見人ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十五條 民法第一千二百一十一條第二項、第三項及ヒ第一千二百一十二條ノ相續財
産ノ管理又ハ保存ニ關スル事件ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十六條 民法第九百七十八條ノ遺產ノ管理ニ關スル事件ハ相續人ノ廢
除又ハ其取消ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス

第六十七條 民法第一千四十三條ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件ハ財産分離
ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス

第六十八條 第三十九條乃至第六十二條ノ規定ハ前五條ノ掲ケタル事件ニ
之ヲ準用ス

第六十九條 民法第一千五十二條第二項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 申立人ノ氏名、住所

二 被相續人ノ氏名、身分、職業及ヒ最後ノ住所

三 被相續人ノ出生及ヒ死亡ノ場所並ニ其年月日

四 管理人ノ氏名、住所

第七十條 民法第一千五十八條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 前條第一號乃至第三號ノ掲ケタル事項

二 相續人ハ一定ノ期間内ニ其權利ヲ主張スヘキ旨ノ催告

第七十一條 民法訴訟法第七百六十六條ニ定メタル公告ノ方法ハ前二條ノ
公告ニ之ヲ準用ス

第三章 信託ニ關スル事件

第七十二條 信託法第八條第一項第三項、第二十二條第一項但書、第
二十三條、第四十一條、第四十六條乃至第四十八條及ヒ第五十八條ニ定
メタル事件ハ受託者ノ住所地ノ區裁判所、同法第四十九條第一項第四項
ニ定メタル事件ハ前受託者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トシ受託者又ハ前
受託者數人アル場合ニ於テハ其一人ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

信託法第四十九條第二項ニ定メタル事件ハ遺言者ノ最後ノ住所地ノ區裁
判所ノ管轄トス

第七十三條 代位ノ申請ニハ第九條ノ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載ス
ヘシ

一 債務者及ヒ第三債務者ノ氏名、住所

二 申請人ノ保全セントスル債權及ヒ其行ハントスル權利ノ表示

第七十四條 代位ノ申請ニハ第九條ノ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載ス
ヘシ

一 債務者及ヒ第三債務者ノ氏名、住所

二 申請人ノ保全セントスル債權及ヒ其行ハントスル權利ノ表示

第七十五條 裁判所ハ申請ヲ理由アリト認ムルトキハ擔保ヲ供セシメ又ハ供セシメスシテ之ヲ許可スルコトヲ得

第七十六條 申請ヲ許可シタル裁判ハ職權ヲ以テ之ヲ債務者ニ告知スヘシ

前項ノ告知ヲ受ケタル債務者ハ其權利ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第七十七條 申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

申請ヲ許可シタル裁判ニ對シテハ債務者ハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ債務者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第七十八條 抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ニ付テハ申請人及ヒ抗告人ヲ當事者ト看做シ民事訴訟法第八十九條ノ規定ニ從ヒテ其負擔者ヲ定ム

第七十九條 第十三條及ヒ第十五條ノ規定ハ本章ノ手續ニ之ヲ適用セス

第五章 保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件

第八十條 民法第二百六十二條第三項ノ證書保存者ノ指定ハ共有物ノ分割アリタル地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前共有者ヲ訊問スヘシ
裁判所カ第一項ノ指定ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ共有者ノ全員ノ負擔トス

第八十一條 民法第四百九十五條第二項ノ供託所ノ指定及ヒ供託物保管者ノ選任ハ債務履行地ノ區裁判所ノ管轄トス
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前債權者及ヒ辨濟者ヲ訊問スヘシ
裁判所カ第一項ノ指定及ヒ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ債權者ノ負擔トス

第八十二條 第四十條、第四十條ノ二、民法第六百五十八條第一項、第六百五十九條乃至第六百六十一條及ヒ第六百六十四條ノ規定ハ前條ノ保管者ニ之ヲ準用ス但民法第六百六十條ノ通知ハ辨濟者ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十三條 第八十一條ノ規定ハ民法第四百九十七條ノ裁判所ノ許可ニ之ヲ準用ス

第八十三條ノ二 第八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ民法第三百五十四條ニ依リ質物ヲ以テ直チニ辨濟ニ充ツルコトヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

裁判所カ申請ヲ許可シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ債務者ノ負擔トス

第八十四條 民法第五百八十二條ノ鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ不動産所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ前項ノ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ買主ノ負擔トス呼出及ヒ訊問ノ費用亦同シ

第八十五條 民法第三十三條第二項、第三十四條、及ヒ第一千三百二十二條第二項ノ鑑定人ノ選任呼出及ヒ訊問ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第八十六條 民法第四百七十七條及ヒ第一千五百條ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ第六十七條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第八十七條 民法第三十三條第二項、第三十四條、第一千四百七十七條及ヒ第一千五百條ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任ニ關スル費用ハ相續財產ノ負擔トス

第八十八條 第十五條ノ規定ハ本章ノ手續ニハ之ヲ適用セス

第八十九條 本章ノ規定ニ依リテ指定若クハ選任ヲ爲シ又ハ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第六章 隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件

第九十條 隱居ノ許可ハ隱居ヲ爲サントスル戸主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

許可ノ申請ニハ法定ノ推定家督相續人ヲ表示シ又ハ家督相續人タルヘキコトヲ承認シタル者ヲ表示シ且其者ヲシテ署名、捺印セシムヘシ
隱居ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス

第九十一條 廢家ノ許可ハ廢家セントスル戸主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

利害關係人及ヒ檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十二條 子ノ懲戒ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十三條 民法第九百七十八條ノ戸主權ノ行使ニ付キ必要ナル處分ハ第六十六條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第九十四條 家督相續人ノ選定ニ關スル許可ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財產ノ負擔トス

第九十五條 親族及ヒ檢事ハ前條ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第二編 民事 第七章 民事手續 非訟事件手續法

第九十六條 無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ハ其者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ無能力者ノ負擔トス

第九十七條 家督相續人ノ選定ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關スル事件ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財產ノ負擔トス

第九十八條 前二條ニ掲ケサル事件ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關シテハ事件ノ本人ノ住所地ノ區裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ事件ノ本人ノ負擔トス

第九十九條 裁判所ハ親族會員又ハ其補缺員ノ選定ニ付キ申請人又ハ民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ヲシテ會員タルニ適當ナル者ヲ指名セシムルコトヲ得

第一百條 親族會員タルコトヲ辭セントスル者ハ裁判所ニ其申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ相當スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第一百一條 親族會ノ招集又ハ親族會員ノ辭任ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ハ親族會員タルコトヲ得サル者ノ選任ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第一百二條 親族會員其他民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ハ親族會ノ決議

ニ代ハルヘキ裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得
前項ノ裁判ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第七章 相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第三百三條 民法第十七條第一項但書ニ定メタル期間ノ伸長ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三百四條 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三百五條 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ニハ第九條第一號、第二號、第四號及ヒ第五號ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シテ申述人又ハ代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 被相續人ノ氏名及ヒ最後ノ住所

二 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ旨

第三百六條 期間ノ伸長ノ申請又ハ相續ノ限定承認若クハ拋棄ノ申述ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第八章 遺言ノ確認及ヒ執行

第三百七條 遺言執行者ノ選任及ヒ解任ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ニ於テ選任シタル遺言執行者カ其任務ヲ辭セントスルトキ又ハ其就職ヲ拒マントスルトキハ相續開始地ノ區裁判所ニ其申立ヲ爲スヘシ

裁判所カ前二項ニ掲ケタル事件ニ付キ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財產ノ負擔トス

第三百八條 遺言執行者ヲ選任シタル裁判又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒

ムコトヲ許可シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

遺言執行者ノ選任若クハ解任ノ申請又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒ム申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

遺言執行者カ其解任ヲ命ジタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ遺言執行者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第三百九條 民法第十七條第六條及ヒ第八十一條但書ニ定メタル遺言ノ確認手續ノ費用ハ遺言者又ハ相續財產ノ負擔トス

第四百條 遺言ノ確認ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

利害關係人及ヒ檢事ハ遺言ノ確認ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ確認ノ申請人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

前條第二項ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ適用ス

第四百一條 遺言者ノ檢認ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第四百二條 遺言書ノ檢認ハ公證人カ記載シタルモノヲ除ク外遺言ノ方式ニ關スル總テノ事實ヲ調査シテ之ヲ爲ス

第四百三條 封印アル遺言書ノ開封ニ付テハ豫メ其期日ヲ定メテ相續人ヲ呼出スヘシ

第四百四條 遺言書ノ提出、開封及ヒ檢認ニ付テハ調書ヲ作ルヘシ

調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ列事、書記及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ

一 提出者ノ氏名、住所

二 提出、開封及ヒ檢認ノ年月日

三 立會人ノ氏名、住所

前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事カ同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第四百二條 法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百三條 夫婦財產契約ニ關スル登記ハ契約者雙方ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ夫婦財產契約書又ハ管理者ノ變更若クハ共有財產ノ分割ヲ許可シタル判決ノ謄本又ハ之ニ關スル契約書ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百四條 第一百七條、第二百二條乃至第二百四條ノ規定ハ日本ニ事務所ヲ設ケタル外國法人ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四百五條 第四百一條乃至第五十條、第五百十條ノ三乃至第五百一十一條ノ六、第五百四十四條乃至第五百五十七條及ヒ第七十七條ノ規定ハ本章ニ定メタル登記ニ之ヲ準用ス

第四百六條 規定ハ夫婦財產契約ノ登記ノ更正ニ之ヲ準用ス

第三編 商事非訟事件

第一章 會社及ヒ競賣ニ關スル事件

第四百七條 商法第四十七條、第四十八條、第一百十一條第二項、第一百四十四條、第六十條第二項、第九十六條第二項及ヒ第九十八條ニ定メタル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス地方鐵道法第六條ノ四第二項（軌道法第二十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ定メタル事件亦同シ

商法第二百六十條ニ定メタル事件ハ閉鎖ヲ命ゼラルヘキ外國會社ノ支店ノ所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第四百八條 會社ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百九條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百一條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百二條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百三條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

四 訊問シタル證人、鑑定人、相續人其他ノ利害關係人ノ氏名、住所及ヒ其陳述

五 事實調査ノ結果

第四百五條 裁判所ハ遺言書ノ開封及ヒ檢認ヲ爲シタルトキハ出頭セザリシ相續人其他遺言ノ旨趣ニ關係アル者ニ其旨ヲ告知スヘシ

前項ニ掲ケタル者ハ裁判所ノ許可ヲ得テ前條ノ調書ヲ閱覽スルコトヲ得

第四百六條 遺言書ノ提出、開封並ニ檢認及ヒ其告知ノ費用ハ相續財產ノ負擔トス

第九條 法人及ヒ夫婦財產契約ノ登記

第四百七條 法人ノ登記ニ付テハ法人ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第四百八條 夫婦財產契約ノ登記ニ付テハ夫ト爲ルヘキ者ノ住所地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

夫ト爲ルヘキ者カ夫又ハ婚養子ナルトキハ妻ト爲ルヘキ者ノ住所地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第四百九條 各登記所ニ法人登記簿及ヒ夫婦財產契約登記簿ヲ備フ

第五百十條 法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ主務官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十一條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十二條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十三條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十四條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十五條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十六條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十七條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十八條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十九條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

商法第二百三十三條ニ定メタル事件ハ解散シタル株式會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス
商法第二百八十九條第一項及ヒ第六十條第一項ニ定メタル事件ハ競賣ニ付スヘキ物品所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第二百二十七條 検査役ノ選任ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス
申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役又ハ株主之ニ署名、捺印スヘシ
一 申請ノ事由
二 検査ノ目的
三 年月日
四 裁判所ノ表示

第二百二十八條 検査役ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス
裁判所ハ検査ニ付キ説明ヲ必要トスルトキハ検査役ヲ審訊スルコトヲ得

第二百二十九條 商法第二百四十四條第二項ノ規定ニ依ル裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前發起人及ヒ取締役ノ陳述ヲ聽クヘシ
發起人及ヒ取締役ハ第一項ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十九條ノ二 商法第九十八條ノ規定ニ依リ検査役ノ選任ニ關スル裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽クヘシ

第二百二十九條ノ三 商法第二百四十四條又ハ第九十八條ノ規定ニ依リ裁判所カ検査役ヲ選任シタル場合ニ於テハ會社ヲシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其額ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽キ裁判所之ヲ定ム

第二百二十九條ノ四 前二條ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得
第二百三十條 商法第九十八條ノ検査ニ付キ株主總會ノ召集ヲ必要ト認ムルトキハ裁判所ハ一定ノ期間内ニ其召集ヲ爲スヘキコトヲ命スヘシ

止セラレタル會社ノ本店及ヒ支店又ハ閉鎖シタル外國會社ノ支店所在地ノ商業登記所ニ其登記ノ囑託ヲ爲スヘシ抗告裁判所カ裁判ヲ爲シタルトキ亦同シ
登記所カ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ外國會社ニ付テハ其支店ノ登記ヲ抹消シ營業ヲ禁止セラレタル會社ニ付テハ其本店及ヒ支店ノ登記ニ其旨ヲ記載スヘシ

第二百三十五條ノ三 第二百二十六條第一項及ヒ前三條ノ規定ハ會社ニ非スシテ商業登記ヲ爲シタル者ニ對シテ裁判所カ商法施行法ノ規定ニ依リテ營業ノ禁止ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十五條ノ四 會社ノ設立ヲ無効トスル判決カ確定シタルトキハ受訴裁判所ハ會社ノ本店及ヒ支店ノ所在地ノ登記所ニ其登記ノ囑託ヲ爲スヘシ
登記所カ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ會社ノ設立ノ無効ナルコトヲ登記スヘシ

第二百三十五條ノ五 地方鐵道法第六條ノ四第二項(軌道法第二十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル許可ノ申請ハ已ムコトヲ得サル事由ヲ疏明シテ總取締役之ヲ爲スヘシ

第二百三十五條ノ六 前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ裁判所ハ利害關係人ノ陳述ヲ聽キ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
申請ヲ認許スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得
申請ヲ認許セサル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二章 會社ノ清算ニ關スル事件
第二百三十六條 清算人ノ選任又ハ解任ニ關スル事件ハ會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス銀行又ハ無盡業若ハ無盡管理業ヲ營ム會社ノ清算ノ

第三百三十一條 商法第一百一條第二項ノ規定ニ依リ検査ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ検査ヲ要スル事由、同法第六十條第二項ノ規定ニ依リ會召集ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ取締役カ其召集ヲ怠リシ事實ヲ疏明スルコトヲ要ス
前項ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百三十二條 前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ裁判所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三百三十三條 商法第九十六條第二項ノ規定ニ依ル定款ノ認可ノ申請ハ開業前ニ利息ノ配當ヲ爲スコトヲ要スル事由ヲ疏明シ總發起人又ハ總取締役之ヲ爲スヘシ
前項ノ申請ニ對スル裁判ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用ス

第三百三十四條 商法第四十七條及ヒ第四十八條ノ場合ニ於ケル會社ノ解散ノ命令ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前利害關係人ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ
前二項ノ規定ハ會社ノ申請ニ因リ開業期間ノ伸長ニ付キ裁判ヲ爲ス場合、商法施行法ノ規定ニ依リ會社ノ營業ノ禁止ヲ命スル場合及ヒ日本ニ設立シタル外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十五條 會社及ヒ檢事ハ前條ノ決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス
抗告裁判所カ會社ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ國庫ノ負擔トス

第三百三十五條ノ二 會社ノ解散若クハ營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル裁判カ確定シタルトキハ裁判所ハ解散シタル會社、營業ヲ禁

監督亦同シ
第三百三十七條 清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス裁判所カ銀行又ハ無盡業若ハ無盡管理業ヲ營ム會社ノ清算ノ監督ニ付キ爲シタル命令ニ對シ亦同シ
第三百三十八條 左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス
一 未成年者
二 禁治產者及ヒ準禁治產者
三 剝奪公權者及ヒ停止公權者
四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
五 破產者

第三百三十八條ノ三 第二百二十九條ノ三及ヒ第二百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所カ清算人又ハ前條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スヘキ者ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十八條ノ四 商法第九十一條ノ二第二項ノ鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス
裁判所カ前項ノ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ會社ノ負擔トス呼出及ヒ訊問ノ費用亦同シ

第三百三十八條ノ五 第八十八條及ヒ第八十九條ノ規定ハ前條ノ鑑定人ノ選任ノ手續及ヒ裁判ニ之ヲ準用ス
第三章 商業登記
第一節 通則

第五百九十一條

第三百三十九條 商法ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス者ノ營業所在地ノ
區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス
第四百十條 各登記所ニ左ノ商業登記簿ヲ備フ

- 一 商號登記簿
- 二 未成年者登記簿
- 三 妻登記簿
- 四 法定代理人登記簿
- 五 支配人登記簿
- 六 合名會社登記簿
- 七 合資會社登記簿
- 八 株式會社登記簿
- 九 株式合資會社登記簿
- 十 外國會社登記簿

第四百一十一條 各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ
第四百一十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閲覧ヲ許シ又ハ手数料ヲ納付ス
ルトキハ之ニ其原本若クハ抄本ヲ交付スヘシ
登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル
部分ニ限り登記簿ノ附屬書類ノ閲覧ヲ許スヘシ
郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ原本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付
スヘシ
第四百一十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ
登記ナキコトノ證明ヲ爲スヘシ
第四百一十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ少クモ一回之
ヲ爲スコトヲ要ス

公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及ヒ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタ
ルモノト看做ス

第四百十五條 區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシム
ヘキ新聞紙ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ
公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞
紙ヲ選定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ
第四百十六條 區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙
ナシト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ其管轄内ノ市町村
役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條 登記スヘキ事項ノ登記、其變更又ハ消滅ノ登記ハ本法ニ別
段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得
ス

第四百十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコト
ヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

第四百十八條ノ二 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規
定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所
ニ其抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十九條 登記ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス
申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スヘシ
一 申請人ノ氏名、住所、會社カ申請人ナルトキハ其商號及ヒ本店又
ハ支店
二 代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其氏名、住所
三 登記ノ目的及ヒ事由
四 年月日

五 登記所ノ表示

第五百十條 本章ノ規定ニ依リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スヘキ場合ニ於テ正當
ノ事由ニ因リ連署スルコト能ハサル者アルトキハ其他ノ者ノミニテ申請
ヲ爲スコトヲ得
連署ヲ爲スコト能ハサル事由ハ之ヲ證明スルコトヲ要ス

第五百十條ノ二 官廳ノ許可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ
官廳ノ許可書又ハ其認證アル原本ヲ添付スルコトヲ要ス

第五百十條ノ三 本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ニ付キ支店
ノ所在地ニ於テ其登記ヲ申請スルニハ申請書ニ本店ノ所在地ニ於テ爲シ
タル登記ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ各本條ニ定
メタル書類ハ之ヲ添付スルコトヲ要セス

第五百十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキ
ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告
ヲ爲スコトヲ得
前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要
ス

第五百十一條ノ二 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規
定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記ヲ爲シ
タル者ニ對シ一個月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキト
キハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スヘシ
登記ヲ爲シタル者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ付ヘ登
記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スヘシ
登記所ハ右ノ外相當ト認ムル新聞紙ト同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ
得

第五百十一條ノ三 異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決
定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ
前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ
有ス

第五百十一條ノ四 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シ
タルトキハ登記所ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スヘシ

第五百十一條ノ五 前三條ノ規定ハ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記スヘ
キ事項ノ登記ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ爲シタル登記ニノミ之ヲ適用
ス
前項ノ場合ニ於テ本店所在地ノ登記所カ登記ヲ抹消シタルトキハ遲滯ナ
ク其旨ヲ支店所在地ノ登記所ニ通知スヘシ
支店所在地ノ登記所カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク登記ヲ抹消
スヘシ

第五百十一條ノ六 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アル
コトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ
但其錯誤又ハ遺漏カ登記所ノ過誤ニ出テアルトキハ此限ニ在ラス
前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滯ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登
記ノ更正ヲ爲スヘシ

第五百十二條 削除
第五百十三條 削除
第五百十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法
大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第五百十五條 司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務
ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得

第五百五十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第五百五十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條、第二十四條及ヒ第五十九條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

第二節 商號ノ登記

第五百五十八條 商號ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營業ノ爲メ他人カ登記シタルモノト判然區別シ得ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
第五百五十九條 商法施行法第十三條第一項ノ規定ニ依リ他人カ登記シタル商號ト同一ノ商號ノ登記ヲ申請スル者ハ舊商法施行前ヨリ之ヲ使用スルコトヲ證明スルコトヲ要ス

第六十條 商號ノ登記ノ申請書ニハ第四百九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外營業ノ種類ヲ記載スヘシ商號ノ變更ノ登記ヲ申請スルトキ亦同シ
第六十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ承繼人カ商號ヲ續用セントスルトキハ其資格ヲ證スル書面又ハ讓受證書ヲ添ヘ其登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス
商號ノ登記ヲ爲シタル者カ氏、名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク其登記ヲ申請スヘシ

第六十二條 商號ヲ廢止シ又ハ變更シタルトキハ當事者ハ其登記ヲ申請スヘシ
相續人又ハ法定付理人カ前項ノ申請ヲ爲ストキハ申請書ニ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第六十三條 商法第二十四條第一項ノ規定ニ依リテ商號登記ノ抹消ヲ申請スル者ハ其登記上利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明スルコトヲ要ス

所ハ原登記ニ其旨ヲ記載スヘシ
第七十條 法定財産制ニ異リタル契約ノ登記ヲ爲シタル妻カ商業ノ登記ヲ申請スルトキ又ハ其商業ノ登記ヲ爲シタル後管理者ノ變更若クハ共有財産ノ分割ノ登記ヲ爲シタルトキハ書面ヲ以テ登記所ニ其届出ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ届出アリタルトキハ登記所ハ當事者ノ商業登記ニ之ヲ記載スヘシ
第七十一條 法定代理人カ無能力者ノ爲メニ商業ヲ營ム場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ法定代理人タル資格ヲ記載シ親族會ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四節 支配人及ヒ會社ノ清算人ノ登記
第七十二條 支配人ノ選任ノ登記ハ主人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
會社カ申請人ナル場合ニ於テハ前項ノ登記ハ其會社ヲ代表スヘキ社員又ハ取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
第七十三條 支配人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ第四百九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
一 支配人ノ氏名、住所
二 申請人カ數個ノ商號ヲ以テ數種ノ商業ヲ營ムトキハ支配人カ代理スヘキ商業及ヒ其用ニヘキ商號
三 支配人ヲ置キタル場所
四 數人ノ支配人カ共同シテ代理權ヲ行フヘキコトヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定
會社カ申請人ナル場合ニ於テハ申請書ニ其設立ノ登記ノ年月日ヲ記載シ支配人ノ選任及ヒ前項第四號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第六十四條 第五百五十一條ノ二乃至第五百五十一條ノ四ノ規定ハ前條ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス
第六十五條 登記所カ第五百五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ商號ニ關スル登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ
第三節 未成年者、妻及ヒ法定代理人ノ登記
第六十六條 未成年者カ商業ヲ營ム場合ニ於テ其登記ヲ申請スルニハ申請書ニ營業ノ種類ヲ記載シ法定代理人ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但法定代理人カ之ニ連署スルトキハ此限ニ在ラズ
親權ヲ行フ母又ハ後見人カ同意ヲ爲シタル場合ニ於テハ親族會ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ併セテ添附スルコトヲ要ス繼父、繼母又ハ嫡母カ同意ヲ爲シタルトキ亦同シ
第六十七條 妻カ商業ヲ營ム場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ營業ノ種類ヲ記載シ夫ノ許可ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但夫カ之ニ連署スルトキハ此限ニ在ラズ
夫カ未成年者ナルトキハ前項ノ許可ヲ爲スニ付キ必要ナル同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ併セテ添付スルコトヲ要ス
妻カ夫ノ許可ヲ得ルコトヲ要セザラ場合ニ於テ營業ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第六十八條 商業ヲ營ムコトノ許可ヲ爲シタル者カ之ヲ取消シ又ハ之ヲ制限シタルトキハ遲滞ナク其登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス
第六十九條 前條ノ規定ニ從ヒテ制限ノ登記ノ申請アリタルトキハ登記

第七十四條 第七十二條ノ規定ハ支配人ノ代理權ノ消滅及ヒ前條第一項第四號ニ掲ケタル事項並ニ其變更、消滅ノ登記ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス
會社カ申請人ナル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第七十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス
前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス
第七十六條 清算人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ其選任及ヒ商法第九十條第二號並ニ第三號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第七十七條 商法第九十條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ現任清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ變更ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第七十八條 清算ノ終了ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ清算人カ其計算ノ承認ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第五節 合名會社及ヒ合資會社ノ登記
第七十九條 合名會社ノ設立ノ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ定款ヲ添附シ且社員中ニ未成年者又ハ妻アルトキハ其社員タルコトニ同意ヲ爲スヘキ者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第八十條 合名會社ノ支店ノ設立、其本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
前項ノ申請書ニハ其登記事項ニ付キ總社員ノ同意又ハ或社員ノ一致ヲ要スル場合ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ社員ノ定アルトキニ限り總社員ノ同意又ハ或社員ノ一致アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

商法第八十三條但書ノ規定ニ依リ裁判所カ或社員ヲ除名シタル場合ニ於ケル變更ノ登記ノ申請書ニハ其判決ノ原本ヲ添付スルコトヲ要ス

社員ノ氏名、若クハ住所ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第百八十一條 合名會社ノ解散ノ登記ハ總社員又ハ其相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且相續人カ申請ヲ爲ストキハ其資格ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第百八十二條 合名會社ノ合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散スヘキ會社ノ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ商法第七十八條第二項ニ依ル公告及ヒ催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第百八十二條ノ二 合名會社カ合併ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ記載シ第百七十九條第二項及ヒ前條第二項ニ掲ケタル書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第百八十二條ノ三 合名會社カ合併ニ因ル設立ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ記載シ第百七十九條第二項及ヒ前條第二項ニ掲ケタル書類及ヒ商法第四十四條ノ三第二項ノ規定ニ依リテ選任セラレタル者ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第百八十三條 第百七十九條第一項ノ規定ハ合名會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スルコトヲ要ス
一 定款
二 株式ノ引受ヲ證スル書面
三 株式申込證
四 取締役及ヒ監査役又ハ検査役ノ調査報告書及ヒ其附屬書類
五 検査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其原本
六 發起人カ取締役及ヒ監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類
七 創立總會ノ決議錄

申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

一 定款

二 株式ノ引受ヲ證スル書面

三 株式申込證

四 取締役及ヒ監査役又ハ検査役ノ調査報告書及ヒ其附屬書類

五 検査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其原本

六 發起人カ取締役及ヒ監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

七 創立總會ノ決議錄

第百八十八條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ總取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ登記事項ニ付キ株主總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄ヲ添付スルコトヲ要ス

取締役又ハ監査役ノ氏、名又ハ住所ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第百八十九條 會社ノ資本増加ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

一 株式ノ引受ヲ證スル書面

二 株式申込證

三 商法第二百十四條ノ規定ニ從ヒテ監査役又ハ検査役カ爲シタル調査報告書及ヒ其附屬書類

四 資本ノ増加ニ關スル株主總會ノ決議錄

第百九十條 會社ノ資本減少ノ登記ノ申請書ニハ之ニ關スル株主總會ノ決議錄ヲ添付スルコトヲ要ス

第百八十二條第二項ノ規定ハ資本減少ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準

第二編 民事 第七章 民事手續 非訟事件手續法

第百八十四條 合名會社カ社員ノ請求ニ因リテ解散シタルトキハ各社員ノ申請ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ判決ノ原本ヲ添付スルコトヲ要ス

第百八十四條ノ二 第百八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ合名會社ノ設立取消ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ三 第百八十二條ノ規定ハ合名會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ四 商法第八十三條ノ三又ハ第八十三條ノ四ノ規定ニ依リ合資會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ組織變更ノ事由ヲ記載シ定款ヲ添付スルコトヲ要ス

有限責任社員ヲ加入セシメタル場合ニ於テハ其加入ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第百八十五條 商法第百十八條第二項ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十五條ノ二 第百七十九條第二項及ヒ前條ノ規定ハ商法第百十八條ノ二ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ニ之ヲ準用ス

第百八十六條 第百七十九條乃至第百八十四條ノ三ノ規定ハ合資會社ノ登記ニ之ヲ準用ス但合名會社ニ於テ總社員ノ申請ニ因リテ爲スヘキ登記ハ合資會社ニ於テハ其無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第六節 株式會社ノ登記
第百八十七條 株式會社ノ設立ノ登記ハ總取締役及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

用ス

第百九十一條 社債ノ登記ハ總取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

一 最終ノ貸借對照表

二 社債ノ引受ヲ證スル書面

三 社債申込證

四 各社債ニ付キ商法第二百四條ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面

五 社債ノ募集ニ關スル株主總會ノ決議錄

第百九十二條 社債ニ關スル變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ總取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ變更ノ事由ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第百九十三條 會社ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ株主總會ノ決議錄ヲ添付スルコトヲ要ス

第百八十二條第二項ノ規定ハ株式會社カ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

會社カ裁判所ノ命令ニ因リ解散シタルトキハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第百九十三條ノ二 株式會社カ合併ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ記載シ第百八十二條第二項及ヒ第百八十九條第三號、第四號ニ掲ケタル書類及ヒ株式ノ割當並ニ引受ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第百九十三條ノ三 株式會社カ合併ニ因ル設立ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ記載シ第百八十二條第二項及ヒ第百八十七條第二項ニ掲ケ

タル書類及ヒ商法第四十四條ノ三第二項ノ規定ニ依リテ選任セラレタル者ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第九十四條 削除

第九十四條ノ二 舊商法ノ規定ニ依リス設立シタル株式會社カ商法施行法第五十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 定款
- 二 株主名簿
- 三 各株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面
- 四 設立免許書
- 五 創業總會ノ決議録

第九十四條ノ三 舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ増加シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第八十五條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 株主名簿
- 二 新株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面
- 三 資本ノ増加ニ關スル株主總會ノ決議録及ヒ假決議録
- 第九十四條ノ四 舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ減少シタル場合ニ於テ會社カ資本減少ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス
- 一 舊商法第二百七條ニ依ル通知及ヒ催告ヲ爲シタルコト及ヒ異議ヲ申出テタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

二 資本ノ減少ニ關スル株主總會ノ決議録及ヒ假決議録

第九十四條ノ五 舊法ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第七十九條及ヒ第八十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 株金ノ拂込金額ヲ證スル書面
- 二 債券原簿
- 三 主務省ノ認許證又ハ其認證アル謄本
- 第九十五條 資本ノ増加並ニ減少、解散及ヒ合併ニ因ル變更並ニ設立ノ登記ハ總取締役及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
- 第九十五條ノ二 第三百五十五條ノ四ノ規定ハ商法第六十三條ノ四ニ定メタル登記ニ之ヲ準用ス

第七節 株式會社ノ登記

第九十六條 株式會社ノ設立ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第九十七條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ノ代表スヘキ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第九十八條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ノ代表スヘキ無限責任社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

ハ資本ノ増加又ハ減少ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十八條ノ二 社債ノ登記ハ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第九十九條 第九十九條第二項ニ掲ケタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第一百條 第九十九條第二項、第九十九條ノ二、第九十九條ノ三及ヒ第九十六條第一項ノ規定ハ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第一百條 株式會社ノ解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員又ハ其相續人及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但無限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於ケル解散ノ登記ハ無限責任社員又ハ其相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附シ且無限責任社員ノ同意及ヒ株主總會ノ決議ニ因リ又ハ會社ノ合併ニ因リテ解散シタルトキハ之ニ關スル株主總會ノ決議録ヲ添附スルコトヲ要ス

第九十二條第二項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第九十二條ノ二 株式會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ株主總會ノ決議録及ヒ第九十二條第二項ニ掲ケタル書類ヲ

添附スルコトヲ要ス

第九十二條 株式會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第九十二條ノ二 第三百五十五條ノ四ノ規定ハ商法第六十三條ノ四ニ定メタル登記ニ之ヲ準用ス

第七節 株式會社ノ登記

第九十六條 株式會社ノ設立ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第九十七條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ノ代表スヘキ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第九十八條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ノ代表スヘキ無限責任社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第九十九條 第九十九條第二項ニ掲ケタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第一百條 第九十九條第二項、第九十九條ノ二、第九十九條ノ三及ヒ第九十六條第一項ノ規定ハ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第一百條 株式會社ノ解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員又ハ其相續人及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但無限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於ケル解散ノ登記ハ無限責任社員又ハ其相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ定款、株式ノ引受ヲ證スル書面及ヒ組織變更ニ關スル株主總會ノ決議録ヲ添附スルコトヲ要ス

第九十二條第二項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第九十二條ノ二 株式會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ株主總會ノ決議録及ヒ第九十二條第二項ニ掲ケタル書類ヲ

添附スルコトヲ要ス

第九十二條 株式會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

日本ニ於テ登記シタル外國會社ノ支店ノ代表者ニ變更アリタルトキハ現任代表者ハ管轄登記所ニ其届出ヲ爲スヘシ

第九十二條 外國會社ノ支店ノ廢止又ハ其登記事項ノ變更ノ登記ハ支店ノ代表者ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

記事項ノ變更ニ付キ其登記ヲ申請スル場合ニ於テハ會社ノ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ認證アル書面ニ依リテ變更ノ事實ヲ證明スルコトヲ要ス

第二百五條 削除

附則

第二百六條 民法第八十四條、第一千零七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條及ヒ小切手法第七十一條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラレヘキ者ノ住所ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合各ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第二百九條 非訟事件手續法其他從前ノ法令ニシテ本法ノ規定ト牴觸シ又

ハ重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

本法施行前ニ裁判所カ申立ヲ受ケ又ハ著手シタル事件ハ舊法令ニ依ル

第二百九條ノ二 外國人ニ關スル非訟事件手續ニシテ條約ニ因リ特ニ定ムルコトヲ要スルモノハ司法大臣之ヲ定ム

第二百十條 本法ハ民法及ヒ商法ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (明治四十四年法律第七十四號)

本法ハ商法中改正法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ニ裁判所ノ受理シタル事件ニハ從前ノ規定ヲ適用ス

商法中改正法律附則ノ規定ニ依リ舊法ノ規定ヲ適用スヘキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍ホ其效力ヲ有ス

後見人登記簿ハ法定代理人登記簿ノ一部トシテ其效力ヲ有シ營利ヲ目的トスル財團法人ノ登記簿ハ其法人ノ種類ニ從ヒ合名會社登記簿、合資會社登記簿、株式會社登記簿又ハ株式合資會社登記簿ノ一部トシテ其效力ヲ有ス

附則 (大正十五年法律第六十七號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (昭和二年法律第三十三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (昭和四年法律第六十號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (昭和九年法律第三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和四年勅令第五百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行)

(昭和二年勅令第三百四十二號ヲ以テ昭和三年一月一日ヨリ施行)

(昭和四年勅令第三百三十六號ヲ以テ昭和四年十二月五日ヨリ施行)

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
小切手法第六十五條ノ規定ニ依リ商法第五百三十六條ノ規定ヲ適用スヘキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍ホ其效力ヲ有ス

○非訟事件手續法第二條第三項ノ規定ニ依ル管轄裁判所指定

大正五年六月十六日 司法省令第十四號

非訟事件手續法第二條第三項ノ規定ニ依リ東京市ヲ管轄裁判所ノ所在地ト指定ス
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル手續

明治三十二年七月八日 司法省令第四十號

非訟事件手續法第二百九條ノ二ニ依リ外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル手續左ノ通相定ム

外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル手續

第一條 條約ノ規定ニ依リ外國人ノ死亡ノ通知ヲ爲シ、其通知ヲ受ケ又ハ外國人ノ遺産ノ保存處分ニ干與スヘキ地方ノ當該官廳ハ死亡地ヲ管轄スル區裁判所トス

外國人カ日本ノ版圖外ニ於テ死亡シタルトキハ前項ノ當該官廳ハ遺產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所トス

第二條 外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル行爲ハ之ヲ囑託スルコトヲ得

第三條 警察官ハ外國人ノ死亡ノ事實ヲ知リタルトキハ直ニ死亡者ノ國籍、住所又ハ居所、氏名、年齢及ヒ死亡ノ場所並ニ年月日ヲ第一條第一

第二編 民事 第七章 民事手續 非訟事件手續法

項ノ區裁判所ニ報告スヘシ

【戶籍吏】ハ外國人ノ死亡ノ登記ヲ爲シタルトキハ直ニ其謄本ヲ前項ノ區裁判所ニ送附スヘシ

第四條 條約ノ規定ニ依リ地方ノ當該官廳カ外國人ノ遺産ノ封印又ハ其開封ニ立會フヘキ場合ニ於テハ管轄區裁判所ノ判事及ヒ書記之ニ立會フヘシ檢事ハ之ニ立會フコトヲ得

第五條 條約ノ規定ニ依リ地方ノ當該官廳カ外國人ノ遺産目録ヲ調製シ領事官ニ之ヲ送付スヘキ場合ニ於テハ管轄區裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ管理人ヲ選任シ財產目録ノ謄本ヲ提出セシメ條約ニ定メタル他ノ書類ト共ニ之ヲ領事官ニ送付スヘシ

第六條 管轄區裁判所ハ外國人ノ遺産ニ關シ非訟事件手續法第六十九條、第七十條ノ公告又ハ民法第五十七條ノ公告アリタルトキハ其旨ヲ領事官ニ通知スヘシ

第七條 本令ハ明治三十二年七月十七日ヨリ之ヲ施行ス

○漁業法第十五條ノ二及第二十八條第二項ノ規定ニ依ル裁判所ノ許可ヲ求ムル手續ニ關スル件

昭和九年七月二十五日 (總理、司法、農林大臣副署) 勅令第二百三十三號

第一條 漁業法第十五條ノ二(同法第二十八條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ裁判所ノ許可ヲ求ムル申立ハ漁場ニ最近キ沿岸ノ屬スル市町村又ハ之ニ相當スル行政區劃ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬シ申立ニ關スル裁判ハ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第二條 申立ハ書面ニ依リテ之ヲ爲ス

申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

- 一 申立人ノ氏名及住所
- 二 代理人ノ氏名及住所
- 三 住所又ハ居所分明ナラザル者ノ氏名及最後ノ住所又ハ居所
- 四 變更セントスル漁業權又ハ入漁權ノ表示及其ノ變更ノ體様
- 五 申立ノ趣旨及原因
- 六 年月日
- 七 裁判所ノ表示

他ニ共有者又ハ登録シタル入漁權者アルトキハ變更ニ對スル其ノ者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

證據書類アルトキハ其ノ原本又ハ謄本ヲモ添付スルコトヲ要ス

第三條 申立アリタル場合ニ於テ裁判所手續ヲ進ムベキモノト認ムルトキハ左ノ事項ヲ公告スルコトヲ要ス

- 一 前條第二項第一號、第三號及第四號ニ掲グル事項
- 二 催告期間内ニ變更ニ同意スルヤ否ヤノ申出ヲ爲スベク其ノ申出ヲ爲サザルトキハ同意ニ代ル許可ノ裁判ヲ爲スベキコト

催告期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

第四條 前條ノ公告ハ裁判所方爲スベキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 第三條第一項第二號ノ申出ナキトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ同意ニ代ル許可ヲ爲スコトヲ得

第六條 申立ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

アル迄其ノ手續ヲ中止ス

第二章 破産財團

第六條 破産者カ破産宣告ノ時ニ於テ有スル一切ノ財産ハ之ヲ破産財團トス

破産者カ破産宣告前ニ生シタル原因ニ基キ將來行フコトアルヘキ請求權ハ破産財團ニ屬ス

差押フルコトヲ得サル財産ハ破産財團ニ屬セズ但シ民事訴訟法第五百七十一條第一項第四號第七號ニ掲クルモノ、同條第二項ノ規定ニ依リ差押ノ承諾アリタルモノ及破産宣告後差押フルコトヲ得ルニ至リタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條 破産財團ノ管理及處分ヲ爲ス權利ハ破産管財人ニ專屬ス

第八條 破産宣告前ニ破産者ノ爲ニ相續ノ開始アリタル場合ニ於テ破産者カ破産宣告後ニ爲シタル單純承認ハ破産財團ニ對シテハ限定承認ノ效力ヲ有ス

第九條 破産宣告前ニ破産者ノ爲ニ遺產相續ノ開始アリタル場合ニ於テ破産者カ破産宣告後ニ相續ノ拋棄ヲ爲シタルトキト雖破産財團ニ對シテハ限定承認ノ效力ヲ有ス

第十條 破産管財人ハ前項ノ規定ニ拘ラス拋棄ノ效力ヲ認ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ拋棄アリタルコトヲ知りタル時ヨル三月内ニ其ノ旨ヲ裁判所ニ申述スルコトヲ要ス

第十一條 前二條ノ規定ハ包括遺贈ニ之ヲ準用ス

破産宣告前ニ破産者ノ爲ニ特定遺贈アリタル場合ニ於テ破産者カ破産宣告ノ當時承認又ハ拋棄ヲ爲サザリシトキハ破産管財人破産者ニ代リテ其ノ承認又ハ拋棄ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

附則

本令ハ昭和八年法律第三十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四節 破産

○破産法 大正十一年四月二十五日 (各大臣) 法律第七十一號 (副署)

改正 大正一五年第七〇號

第一編 實體規定

第一章 總則

第一條 破産ハ其ノ宣告ノ時ヨリ效力ヲ生ス

第二條 外國人又ハ外國法人ハ破産ニ關シ日本人又ハ日本法人ト同一ノ地位ヲ有ス但シ其ノ本國法ニ依リ日本人又ハ日本法人カ同一ノ地位ヲ有スルトキニ限ル

第三條 日本ニ於テ宣告シタル破産ハ破産者ノ財産ニシテ日本ニ在ルモノニ付テノミ其ノ效力ヲ有ス

外國ニ於テ宣告シタル破産ハ日本ニ在ル財産ニ付テハ其ノ效力ヲ有セズ

民事訴訟法ニ依リ裁判上ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘキ債權ハ日本ニ在ルモノト看做ス

第四條 解散シタル法人ハ破産ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第五條 相續人又ハ相續財産ニ對スル破産ノ宣告ハ限定承認又ハ財産分離ヲ妨ケス但シ破産取消若ハ破産廢止ノ決定カ確定シ又ハ破産終結ノ決定

民法第八十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テハ之ニ屬スル一切ノ財産ヲ以テ破産財團トス

被相續人カ相續人ニ對シ及相續人カ被相續人ニ對シテ有シタル權利ハ消滅セザリシモノト看做ス

第十三條 隱居又ハ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ留保財産モ亦破産財團ニ屬ス

國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續開始ノ時ニ於テ前戸主カ有シタル財産ヲ以テ破産財團トス

第十四條 相續人カ相續財産ノ全部又ハ一部ヲ處分シタル後相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續人カ反對給付ニ付有スル權利ハ破産財團ニ屬ス

相續人カ既ニ反對給付ヲ受ケタルトキハ之ヲ破産財團ニ返還スルコトヲ要ス但シ其ノ當時相續人カ破産ノ原因タル事實又ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知ラザリシトキハ其ノ現ニ受クル利益ヲ返還スルヲ以テ是ル

第三章 破産債權

第十五條 破産者ニ對シ破産宣告前ノ原因ニ基キ生シタル財産上ノ請求權ハ之ヲ破産債權トス

第十六條 破産債權ハ破産手續ニ依ルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第十七條 期限附債權ハ破産宣告ノ時ニ於テ辨濟期ニ至リタルモノト看做ス

第十八條 債權カ無利息ニシテ其ノ期限カ破産宣告後ニ到來スヘキ場合ニ

於テハ破産債権ノ額ハ破産宣告ノ時ヨリ期限ニ至ル迄ノ破産債権ニ對スル法定利息ヲ債権額ヨリ控除スルモノトス

第十九條 前條ノ規定ハ金額及存続期間ノ確定スル定期金債権ニ之ヲ準用ス但シ其ノ總額カ法定利率ニ依リ其ノ定期金ニ相當スル利息ヲ生スヘキ元本額ヲ超ニルトキハ其ノ元本額ヲ以テ破産債権ノ額トス

第二十條 第十八條ノ場合ニ於テ期限カ不確定ナルトキハ破産宣告ノ時ニ於ケル評價額ヲ以テ破産債権ノ額トス定期金債権ノ金額又ハ存続期間カ不確定ナルトキ亦同シ

第二十一條 前三條ノ規定ハ法人又ハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第二十二條 債権ノ目的カ金錢ニ非サルトキ又ハ金錢ナルモ其ノ額カ不確定ナルトキ若ハ外國ノ通貨ヲ以テ定メタルモノナルトキハ破産宣告ノ時ニ於ケル評價額ヲ以テ破産債権ノ額トス

第二十三條 條件付債権ハ其ノ全額又ハ前條ノ規定ニ依ル評價額ヲ以テ破産債権ノ額トス

第二十四條 數人カ各自全部ノ履行ヲ爲ス義務ヲ負フ場合ニ於テ其ノ全員又ハ其ノ中ノ數人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ債権者ハ破産宣告ノ時ニ於テ有スル債権ノ全額ニ付各破産財團ニ對シ破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十五條 保證人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ債権者ハ破産宣告ノ時ニ於テ有スル債権ノ全額ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十六條 數人カ各自全部ノ履行ヲ爲ス義務ヲ負フ場合ニ於テ其ノ全員又ハ其ノ中ノ數人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ債権者ハ破産宣告ノ時ニ於テ有スル債権ノ全額ニ付各破産財團ニ對シ破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十七條 破産宣告後ノ不履行ニ因ル損害賠償及違約金

第二十八條 破産手續参加ノ費用

第二十九條 罰金、科料、刑事訴訟費用、追徴金及過料

第三十條 破産財團ニ屬スル財産ニ付一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權アル破産債権ハ他ノ債権ニ先ツ

第三十一條 同一順位ニ於テ辨濟スヘキ債権ハ各其ノ債権額ノ割合ニ應シテ之ヲ辨濟ス

第三十二條 優先權カ一定ノ期間内ノ債権額ニ付存在スル場合ニ於テハ其ノ期間ハ破産宣告ノ時ヨリ起リテ之ヲ計算ス

第三十三條 破産宣告ノ時ヨリ起リテ之ヲ計算ス

第三十四條 破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十五條 破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十六條 破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十七條 破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十八條 破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

又ハ其ノ中ノ數人若ハ一人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ破産者ニ對シテ將來行フコトアルヘキ求償權ヲ有スル者ハ其ノ全額ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得但シ債権者カ其ノ債権ノ全額ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 第二十四條、第二十五條及前條第一項第二項ノ規定ハ數人ノ保證人カ各自債務ノ一部ヲ負擔スヘキ場合ニ於テ其ノ負擔部分ニ付之ヲ準用ス

第二十八條 法人ノ債務ニ付其ノ債権者ニ對シテ無限ノ責任ヲ負フ者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ法人ノ債権者ハ破産宣告ノ時ニ於テ有スル債権ノ全額ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十九條 法人ノ債務ニ付其ノ債権者ニ對シテ有限ノ責任ヲ負フ者又ハ其ノ法人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ法人ノ債権者ハ有限ノ責任ヲ負フ者ニ對シテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得但シ法人ハ出資ノ請求ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ妨ケス

第三十條 相續人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ財產ノ分離アリタルトキト雖相續債権者及受遺者ハ其ノ債権ノ全額ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十一條 相續財産及相續人ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續債権者及受遺者ハ其ノ債権ノ全額ニ付各破産財團ニ對シ破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得民法第九百八十九條又ハ第九百九十一條ノ場合ニ於テ其ノ全員又ハ其ノ中ノ數人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ相續財産相續人及前戸主ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキ相續債権者ニ付亦同シ

第三十二條 前二條ノ場合ニ於テ破産ノ宣告ヲ受ケタル相續人カ限定承認ヲ爲シタルトキハ相續債権者及受遺者ハ相續人ノ固有財産ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ限定承認ノ效力ヲ有スル場合亦同シ

第三十三條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續人ハ其ノ被相續人ニ對スル債権及被相續人ノ債務消滅ノ爲ニ爲シタル出捐ニ付相續債権者ト同一ノ權利ヲ有ス

第三十四條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續人ノ債権者ハ破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十五條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テ第十三條ノ財産アルトキハ相續開始後ノ前戸主ノ債権者ハ債権ノ全額ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十六條 相續財産及前戸主ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テ第十三條ノ財産アルトキハ相續開始後ノ前戸主ノ債権者ハ債権ノ全額ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十七條 民法第九百八十九條又ハ第九百九十一條ノ場合ニ於テ相續人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ前戸主ハ將來行フコトアルヘキ求償權ノ全額ニ付破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十八條 左ニ掲クル請求權ハ之ヲ破産債権トセス但シ法人又ハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

ニ後ル

第四章 財團債權

第四十七條

一 破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニスル裁判上ノ費用
二 國稅徵收法又ハ國稅徵收ノ例ニ依リ徵收スルコトヲ得ヘキ請求權但シ破産宣告後ノ原因ニ基テ請求權ハ破産財團ニ關シテ生シタルモノニ限ル

三 破産財團ノ管理、換價及配當ニ關スル費用

四 破産財團ニ關シ破産管財人ノ爲シタル行爲ニ因リテ生シタル請求權
五 事務管理又ハ不當利得ニ因リ破産財團ニ對シテ生シタル請求權
六 委任終了又ハ代理權消滅ノ後急迫ノ必要ノ爲ニ爲シタル行爲ニ因リ破産財團ニ對シテ生シタル請求權

七 第五十九條第一項ノ規定ニ依リ破産管財人カ債務ノ履行ヲ爲ス場合ニ於テ相手方カ有スル請求權

八 破産宣告ニ因リテ債務契約ニ關シ解約ノ申入アリタル場合ニ於テ其ノ終了ニ至ル迄ノ間ニ生シタル請求權

九 破産者及之ニ扶養セラルル者ノ扶助料

第四十八條

破産管財人負擔附遺贈ノ履行ヲ受ケタルトキハ負擔ノ利益ヲ受クヘキ請求權ハ遺贈ノ目的ノ價額ヲ超エサル限度ニ於テ之ヲ財團債權トス

第四十九條

財團債權ハ破産手續ニ依ラスシテ隨時之ヲ辨濟ス

第五十條

財團債權ハ破産財團ヨリ先ツ之ヲ辨濟ス

第五十一條

破産財團カ財團債權ノ總額ヲ辨濟スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ財團債權ノ辨濟ハ法令ニ定ムル優先權ニ拘ラス未ダ

第五十七條

爲替手形ノ振出人又ハ裏書人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ支拂人又ハ豫備支拂人カ其ノ事實ヲ知ラスシテ引受又ハ支拂ヲ爲シタルトキハ之ニ因リテ生シタル債權ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得
前項ノ規定ハ小切手及金錢其ノ他ノ物又ハ有價證券ノ給付ヲ目的トスル有價證券ニ之ヲ準用ス

第五十八條

前三條ノ規定ノ適用ニ付テハ破産宣告ノ公告前ニ在リテハ其ノ事實ヲ知ラサリシモノト推定シ公告後ニ在リテハ其ノ事實ヲ知リタルモノト推定ス

第五十九條

債務契約ニ付破産者及其ノ相手方カ破産宣告ノ當時未ダ共ニ其ノ履行ヲ完了セサルトキハ破産管財人ハ其ノ選擇ニ從ヒ契約ノ解除ヲ爲シ又ハ破産者ノ債務ヲ履行シテ相手方ノ債務ノ履行ヲ請求スルコトヲ得

第六十條

前項ノ場合ニ於テ相手方ハ破産管財人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ契約ノ解除ヲ爲スカ又ハ債務ノ履行ヲ請求スルカヲ確答スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得破産管財人カ其ノ期間内ニ確答ヲ爲ササルトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス
債ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得
破産者ノ受ケタル反對給付カ破産財團中ニ現存スルトキハ相手方ハ其ノ返還ヲ請求シ現存セサルトキハ其ノ價額ニ付財團債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第六十一條

取引所ノ相場アル商品ノ賣買ニ付一定ノ日時又ハ一定ノ期間

第二編 民事

第七章 民事手續 破産法

辨濟セサル債權額ノ割合ニ應シテ之ヲ爲ス但シ財團債權ニ付存スル留置權、特別ノ先取特權、質權及抵當權ノ效力ヲ妨ケス

第四十七條第一號乃至第七號ノ財團債權ハ他ノ財團債權ニ先ツ

第五十二條 第十七條乃至第二十條、第二十二條及第二十三條第一項ノ規定ハ第四十七條第七號及第四十八條ニ規定スル財團債權ニ之ヲ準用ス

第五章 法律行爲ニ關スル破産ノ效力

第五十三條 破産者カ破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財產ニ關シテ爲シタル法律行爲ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

破産者カ破産宣告ノ日ニ於テ爲シタル法律行爲ハ破産宣告後ニ之ヲ爲シタルモノト推定ス

第五十四條 破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財產ニ關シ破産者ノ法律行爲ニ因ラスシテ權利ヲ取得スルモノ其ノ取得ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ取得ニ之ヲ準用ス

第五十五條 不動産又ハ船舶ニ關シ破産宣告前ニ生シタル登記原因ニ基キ破産宣告ノ後爲シタル登記又ハ不動産登記法第二條第一號ノ規定ニ依リ假登記ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス但シ登記權利者カ破産宣告ノ事實ヲ知ラスシテ爲シタル登記又ハ假登記ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ權利ノ設定、移轉又ハ變更ニ關スル登録又ハ假登録ニ付之ヲ準用ス

第五十六條 破産宣告ノ後其ノ事實ヲ知ラスシテ破産者ニ爲シタル辨濟ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得

破産宣告ノ後其ノ事實ヲ知リテ破産者ニ爲シタル辨濟ハ破産財團カ受ケ

内ニ履行ヲ爲スニ非サレハ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ時期カ破産宣告後ニ到來スヘキトキハ契約ノ解除アリタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テ損害賠償ノ額ハ履行地又ハ其ノ地ノ相場ノ標準ト爲ルヘキ地ニ於ケル同種ノ取引ニシテ同一ノ時期ニ履行スヘキモノノ相場ト賣買ノ代價トノ差額ニ依リテ之ヲ定ム

前條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ損害賠償ニ付之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ付取引所ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ定ニ從フ

第六十二條 第五十九條第二項ノ規定ハ民法第六百二十一條、第六百三十一條又ハ第六百四十二條第一項ノ規定ニ依リ相手方又ハ破産管理人カ有スル解除權ノ行使ニ付之ヲ準用ス

第六十三條 貸貸人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ借賃ノ前拂又ハ借賃ノ債權ノ處分ハ破産宣告ノ時ニ於ケル當期及次期ニ關スルモノヲ除クノ外之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得サルニ因リテ損害ヲ受ケタル者ハ其ノ損害ノ賠償ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

前二項ノ規定ハ地上權及永小作權ニ付之ヲ準用ス

第六十四條 破産者カ請負契約ニ因リ仕事ヲ爲ス義務ヲ負擔スルトキハ破産管財人ハ必要ナル材料ヲ供シ破産者ヲシテ其ノ仕事ヲ爲サシムルコトヲ得其ノ仕事カ破産者自ラ爲スコトヲ要セサルモノナルトキハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ破産者カ其ノ相手方ヨリ受クヘキ報酬ハ破産財團ニ屬ス

第六十五條 委任者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ委任者カ破産宣告

ノ通知ヲ受ケス且破産宣告ノ事實ヲ知ラスシテ委任事務ヲ處理シタルトキハ之ニ因リテ生シタル債權ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第六十六條 交互計算ハ當事者ノ一方カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ終了ス此ノ場合ニ於テハ各當事者ハ計算ヲ閉鎖シ殘額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル請求權ハ破産者之ヲ有スルトキハ破産財團ニ屬シ相手方之ヲ有スルトキハ破産債權トス

第六十七條 數人共同シテ財產權ヲ有スル場合ニ於テ共有者ノ中破産ノ宣告ヲ受ケタル者アルトキハ分割ヲ爲ササル定アルトキト雖破産手續ニ依ラスシテ其ノ分割ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ他ノ共有者ハ相當ノ價金ヲ拂ヒテ破産者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第六十八條 民法第七百九十六條第二項第三項及第七百九十七條ノ規定ハ配偶者ノ財產ヲ管理スル者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ、同法第八百九十七條ノ規定ハ親權ヲ行フ者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條 破産財團ニ屬スル財產ニ關シ破産宣告ノ當時繫屬スル訴訟ハ破産管財人又ハ相手方ニ於テ之ヲ受繼クコトヲ得第四十七條第七號ニ掲タル請求權ニ關スル訴訟ニ付亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ訴訟費用ハ之ヲ財團債權トス

第七十條 破産債權ニ付破産財團ニ屬スル財產ニ對シ爲シタル強制執行、假差押又ハ假處分ハ破産財團ニ對シテハ其ノ效力ヲ失フ但シ強制執行ニ付テハ破産管財人ニ於テ破産財團ノ爲其ノ手續ヲ續行スルコトヲ妨ケ

前項但書ノ規定ニ依リ破産管財人カ強制執行ノ手續ヲ續行スルトキハ費用ハ之ヲ財團債權トシ強制執行ニ對スル第三者ノ異議ノ訴ニ付テハ破産管財人ヲ被告トス

前二項ノ規定ハ一般ノ先取特權者カ破産財團ニ屬スル財產ニ對シ爲シタル競賣手續ニ之ヲ準用ス

第七十一條 破産財團ニ屬スル財產ニ對シ國稅徵收法又ハ國稅徵收ノ例ニ依ル滯納處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ破産ノ宣告ハ其ノ處分ノ續行ヲ妨ケス

破産財團ニ屬スル財產ニ關シ破産宣告ノ當時行政廳ニ繫屬スル事件アルトキハ其ノ手續ハ受繼又ハ破産手續ノ解止ニ至ル迄之ヲ中斷ス

第六十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六章 否認權

第七十二條 左ニ掲タル行爲ハ破産財團ノ爲之ヲ否認スルコトヲ得

一 破産者カ破産債權者ヲ害スルコトヲ知リテ爲シタル行爲但シ之ニ因リテ利益ヲ受ケタル者カ其ノ行爲ノ當時破産債權者ヲ害スヘキ事實ヲ知ラザリシトキハ此ノ限ニ在ラス

二 破産者カ支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタル後ニ爲シタル擔保ノ供與、債務ノ消滅ニ關スル行爲其ノ他破産債權者ヲ害スル行爲但シ之ニ因リテ利益ヲ受ケタル者カ其ノ行爲ノ當時支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知リタルトキニ限ル

三 前號ノ行爲ニシテ破産者ノ親族、戸主、家族又ハ同居者ヲ相手方トスルモノ但シ相手方カ其ノ行爲ノ當時支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知ラザリシトキハ此ノ限ニ在ラス

四 破産者カ支拂ノ停止若ハ破産ノ申立アリタル後又ハ其ノ前三十日内ニ爲シタル擔保ノ供與又ハ債務ノ消滅ニ關スル行爲ニシテ破産者ノ義務ニ屬セス又ハ其ノ方法若ハ期間カ破産者ノ義務ニ屬セザルモノ但シ債權者カ其ノ行爲ノ當時支拂ノ停止若ハ破産ノ申立アリタルコト又ハ破産債權者ヲ害スヘキ事實ヲ知ラザリシトキハ此ノ限ニ在ラス

五 破産者カ支拂ノ停止若ハ破産ノ申立アリタル後又ハ其ノ前六个月内ニ爲シタル無償行爲及之ト同規スヘキ有償行爲

第七十三條 前條ノ規定ハ破産者ヨリ手形ノ支拂ヲ受ケタル者カ其ノ支拂ヲ受ケサレハ債務者ノ一人又ハ數人ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フヘカリシ場合ニハ之ヲ適用セス

前項ノ場合ニ於テ最終ノ償還義務者又ハ手形ノ振出ヲ委託シタル者カ振田ノ當時支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知リ又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラザリシトキハ破産管財人ハ之ヲシテ破産者カ支拂ヒタル金額ヲ償還セシムルコトヲ得

第七十四條 支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタル後權利ノ設定、移轉又ハ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ行爲カ權利ノ設定、移轉又ハ變更アリタル日ヨリ十五日ヲ經過シタル後惡意ニテ爲シタルモノナルトキハ之ヲ否認スルコトヲ得但シ登記及登錄ニ付テハ假登記又ハ假登錄アリタル後本登記又ハ本登錄ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ權利取得ノ效力ヲ生スル登錄ニ付之ヲ準用ス

第七十五條 否認權ハ否認セントスル行爲ニ付執行力アル債權名義アルトキ又ハ其ノ行爲カ執行行爲ニ基クモノナルトキト雖之ヲ行フコトヲ妨ケ

第二編 民事 第七章 民事手續 破産法

第七十六條 否認權ハ訴又ハ抗辯ニ依ル破産管財人之ヲ行フ

第七十七條 否認權ノ行使ハ破産財團ノ原狀ニ復セシム

第七十二條第五號ニ掲ケル行爲カ否認セラレタル場合ニ於テ相手方カ行爲ノ當時善意ナリシトキハ其ノ現ニ受ケタル利益ヲ償還スルヲ以テ足ル

第七十八條 破産者ノ行爲カ否認セラレタル場合ニ於テ其ノ受ケタル反對給付カ破産財團中ニ現存スルトキハ相手方ハ其ノ返還ヲ請求シ反對給付ニ因リテ生シタル利益カ現存スルトキハ其ノ利益ノ限度ニ於テ財團債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

反對給付ニ因リテ生シタル利益カ現存セザルトキハ相手方ハ其ノ價額ノ償還ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得反對給付ノ價額カ現存スル利益ヨリ大ナル場合ニ於テ其ノ差額ニ付亦同シ

第七十九條 破産者ノ行爲カ否認セラレタル場合ニ於テ相手方カ其ノ受ケタル給付ヲ返還シ又ハ其ノ價額ヲ償還シタルトキハ相手方ノ債權ハ之ニ因リテ原狀ニ復ス

第八十條 第七十二條、第七十三條及前二條ノ規定ハ相續財產ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テ被相續人、相續人、相續財產管理人及遺言執行者カ相續財產ニ關シテ爲シタル行爲並前戸主カ第十三條ノ財產ニ關シテ爲シタル行爲ニ之ヲ準用ス

第八十一條 相續財產ニ對シ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テ受遺者ニ對スル辨濟其ノ他債務ノ消滅ニ關スル行爲カ其ノ債權ニ先ツ債權ヲ有スル破産債權者ヲ害スルトキハ之ヲ否認スルコトヲ得

第八十二條 相續財產ニ對シ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テ第八十條ノ規定スル行爲カ否認セラレタルトキハ相續債權者ニ辨濟ヲ爲シタル後否認セラレタル行爲ノ相手方ニ其ノ權利ノ價額ニ應シテ殘餘財產ヲ分配ス

ルコトヲ要ス

第八十三條 左ノ場合ニ於テハ否認權ハ轉得者ニ對シテモ亦之ヲ行フコトヲ得

一 轉得者カ轉得ノ當時各其ノ前者ニ對スル否認ノ原因アルコトヲ知りタルトキ

二 轉得者カ破産者ノ親族、戸主、家族又ハ同居者ナルトキ但シ轉得ノ當時各其ノ前者ニ對スル否認ノ原因アルコトヲ知ラザリシトキハ此ノ限ニ在ラス

三 轉得者カ無償行爲又ハ之ト同視スヘキ有償行爲ニ因リテ轉得シタル場合ニ於テ各其ノ前者ニ對シ否認ノ原因アルトキ

第七十七條第二項ノ規定ハ前項第三號ノ規定ニ依リ否認權ノ行使アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十四條 破産宣告ノ日ヨリ一年前ニ爲シタル行爲ハ支拂停止ノ事實ヲ知リタルコトヲ理由トシテ之ヲ否認スルコトヲ得ス

第八十五條 否認權ハ破産宣告ノ日ヨリ二年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス行爲ノ日ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第八十六條 民法第四百二十四條ノ規定ニ依リ破産債權者ノ提起シタル訴訟カ破産宣告ノ當時繫屬スルトキハ其ノ訴訟手續ハ受續又ハ破産手續ノ解止ニ至ル迄之ヲ中斷ス

第六十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七章 取戻權

第八十七條 破産ノ宣告ハ破産者ニ屬セサル財産ヲ破産財團ヨリ取戻ス權利ニ影響ヲ及ボサス

第八十八條 破産宣告前破産者ニ財産ヲ讓渡シタル者ハ擔保ノ目的ヲ以テ

シタルコトヲ理由トシテ其ノ財産ヲ取戻スコトヲ得ス

第八十九條 賣主カ賣買ノ目的タル物品ヲ買主ニ發送シタル場合ニ於テ買主カ未タ代金ノ全額ヲ辨済セス且到達地ニ於テ其ノ物品ヲ受取ラサル間ニ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ賣主ハ其ノ物品ヲ取戻スコトヲ得但シ破産管財人カ代金ノ全額ヲ支拂ヒテ其ノ物品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ妨ケス

前項ノ規定ハ第五十九條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第九十條 前條第一項ノ規定ハ物品買入ノ委託ヲ受ケタル問屋カ其ノ物品ヲ委託者ニ發送シタル場合ニ之ヲ準用ス

第九十一條 破産者カ破産宣告前取戻權ノ目的タル財産ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ取戻權者ハ反對給付ノ請求權ヲ移轉ヲ請求スルコトヲ得破産管財人カ取戻權ノ目的タル財産ヲ讓渡シタル場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テ破産管財人カ反對給付ヲ受ケタルトキハ取戻權者ハ破産管財人カ反對給付トシテ受ケタル財産ノ給付ヲ請求スルコトヲ得

第八章 別除權

第九十二條 破産財團ニ屬スル財産ノ上ニ存スル特別ノ先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ其ノ目的タル財産ニ付別除權ヲ有ス

第九十三條 破産財團ニ屬スル財産ノ上ニ存スル留置權ニシテ商法ニ依ルモノハ破産財團ニ對シテハ之ヲ特別ノ先取特權ト看做ス此ノ先取特權ハ他ノ特別ノ先取特權ニ後ル

前項ノ規定スルモノヲ除クノ外留置權ハ破産財團ニ對シテハ其ノ效力ヲ失フ

第九十四條 數人共同シテ財産權ヲ有スル場合ニ於テ其ノ一人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ之ニ對シ共有ニ關スル債權ヲ有スル他ノ共有者ハ分

割ニ因リテ破産者ニ歸スヘキ共有財産ノ部分ニ付別除權ヲ有ス

第九十五條 別除權ハ破産手續ニ依ラスシテ之ヲ行フ

第九十六條 別除權者ハ其ノ別除權ノ行使ニ依リテ辨済ヲ受クルコト能ハサル債權額ニ付テノミ破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得但シ別除權ヲ拋棄シタル債權額ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ妨ケス

第九十七條 破産財團ニ屬セサル破産者ノ財産ノ上ニ特別ノ先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ其ノ權利ノ行使ニ依リテ辨済ヲ受クルコト能ハサル債權額ニ付テノミ破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得華族世襲財産ヲ差押フル權利ヲ有スル者及破産者カ更ニ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ前ノ破産ニ付破産債權ヲ有スル者亦同シ

第九章 相殺權

第九十八條 破産債權者カ破産宣告ノ當時破産者ニ對シテ債務ヲ負擔スルトキハ破産手續ニ依ラスシテ相殺ヲ爲スコトヲ得

第九十九條 破産債權者ノ債權カ破産宣告ノ時ニ於テ期限附若ハ解除條件附ナルトキ又ハ第二十二條ニ掲ケルモノナルトキト雖相殺ヲ爲スコトヲ妨ケス債務カ期限附若ハ條件附ナルトキ又ハ將來ノ請求權ニ關スルモノナルトキ亦同シ

第一百條 停止條件附債權又ハ將來ノ請求權ヲ有スル者カ其ノ債務ヲ辨済スル場合ニ於テハ後日相殺ヲ爲ス爲其ノ債權額ノ限度ニ於テ辨済額ノ寄託ヲ請求スルコトヲ得

第一百一條 解除條件附債權ヲ有スル者カ相殺ヲ爲ストキハ其ノ相殺額ニ付擔保ヲ供シ又ハ寄託ヲ爲スコトヲ要ス

第一百二條 第十八條乃至第二十條、第二十二條及第二十三條ノ規定ハ破産債權者ノ債權ニ之ヲ準用ス

第一百三條 破産債權者カ賃借人ナルトキハ破産宣告ノ時ニ於ケル當期及次期ノ借賃ニ付相殺ヲ爲スコトヲ得數金アルトキハ其ノ後ノ借賃ニ付亦同シ

前項ノ規定ハ地代及小作料ニ付之ヲ準用ス

第一百四條 左ノ場合ニ於テハ相殺ヲ爲スコトヲ得ス

一 破産債權者カ破産宣告ノ後破産財團ニ對シテ債務ヲ負擔シタルトキ

二 破産者ノ債務者カ破産宣告ノ後他人ノ破産債權ヲ取得シタルトキ

三 破産者ノ債務者カ支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知りテ破産債權ヲ取得シタルトキ但シ其ノ取得カ法定ノ原因ニ基クトキ、債務者カ支拂ノ停止若ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知りタル時ヨリ前ニ生シタル原因ニ基クトキ又ハ破産宣告ノ時ヨリ一年前ニ生シタル原因ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第二編 手續規定

第一章 總則

第一百五條 破産事件ハ債務者カ營業者ナルトキハ其ノ主タル營業所ノ所在地、外國ニ主タル營業所ヲ有スルトキハ日本ニ於ケル主タル營業所ノ所在地、營業者ニ非サルトキ又ハ營業所ヲ有セサルトキハ其ノ普通裁判籍ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第一百六條 相續財産ニ關スル破産事件ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第一百七條 前二條ノ規定ニ依ル管轄裁判所ナキトキハ財産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

債權ハ裁判上ノ請求ヲ爲スコトヲ得ル地ヲ以テ其ノ所在地ト看做ス
前二項ノ規定ニ依リ二以上ノ裁判所カ管轄權ヲ有スルトキハ先ニ破産ノ
申立アリタル裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第百八條 破産手續ニ關シテハ本法ニ別段ノ定ナキトキハ民事訴訟法ヲ準
用ス

第百九條 破産事件ニ關シテハ裁判所ハ互ニ法律上ノ補助ヲ求ムルコトヲ
得

第百十條 破産手續ニ關スル裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ
得

裁判所ハ職權ヲ以テ破産事件ニ關シ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得
第百十一條 破産手續ニ關スル裁判ハ職權ヲ以テ其ノ送達ヲ爲スコトヲ要
ス

第百十二條 破産手續ニ關スル裁判ニ對シテハ本編ニ別段ノ定アル場合ヲ
除クノ外其ノ裁判ニ付利害關係ヲ有スル者ハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其
ノ期間ハ裁判ノ公告アリタル場合ニ於テハ其ノ公告アリタル日ヨリ起算
シテ二週間トス

第百十三條 抗告裁判所ノ決定ハ確定ノ後ニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス但
シ裁判所ハ其ノ決定ヲ以テ直ニ效力ヲ生スヘキコトヲ定ムルコトヲ得

抗告裁判所ノ破産ノ宣告ハ前項ノ規定ニ拘ラス直ニ其ノ效力ヲ生ス
第百十四條 破産手續ニ關スル申立、陳述及抗告ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之
ヲ爲スコトヲ得

第百十五條 本編ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ハ官報及登記事項ノ公告ヲ揭
載スヘキ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲ス

公告ハ最終ノ掲載アリタル日ノ翌日ニ於テ其ノ效力ヲ生ス

第百十六條 裁判所ノ管轄内ニ前條第一項ノ新聞紙ナキトキハ公告ハ裁判
所及破産者ノ營業所若ハ住所ノ所在地ノ出張所又ハ其ノ管轄内ノ市役
所、區村役場若ハ之ニ準スヘキ公署ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲ス此ノ場
合ニ於テハ公告ハ揭示ノ日ヨリ三日ヲ經過シタル後其ノ效力ヲ生ス

第百十七條 本編ノ規定ニ依リ送達ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ公告ヲ以テ之
ニ代フルコトヲ得

第百十八條 本編ノ規定ニ依リ公告ノ外送達ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ送達
ハ書類ヲ郵便ニ付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ公告ハ一切ノ關係人ニ對スル送達ノ效力ヲ有ス
第百十九條 法人ニ對シテ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以
テ遲滞ナク囑託書ニ破産決定書ノ原本ヲ添附シテ破産ノ登記ヲ各營業所
又ハ各事務所ノ所在地ノ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百二十條 裁判所カ破産者ニ關スル登記アルコトヲ知リタルトキハ職權
ヲ以テ遲滞ナク囑託書ニ破産決定書ノ原本ヲ添附シテ破産ノ登記ヲ登記
所ニ囑託スルコトヲ要ス破産財團ニ屬スル權利ニシテ登記シタルモノア
ルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第百二十一條 前二條ノ規定ハ破産取消、破産廢止又ハ強制和議取消ノ決
定カ確定シタル場合及破産終結ノ決定アリタル場合ニ之ヲ準用ス破産管
財人カ破産ノ登記アリタル權利ヲ破産財團ヨリ拋棄シタル場合ニ於テ登
記囑託ノ申立アリタルトキ亦同シ

第百二十二條 登記所カ前三條ノ規定ニ依リテ登記ノ囑託ヲ受ケタルトキ
ハ遲滞ナク其ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス
第百二十三條 登記ノ原因タル行爲カ否認セラレタルトキハ破産管財人ハ

關シテハ其ノ效力ヲ有セス
第百三十一條 相續財產ニ對シテハ民法第四百一十一條ノ規定ニ依リ財產分
離ノ請求ヲ爲スコトヲ得ル間ニ限り破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得其ノ間ニ
限定承認又ハ財產分離アリタル場合ニ於テハ相續債權者及受遺者ニ對ス
ル辨濟力未タ終了セサル間亦同シ

第百三十二條 債權者又ハ債務者ハ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得
債權者カ破産ノ申立ヲ爲ストキハ其ノ債權ノ存在及破産ノ原因タル事實
ヲ證明スルコトヲ要ス

第百三十三條 民法ニ依リテ設立シタル法人又ハ産業組合ニ對シテハ理
事、合名會社合資會社又ハ株式合資會社ニ對シテハ無限責任社員、株式
會社又ハ相互保險會社ニ對シテハ取締役ハ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ニ規定スル法人ニ對シテハ清算人モ亦破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得
第百三十四條 理事、無限責任社員、取締役又ハ清算人ノ全員カ破産ノ申
立ヲ爲サル場合ニ於テハ破産ノ原因タル事實ヲ證明スルコトヲ要ス

第百三十五條 前二條ノ規定ハ第三百三十三條ニ規定スル法人以外ノ法人ニ
之ヲ準用ス

第百三十六條 相續財產ニ對シテハ相續債權者及受遺者ノ外相續人、相續
財產管理人及遺言執行者モ亦破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得

相續財產管理人、遺言執行者又ハ限定承認若ハ財產分離アリタル場合ニ
於テハ相續人カ相續財產ヲ以テ相續債權者及受遺者ニ對スル債務ヲ完済
スルコト能ハサルコトヲ發見シタルトキハ直ニ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ
要ス

相續人、相續財產管理人又ハ遺言執行者カ破産ノ申立ヲ爲ストキハ破産
ノ原因タル事實ヲ證明スルコトヲ要ス

否認ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス登記カ否認セラレタルトキ亦同シ
第百二十一條及前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第百二十四條 前四條ノ規定ハ破産財團ニ屬スル權利ニシテ登録シタルモ
ノニ之ヲ準用ス
第百二十五條 法人ニ對シテ破産ノ宣告ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ法人ノ
設立又ハ目的タル事業ニ付官廳ノ許可アリタルモノナルトキハ裁判所ハ
破産ノ宣告アリタル旨ヲ主務官廳ニ通知スルコトヲ要ス
前項ノ規定ハ破産取消、破産廢止若ハ強制和議取消ノ決定カ確定シ又ハ
破産終結ノ決定アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二章 破産宣告
第百二十六條 債務者カ支拂ヲ爲スコト能ハサルトキハ裁判所ハ申立ニ因
リ決定ヲ以テ破産ヲ宣告ス
債務者カ支拂ヲ停止シタルトキハ支拂ヲ爲スコト能ハサルモノト推定
ス
第百二十七條 法人ニ對シテハ其ノ財產ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハサ
ル場合ニ於テモ亦破産ノ宣告ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ハ合名會社及合資會社ノ存立中ハ之ヲ適用セス
第百二十八條 法人ニ對シテハ其ノ解散ノ後ト雖殘餘財產ノ引渡又ハ分配
カ終了セサル間ハ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得
第百二十九條 相續財產ヲ以テ相續債權者及受遺者ニ對スル債務ヲ完済ス
ルコト能ハサルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ決定ヲ以テ破産ヲ宣告ス
第百三十條 破産ノ申立又ハ破産ノ宣告アリタル後相續力開始シタルトキ
ハ破産手續ハ相續財產ニ對シテ之ヲ續行ス
破産ノ申立又ハ破産ノ宣告アリタル後ニ於ケル國籍ノ喪失ハ破産手續ニ

第三百三十七條 破産申立ノ當時既ニ外國ニ於テ破産ノ宣告アリタルトキハ

破産申立人ハ破産ノ原因タル事實ヲ疏明スルコトヲ要セス

第三百三十八條 破産申立人カ債権者ニ非サルトキハ申立ト同時ニ財産ノ概況ヲ示スヘキ書面並債権者及債務者ノ一覽表ヲ提出スルコトヲ要ス申立ト同時ニ提出スルコト能ハサルトキハ爾後遲滞ナク之ヲ提出スルコトヲ要ス

第三百三十九條 債権者カ破産ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ破産手續ノ費用トシテ裁判所カ相當ト認ムル金額ノ豫納アルコトヲ要ス豫納ナキトキハ裁判所ハ其ノ申立ヲ棄却スルコトヲ得

第四百十條 破産申立人カ債権者ニ非サルトキハ破産手續ノ費用ハ假ニ國庫ヨリ之ヲ支辨ス破産申立人カ債権者ナル場合ニ於テ費用ノ豫納ナキニ拘ラス裁判所カ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキ、豫納金カ不足ナルニ至リタルトキ及裁判所カ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキ亦同シ

第四百十一條 破産決定書ニハ破産宣告ノ年月日時ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百十二條 裁判所ハ破産ノ宣告ト同時ニ破産管財人ヲ選任シ且左ノ事項ヲ定ムルコトヲ要ス

- 一 債権届出ノ期間但シ其ノ期間ハ破産宣告ノ日ヨリ二週間以上四月以下ナルコトヲ要ス
- 二 第一回ノ債権者集會ノ期日但シ其ノ期日ハ破産宣告ノ日ヨリ一月内ナルコトヲ要ス
- 三 債権調査ノ期日但シ其ノ期日ト債権届出期間ノ末日トノ間ニハ一週間以上一月以下ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス

前項第二號及第三號ノ期日ハ之ヲ併合スルコトヲ妨ケス

組合其ノ他ノ法人ニハ之ヲ適用セス破産手續ノ費用ヲ償フニ足ルヘキ金額ノ豫納アリタル場合亦同シ

第四百十七條 破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第四百十八條 裁判所ハ必要ト認ムルトキハ破産者ノ引致ヲ命スルコトヲ得

引致ハ引致狀ヲ發シテ之ヲ爲ス

引致ニハ刑事訴訟法中勾引ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百十九條 破産者カ逃走シ又ハ財産ヲ隱匿若ハ毀棄スル虞アルトキハ裁判所ハ其ノ監守ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ決定書ノ正本ヲ檢事ニ送致スルコトヲ要ス檢事ハ破産者ノ居住地ヲ管轄スル警察官署ニ命シテ監守ヲ執行セシム

第四百二十條 監守ヲ命セラレタル破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第四百二十一條 監守ノ必要カ止ミタルトキハ裁判所ハ破産者若ハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ監守ノ決定ヲ取消スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ決定書ノ正本ヲ檢事ニ送致スルコトヲ要ス檢事ハ警察官署ニ命シテ監守ヲ解カシム

第四百二十二條 前五條ノ規定ハ破産者ノ法定代理人、理事及之ニ準スヘキ者並支配人ニ付之ヲ準用ス相續財産ニ對スル破産ニ於テ相續人及前戶主並其ノ法定代理人及支配人ニ付亦同シ

第四百十三條 裁判所カ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ直ニ左ノ事項ヲ公告スルコトヲ要ス

- 一 破産決定ノ主文
- 二 破産管財人ノ氏名及住所
- 三 前條ノ規定ニ依リ定メタル期間及期日
- 四 破産者ノ債務者及破産財團ニ屬スル財産ノ所持者ハ破産者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ其ノ財産ヲ交付スヘカラサル旨及債務ヲ負擔スルコト又ハ其ノ財産ヲ所持スルコト、所持者カ別除權ヲ有スルトキハ其ノ債權ヲ有スルコトヲ一定ノ期間内ニ破産管財人ニ届出ツヘキ旨ノ命令

知レタル債権者、債務者及財産所持者ニハ前項ニ掲クル事項ヲ記載シタル書面ヲ送達スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ第一項第二號乃至第四號ニ掲クル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス

第一項第四號ノ届出ヲ怠リタル者ハ之ニ因リテ破産財團ニ生シタル損害ヲ賠償スルコトヲ要ス

第四百十四條 裁判所カ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ檢事ニ通知スルコトヲ要ス

第四百十五條 裁判所カ破産財團ヲ以テ破産手續ノ費用ヲ償フニ足ラスト認ムルトキハ破産ノ宣告ト同時ニ破産廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ破産決定ノ主文並破産廢止ノ決定ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ破産廢止ノ決定ノ取消カ確定シタルトキハ前三條ノ規定ヲ準用ス

第四百十六條 前條ノ規定ハ無限責任又ハ保證責任ノ相互保險會社、産業

管理人、遺言執行者並相續人及前戶主ノ代理人亦同シ

前項ノ規定ハ前二前項ニ規定スル資格ヲ有シタル者ニ之ヲ準用ス

第四百十四條 破産ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ破産宣告前ト雖債務者及第五百十二條ニ規定スル者ノ引致又ハ監守ヲ命スルコトヲ得

第四百十五條 破産ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ破産宣告前ト雖利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産財團ニ關シ假差押、假處分其ノ他ノ必要ナル保全處分ヲ命スルコトヲ得

裁判所ハ前項ノ規定ニ依ル處分ヲ變更シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十六條 破産取消ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ裁判所ハ直ニ其ノ主文ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十三條第二項、第四百十四條、第五百十一條第二項、第五百十二條及第三百五十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三章 破産管財人

第四百十七條 破産管財人ハ裁判所之ヲ選任ス

第四百十八條 破産管財人ハ一人トス但シ裁判所必要ト認ムルトキハ數人ヲ選任スルコトヲ得

第四百十九條 裁判所ハ破産管財人ニ其ノ選任ヲ證スル書面ヲ交付スルコトヲ要ス

破産管財人ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ利益關係人ノ請求アルトキハ前項ノ書面ヲ示スコトヲ要ス

第四百二十條 破産管財人ハ正當ノ事由アルニ非サレハ其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得ス

破産管財人カ其ノ任務ヲ辭セムトスルトキハ裁判所ニ申立ヲ爲スコトヲ

要ス
第六十一條 破産管財人ハ裁判所ノ監督ニ屬ス
第六十二條 破産財團ニ關スル訴ニ付テハ破産管財人ヲ以テ原告又ハ被告トス
第六十三條 破産管財人數人アルトキハ共同シテ其ノ職務ヲ行フ但シ裁判所ノ許可ヲ得テ職務ヲ分掌スルコトヲ得
 破産管財人數人アルトキハ第三者ノ意思表示ハ其ノ一人ニ對シテ之ヲ爲スヲ以テ足ル
第六十四條 破産管財人ハ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ其ノ職務ヲ行フコトヲ要ス
 破産管財人カ前項ノ注意ヲ怠リタルトキハ其ノ破産管財人ハ利害關係人ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス
第六十五條 破産管財人ハ臨時故障アル場合ニ於テ其ノ職務ヲ行ハシムル爲自己ノ責任ヲ以テ豫メ代理人ヲ選任スルコトヲ得
 前項ノ代理人ノ選任ハ裁判所ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス
第六十六條 破産管財人ハ費用ノ前拂及報酬ヲ受クルコトヲ得其ノ額ハ裁判所之ヲ定ム
第六十七條 裁判所ハ債權者集會ノ決議若ハ監査委員ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産管財人ヲ解任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ破産管財人ヲ審訊スルコトヲ要ス
第六十八條 破産管財人ノ任務終了ノ場合ニ於テハ破産管財人又ハ其ノ相續人ハ遲滞ナク債權者集會ニ計算ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス
 破産者、破産債權者又ハ後任ノ破産管財人カ債權者集會ニ於テ計算ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

破産管財人ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲計算報告書及監査委員ノ意見書ヲ債權者集會ノ日ヨリ三日前ニ裁判所ニ提出スルコトヲ要ス
第六十九條 破産管財人ノ任務終了ノ場合ニ於テ急迫ノ事情アルトキハ破産管財人又ハ其ノ相續人ハ後任ノ破産管財人又ハ破産者カ財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至ル迄必要ナル處分ヲ爲スコトヲ要ス
 第四章 監査委員
第七十條 監査委員ヲ置クカ否ハ第一回ノ債權者集會ニ於テ之ヲ議決スルコトヲ要ス但シ後ノ債權者集會ニ於テ其ノ決議ヲ變更スルコトヲ得
第七十一條 監査委員ハ三人以上トシ債權者集會ニ於テ之ヲ選任ス
 監査委員ノ選任ノ決議ハ裁判所ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス
第七十二條 監査委員ノ職務ノ執行ハ過半数ヲ以テ之ヲ決ス
 特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ表決ヲ爲スコトヲ得ス
第七十三條 各監査委員ハ何時ニテモ破産管財人ニ對シテ破産財團ニ關スル報告ヲ求メ又ハ破産財團ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得
第七十四條 監査委員ハ何時ニテモ債權者集會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得
 重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ申立ニ因リ監査委員ヲ解任スルコトヲ得
第七十五條 第六十四條又第六十六條ノ規定ハ監査委員ニ之ヲ準用ス
 第五章 債權者集會
第七十六條 債權者集會ハ破産管財人若ハ監査委員ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ裁判所之ヲ召集ス届出ヲ爲シタル總債權ニ付裁判所ノ評價シタル額ノ五分ノ一以上ニ當ル破産債權者ノ申立アリタルトキ亦同シ

第七十七條 債權者集會ノ期日及會議ノ目的タル事項ハ裁判所之ヲ公告スルコトヲ要ス
 債權者集會ノ延期又ハ續行ニ付言渡アリタルトキハ送達又ハ公告ヲ爲スコトヲ要セス
第七十八條 債權者集會ハ裁判所之ヲ指揮ス
第七十九條 債權者集會ノ決議ニハ議決權ヲ行フコトヲ得ヘキ出席破産債權者ノ過半数ニシテ其ノ債權額カ其ノ者ノ總債權ノ半額ヲ超ユル者ノ同意アルコトヲ要ス
 債權者集會ノ決議ニ付特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得ス
第八十條 前條ノ規定ニ依リ決議ヲ爲スコト能ハサルトキト雖議決スヘキ事項ニ付同意シタル者ノ債權額カ議決權ヲ行フコトヲ得ヘキ出席破産債權者ノ總債權ノ半額ヲ超ユルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ決議アリタルモノト看做スコトヲ得
 前項ノ決定ハ裁判所之ヲ公告スルコトヲ要ス其ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
第八十一條 破産債權者ハ代理人ヲ以テ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スルコトヲ要ス
第八十二條 破産債權者ハ確定債權額ニ應ジテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得
 未確定債權、停止條件附債權、將來ノ請求權又ハ別除權ノ行使ニ依リテ辨濟ヲ受クルコト能ハサルヘキ債權額ニ付破産管財人又ハ破産債權者ノ異議アルトキハ裁判所ハ議決權ヲ行ハシムヘキカ否及如何ナル金額ニ付之ヲ行ハシムヘキカヲ定ム

裁判所ハ利害關係人ノ申立ニ因リ何時ニテモ前項ノ規定ニ依リ決定ヲ變更スルコトヲ得
 前二項ノ規定ニ依リ決定ハ其ノ言渡アリタルトキハ送達ヲ爲スコトヲ要セス其ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
第八十三條 債權者集會ノ決議ハ之ヲ以テ監査委員ト同意ニ代フルコトヲ得
 債權者集會ノ決議カ監査委員ノ意見ト異ナルトキハ其ノ決議ニ從フ
第八十四條 債權者集會ノ決議カ破産債權者ノ一般ノ利益コ反スルトキハ裁判所ハ破産管財人、監査委員若ハ破産債權者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ決議ノ執行ヲ禁止スルコトヲ得
 議決權ヲ有セザリシ破産債權者カ前項ノ申立ヲ爲スニハ其ノ破産債權者タルコトヲ證明スルコトヲ要ス
 第一項ノ規定ニ依リ禁止決定ハ其ノ言渡アリタルトキハ送達ヲ爲スコトヲ要セス
 第六章 破産財團ノ管理及換價
第八十五條 破産管財人ハ就職ノ後直ニ破産財團ニ屬スル財産ノ占有及管理ニ着手スルコトヲ要ス
第八十六條 破産管財人必要ト認ムルトキハ裁判所書記、執達吏又ハ公證人ヲシテ破産財團ニ屬スル財産ニ封印ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ封印ヲ爲シタル者ハ調書ヲ作トコトヲ要ス
 前項ノ規定ハ封印除去ノ場合ニ之ヲ準用ス
第八十七條 裁判所書記ハ破産宣告ノ後直ニ破産者ノ財産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ之ニ署名捺印シ且調書ヲ作り之ニ帳簿ノ現狀ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十八條 破産管財人ハ遅滞ナク裁判所書記、執達吏又ハ公證人ノ立會ヲ以テ破産財團ニ屬スル一切ノ財産ノ價額ヲ評定スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ遅滞ノ虞アル場合ヲ除クノ外破産者ノ立會ヲ求ムルコトヲ要ス

第九十九條 破産管財人ハ財産目録及貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス破産管財人ハ財産目録及貸借對照表ノ謄本ニ署名捺印シ之ヲ裁判所ニ提出スルコトヲ要ス封印ニ關スル調書ニ付亦同シ

第一百條 裁判所ハ通信官署又ハ公衆通信取扱所ニ對シ破産者ニ宛テタル郵便物又ハ電報ヲ破産管財人ニ配達スヘキ旨ヲ囑託スルコトヲ要ス破産管財人ハ其ノ受取リタル前項ノ郵便物又ハ電報ノ開披ヲ爲スコトヲ得

破産者ハ前項ノ郵便物又ハ電報ノ開覽ヲ求メ且破産財團ニ關セサルモノノ交付ヲ求ムルコトヲ得

第一百一條 裁判所ハ破産者ノ申立ニ因リ破産管財人ノ意見ヲ聽キ前條第一項ノ囑託ヲ取消シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得

破産取消若ハ破産廢止ノ決定力確定シタルトキ又ハ破産終結ノ決定アリタルトキハ裁判所ハ前條第一項ノ囑託ヲ取消スコトヲ要ス

第一百二條 第一回ノ債權者集會前ニ於テハ破産管財人ハ裁判所ノ許可ヲ得テ破産者及之ニ扶養セラルル者ニ扶助料ヲ與ヘ又ハ破産者ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

貨幣、有價證券其ノ他ノ高價品ノ保管方法ハ裁判所之ヲ定ム

第一百三條 破産管財人ハ破産宣告ニ至リタル事情並破産者及破産財團ニ關スル經過及現狀ニ付第一回ノ債權者集會ニ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第九十四條 第一回ノ債權者集會ニ於テハ扶助料ノ給與、營業ノ廢止又ハ繼續及高價品ノ保管方法ニ付決議ヲ爲スコトヲ要ス

第九十五條 破産管財人ハ別除權者ニ對シ其ノ權利ノ目的タル財産ヲ示スヘキコトヲ求ムルコトヲ得

第九十六條 一般ノ債權調査ノ終了前ニ於テハ破産管財人ハ破産財團ノ換價ヲ爲スコトヲ得ス一般ノ債權調査ノ終了前強制和議ノ提供アリタル場合ニ於テ其ノ落著ニ至ル迄亦同シ

破産財團ニ屬スル財産ニシテ遲滞ナク之ヲ換價スルニ非サレハ破産財團ニ損害ヲ生スル虞アルモノハ前項ノ規定ニ拘ラス監査委員ノ同意、監査委員ナキトキハ裁判所ノ許可ヲ得テ破産管財人其ノ換價ヲ爲スコトヲ得

第九十七條 破産管財人左ニ掲クル行爲ヲ爲スニハ監査委員ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但シ第七號乃至第十四號ニ掲クル行爲ニ付千圓以上ノ價額ヲ有スルモノニ關セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 不動産ニ關スル物權、登記スヘキ日本船舶及外國船舶ノ任意賣却
- 二 鑛業權、漁業權、特許權、意匠權、實用新案權及著作權ノ任意賣却
- 三 營業ノ讓渡
- 四 商品ノ一括賣却
- 五 借財
- 六 第九條第二項ノ規定ニ依ル相續拋棄ノ承認、第十條ノ規定ニ依ル包括遺贈拋棄ノ承認及第十一條第一項ノ規定ニ依ル特定遺贈ノ拋棄
- 七 動産ノ任意賣却
- 八 債權及有價證券ノ讓渡

九 第五十九條第一項ノ規定ニ依ル履行ノ請求

十 訴ノ提起

十一 和解及仲裁契約

十二 權利ノ拋棄

十三 財團債權、取戻權及別除權ノ承認

十四 別除權ノ目的ノ受戻

第九十八條 第一回ノ債權者集會前ニ於テ前條ノ規定ニ依リ監査委員ノ同意ヲ要スル行爲ヲ爲スノ必要アルトキハ破産管財人ハ裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

監査委員ヲ置カサル場合ニ於テハ破産管財人ハ債權者集會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス但シ急迫ノ必要アルトキハ裁判所ノ許可ヲ得ルヲ以テ是ル

第九十九條 前二條ノ場合ニ於テ破産管財人ハ遅滞ノ虞アル場合ヲ除クノ外破産者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第一百條 破産管財人カ第九十七條ニ掲クル行爲ヲ爲スニ付監査委員ノ同意ヲ得タルトキト雖裁判所ハ破産者ノ申立ニ因リ其ノ行爲ノ執行ノ中止ヲ命シ且其ノ行爲ニ關スル決議ヲ爲サシムル爲債權者集會ヲ召集スルコトヲ得

第一百一條 破産管財人カ第九十六條乃至第九十八條ノ規定ニ違反シ又ハ前條ノ規定ニ依ル執行中止ノ命令ニ違反シタルトキト雖之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第一百二條 第九十七條第一號及第二號ニ掲クルモノノ換價ハ民事訴訟法ニ依リテ之ヲ爲ス

第一百三條 破産管財人ハ民事訴訟法ニ依リ別除權ノ目的タル財産ノ換價ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ別除權者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ別除權者ノ受クヘキ金額カ未タ確定セサルトキハ破産管財人ハ代金ヲ別ニ寄託スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ別除權ハ代金ノ上ニ存ス

第一百四條 別除權者カ法律ニ定メタル方法ニ依ラスシテ別除權ノ目的ヲ處分スル權利ヲ有スルトキハ裁判所ハ破産管財人ノ申立ニ因リ別除權者カ其ノ處分ヲ爲スヘキ期間ヲ定ム

第一百五條 破産管財人ノ債權者集會ノ定ムル所ニ依リ債權者集會又ハ監査委員ニ破産財團ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第一百六條 破産管財人カ其ノ寄託シタル貨幣、有價證券其ノ他ノ高價品ノ返還ヲ求ムルニハ監査委員ノ同意、監査委員ナキトキハ裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス但シ債權者集會ニ於テ別段ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ニ依ル

破産管財人カ前項ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テ受寄者カ善意ニシテ且過失ナキトキハ辨濟ハ其ノ效力ヲ有ス

前二項ノ規定ハ破産管財人ヲ受寄者ヲシテ支拂其ノ他ノ給付ヲ爲サシムル爲證券ヲ發行スル場合ニ之ヲ準用ス

第一百七條 商法第九十二條ノ規定ハ法人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス相互保險會社カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ基金ノ支拂ニ付亦同シ

第一百八條 無限責任又ハ保證責任ノ相互保險會社カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ破産管財人ハ損失分擔ノ割合ニ應シ會社ノ債務ヲ辨濟スルニ必要ナル金額ヲ社員ニ賦課スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ社員中ニ無資力者アルトキハ其ノ負擔スヘキ金額ハ他

ノ社員之ヲ負擔ス

第二百九條 前條ノ場合ニ於テハ破産管財人ハ第八十九條第二項ノ規定ニ依リ財産目録及貸借對照表ノ謄本ヲ裁判所ニ提出シタル後直ニ計算表ヲ作り之ニ各社員ノ氏名、住所及負擔額ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百十條 破産管財人ハ前條ノ計算表ニ主務官廳カ認證シタル定款ノ謄本ヲ添附シ之ヲ裁判所ニ提出シテ其ノ認可ヲ申請スルコトヲ要ス
破産ノ宣告ヲ受ケタル相互保險會社ニ關スル登記簿カ破産裁判所タル區裁判所ノ出張所ニ在ルトキハ登記所カ交付シタル社員名簿ノ謄本ヲ申請書ニ添附スルコトヲ要ス

第二百十一條 前條ノ申請アリタルトキハ裁判所ハ計算表ニ記載シタル社員ヲ呼出ス爲メ期日ヲ定メ之ヲ公告スルコトヲ要ス
裁判所ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲メ期日ヨリ三日前ニ計算表ヲ備へ置クコトヲ要ス

第二百十二條 裁判所ハ前條ノ期日ニ於テ相互保險會社ノ取締役、監査役破産管財人及監査委員ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス
社員ハ期日ニ於テ異議ヲ述フルコトヲ得

第二百十三條 裁判所ハ社員ノ異議ヲ理由アリトスレトキ其ノ他必要ト認ムルトキハ計算表ヲ更正シ又ハ破産管財人ヲシテ之ヲ更正セシメタル後計算表認可ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス
計算表認可ノ決定ハ期日又ハ直ニ言渡シタル一週間内ノ期日ニ於テ之ヲ言渡スコトヲ要ス
計算表認可ノ決定書ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲メ計算表ト共ニ之ヲ備へ置クコトヲ要ス

第二百十四條 第二百十一條第一項及前條第一項第二項ノ規定ニ依ル決定

ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二百十五條 計算表認可ノ決定アリタルトキハ破産管財人ハ遲滞ナク各社員ヲシテ其ノ負擔額ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス
社員ニ對スル強制執行ハ執行文ヲ附シタル決定ノ正本及計算表ノ抄本ニ依リテ之ヲ爲ス

民事訴訟法第五百二十一條、第五百四十五條及第五百四十六條ノ規定ニ依ル訴ハ第二百四十五條ニ定ムル裁判所ノ管轄ニ專屬ス
第二百十六條 各社員ハ計算表認可ノ決定言渡ノ日ヨリ一月ノ不變期間内ニ破産管財人ニ對シ計算表ニ付異議ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

異議ノ訴ハ期日ニ於テ其ノ理由ヲ主張シタルトキ又ハ過失ナクシテ之ヲ主張スルコト能ハサリシコトヲ證明スルニ非サレハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第二百十七條 前條ノ異議ノ訴ハ破産裁判所ノ管轄ニ專屬ス但シ訴訟ノ目的ノ價額カ區裁判所ノ權限ヲ超ユル場合ニ於テ本案ノ辯論前ニ當事者ノ申立アリタルトキハ決定ヲ以テ破産裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ一切ノ事件ヲ移送スルコトヲ要ス
前項ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ抗告期間ハ決定言渡ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ決定カ確定シタルトキハ事件ハ地方裁判所ニ繫屬ス此ノ場合ニ於テハ區裁判所ノ訴訟手續ニ關スル費用ハ之ヲ地方裁判所ノ訴訟手續ニ關スル費用ノ一部ト看做ス
第二百十八條 第二百十六條第一項ノ期間内ハ異議ノ訴ニ付口頭辯論ヲ開クコトヲ得ス
數個ノ訴ノ辯論及裁判ハ併合シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百十九條 強制執行ノ停止及續行並執行處分ノ取消ニ付テハ民事訴訟法第五百四十七條及第五百四十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十條 異議ノ訴ニ付爲シタル判決ハ社員ノ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ有ス

第二百二十一條 社員ノ無資力、異議ノ訴其ノ他ノ理由ニ因リ社員ニ對スル賦課ヲ必要トスルトキハ破産管財人ハ更ニ計算表ヲ作ルコトヲ要ス
第二百二十二條 最後ノ配當ノ許可アリタルトキハ破産管財人ハ最後ノ計算表ヲ作ルコトヲ要ス

第二百二十三條 最後ノ計算表ニ依リ全部ノ辨濟ヲ爲スニ足ルヘキ金額ヲ得ルコト能ハサルトキハ破産管財人ハ更ニ計算表ヲ作ルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ脱退シタル社員ニ對シテモ亦其ノ責任ノ限度内ニ於テ賦課ヲ爲スコトヲ得

第二百二十四條 前十六條ノ規定ハ無限責任又ハ保證責任ノ産業組合其ノ他ノ法人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條 匿各組合契約カ營業者ノ破産ニ因リテ終了シタルトキハ破産管財人ハ匿名組合員カ負擔スヘキ損失ノ額ヲ限度トシテ出資ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百二十六條 相續人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル後限定承認ヲ爲シタルトキ又ハ財産分離アリタルトキハ相續財産ノ處分ハ破産管財人之ヲ爲スコトヲ要ス限定承認又ハ財産分離アリタル後相續人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ亦同シ
破産管財人カ前項ノ處分ヲ終ヘタルトキハ殘餘財産ニ付破産財團ノ財産目録及貸借對照表ヲ補充スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ包括受遺者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十七條 前條ノ規定ハ第八條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ限定承認ノ效力ヲ有スル場合ニ之ヲ準用ス

第七章 破産債權ノ届出及調査

第二百二十八條 破産債權者ハ裁判所ノ定メタル期間内ニ其ノ債權ノ額及原因、一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權アルトキハ其ノ權利ヲ裁判所ニ届出テ且證據書類又ハ其ノ謄本若ハ抄本ヲ提出スルコトヲ要ス
別除權者ハ前項ノ規定スル事項ノ外別除權ノ目的及其ノ行使ニ依リテ辨濟ヲ受クルコト能ハサルヘキ債權額ヲ届出ツルコトヲ要ス

破産債權ニ付破産宣告ノ當時訴訟カ繫屬スルトキハ第一項ノ規定スル事項ノ外裁判所、件名及番號ヲ届出ツルコトヲ要ス
第二百二十九條 裁判所書記ハ債權表ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 債權者ノ氏名及住所
- 二 債權ノ額及原因
- 三 優先權アルトキハ其ノ權利
- 四 別除權者カ前條第二項ノ規定ニ依リテ届出テタル債權額

裁判所書記ハ債權表ノ謄本ヲ破産管財人ニ交付スルコトヲ要ス
第二百三十條 債權ノ届出ニ關スル書類及債權表ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲メ之ヲ裁判所ニ備へ置クコトヲ要ス

第二百三十一條 債權調査ノ期日ニ於テハ届出アリタル各債權ニ付第二百二十九條第一項ニ掲ケル事項ヲ調査ス

第二百三十二條 破産者ハ債權調査ノ期日ニ出頭シテ意見ヲ述フルコトヲ要ス但シ正當ノ事由アルトキハ代理人ヲ出頭セシムルコトヲ得
届出ヲ爲シタル破産債權者又ハ其ノ代理人ハ債權調査ノ期日ニ出頭シテ

意見ヲ述フルコトヲ得代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第二百三十三條 債權ノ調査ハ破産管財人出頭ニルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十四條 期間後ニ届出アリタル債權ニ付テハ破産管財人及破産債權者ノ異議アル場合ヲ除クノ外債權調査ノ一般期日ニ於テ其ノ調査ヲ爲スコトヲ得

破産管財人又ハ破産債權者ノ異議アリタルトキハ裁判所ハ前項ノ債權ノ調査ヲ爲ス爲特別期日ヲ定ムルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ費用ハ期間後ニ届出ヲ爲シタル破産債權者ノ負擔トス

第二百三十五條 前條ノ規定ハ破産債權者カ届出テタル事項ニ付届出期間後他ノ破産債權者ノ利益ヲ害スヘキ變更ヲ加ヘタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十六條 第二百三十四條第二項ノ規定ハ破産債權者カ債權調査ノ一般期日後ニ債權ノ届出ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十七條 債權調査ノ特別期日ヲ定ムル決定ハ之ヲ公告シ且破産管財人、破産者及届出ヲ爲シタル破産債權者ニ之ヲ送達スルコトヲ要ス

第二百三十八條 前條ノ規定ハ債權調査ノ期日ノ變更並債權調査ノ延期及續行ニ之ヲ準用ス但シ言渡アリタルトキハ公告及送達ヲ爲スコトヲ要セ

第二百三十九條 前二條ノ規定ニ依ル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二百四十條 債權調査ノ期日ニ於テ破産管財人及破産債權者ノ異議ナカリシトキハ債權ノ額及優先權ハ之ニ因リテ確定ス

破産者カ異議ヲ述ヘタル債權ニ付破産宣告ノ當時訴訟カ繫屬スルトキハ

債權者ハ破産者ヲ相手方トシテ之ヲ受繼クコトヲ得

第二百四十一條 裁判所ハ債權調査ノ結果ヲ債權表ニ記載スルコトヲ要ス破産者ノ述ヘタル異議亦同シ

裁判所書記ハ確定シタル債權ノ證書ニ確定ノ旨ヲ記載シ裁判所ノ印ヲ捺捺スルコトヲ要ス

第二百四十二條 確定債權ニ付テハ債權表ノ記載ハ破産債權者ノ全員ニ對シ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス

第二百四十三條 破産債權者カ債權調査ノ期日ニ出頭セサル場合ニ於テ其ノ債權ニ付異議アリタルトキハ裁判所ハ之ヲ其ノ債權者ニ通知スルコトヲ要ス

第二百四十四條 異議アル債權ニ付テハ其ノ債權者ハ異議者ニ對シ訴ヲ以テ其ノ債權ノ確定ヲ求ムルコトヲ得

異議者數人アルトキハ之ヲ共同被告トス破産者カ異議者ノ一人ナルトキ亦同シ

裁判所ハ債權者ニ其ノ債權ニ關スル債權表ノ抄本ヲ亦付スルコトヲ要ス

第二百四十五條 債權確定ノ訴ハ破産裁判所ノ管轄ニ專屬ス但シ訴カ地方裁判所ノ管轄ニ屬スルトキハ破産裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第二百四十六條 異議アル債權ニ付破産宣告ノ當時訴訟カ繫屬スル場合ニ於テ債權者カ其ノ債權ノ確定ヲ求メムトスルトキハ異議者ヲ相手方トシテ訴訟ヲ受繼クコトヲ要ス

第二百四十七條 破産債權者ハ第二百四十一條第一項ノ規定ニ依リ債權表

記載シタル事項ニ付テノミ債權確定ノ訴ヲ提起シ又ハ第二百四十條第二項若ハ前條ノ規定ニ依リ訴訟ヲ受繼クコトヲ得

第二百四十八條 執行力アル債務名義又ハ終局判決アル債權ニ付テハ異議者ハ破産者カ爲スコトヲ得ヘキ訴訟手續ニ依リテノミ其ノ異議ヲ主張スルコトヲ得

第二百四十九條 裁判所ハ破産管財人又ハ破産債權者ノ申立ニ因リ債權ノ確定ニ關スル訴訟ノ結果ヲ債權表ニ記載スルコトヲ要ス

第二百五十條 債權ノ確定ニ關スル訴訟ニ付爲シタル判決ハ破産債權者ノ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ有ス

第二百五十一條 破産財團カ債權ノ確定ニ關スル訴訟ニ因リテ利益ヲ受ケタルトキハ異議ヲ主張シタル破産債權者ハ其ノ利益ノ限度ニ於テ財團債權者トシテ訴訟費用ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

第二百五十二條 債權ノ確定ニ關スル訴訟ノ目的ノ價額ハ配當ノ豫定額ヲ標準トシ受訴裁判所ノ決定ム

第二百五十三條 公訴附帶ノ私訴ニ付テハ第二百四十六條又ハ第二百四十八條ノ規定ニ依リ訴訟ヲ受繼キ、上訴ヲ爲シ又ハ再審ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

公訴附帶ノ私訴ノ目的タル債權ニ付破産者カ異議者ノ一人ナル場合ニ於テハ之ヲ共同被告トスルコトヲ得

第二百五十四條 第三十八條第四號ニ掲ケル請求權ニ付テハ國又ハ公共團體ハ遲滞ナク其ノ額及原因ヲ裁判所ニ届出ツルコトヲ要ス

第二百四十一條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ届出アリタル請求權ニ

付之ヲ準用ス

第二百五十五條 前條第一項ノ規定ニ依リ届出アリタル請求權ノ原因カ訴願又ハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得ヘキ處分ナルトキハ裁判所ハ遲滞ナク其ノ請求權ノ額及原因ヲ破産管財人ニ通知スルコトヲ要ス

第二百五十六條 破産管財人カ異議ヲ主張スル場合ニ之ヲ準用ス

第八章 配當

第二百五十六條 一般ノ債權調査終了後ニ於テハ破産管財人配當スルニ適當ナル金錢アリト認ムル毎ニ遲滞ナク配當ヲ爲スコトヲ要ス

第二百五十七條 破産管財人配當ヲ爲スニハ監査委員ノ同意、監査委員ナキトキハ裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第二百五十八條 破産管財人ハ配當表ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 配當ニ加フヘキ債權者ノ氏名及住所

二 配當ニ加フヘキ債權ノ額

三 配當スルコトヲ得ヘキ金額

配當ニ加フヘキ債權ハ優先權ノ有無ニ依リテ之ヲ區別シ優先權アルモノニ付テハ其ノ順位ニ從ヒテ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百五十九條 破産管財人ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲配當表ヲ裁判所ニ提出スルコトヲ要ス

第二百六十條 破産管財人ハ配當ニ加フヘキ債權ノ總額及配當スルコトヲ得ヘキ金額ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百六十一條 異議アル債權ニ付テハ債權者カ配當ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週間内ニ破産管財人ニ對シ其ノ債權ノ確定ニ關スル訴ノ提

起又ハ訴訟ノ受継ヲ爲シタルコトヲ證明セサルトキハ其ノ配當ヨリ除斥セラル

第二百六十二條 別除権者カ前條ニ定ムル除斥期間内ニ破産管財人ニ對シ其ノ權利ノ目的ノ處分ニ著手シタルコトヲ證明シ且其ノ處分ニ依リテ辨濟ヲ受クルコト能ハサルヘキ債權額ヲ證明セサルトキハ配當ヨリ除斥セラル

第二百六十三條 左ノ場合ニ於テハ破産管財人ハ直ニ配當表ヲ更月スルコトヲ要ス

- 一 債權表ヲ更正スヘキ事由カ除斥期間内ニ生シタルトキ
- 二 前二條ニ定ムル事項ノ證明アリタルトキ
- 三 別除権者カ除斥期間内ニ破産管財人ニ對シ其ノ權利地棄ノ意思ヲ表示シ又ハ其ノ權利ノ行使ニ依リテ辨濟ヲ受クルコト能ハサルシ債權額ヲ證明シタルトキ

第二百六十四條 債權者ハ配當表ニ對シ除斥期間經過ノ後一週内ニ限り裁判所ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

裁判所カ配當表ヲ更正ヲ命シタルトキハ其ノ決定書ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲之ヲ備ヘ置クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ抗告期間ハ決定書ヲ備ヘタル日ヨリ之ヲ起算ス

第二百六十五條 破産管財人ハ前條第一項ニ定ムル期間經過シタル後、異議ノ申立アリタルトキハ其ノ決定アリタル後遲滞ナク配當率ヲ定メ配當ニ加フヘキ各債權者ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

配當率ヲ定ムルニハ監査委員ノ同意、監査委員ナキトキハ裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第二百六十六條 解除條件附債權ヲ有スル者ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サ

レハ配當ヲ受クルコトヲ得ス

第二百六十七條 強制和議ノ提供アリタルトキハ裁判所ハ破産管財人カ未ダ配當率ノ通知ヲ發セサル場合ニ限り提供者ノ申立ニ因リ其ノ配當ノ中止ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百六十八條 前條ノ規定ニ依リ配當ノ中止ヲ命シタル場合ニ於テ強制和議ノ提供ノ棄却若ハ其ノ不認可ノ決定カ確定シタルトキ又ハ債權者集會ニ於テ強制和議ヲ否決シタルトキハ裁判所ハ配當手續ヲ續行スヘキコトヲ命ス此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百六十九條 債權者ハ破産管財人ニ就キ配當ヲ受クルコトヲ要ス破産管財人カ配當ヲ爲シタルトキハ債權表及債權ノ證書ニ配當シタル金額ヲ記入シ之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二百七十條 第二百六十一條及ハ第二百六十二條ニ定ムル事項ヲ證明又ハ證明セサルニ因リテ配當ヨリ除斥セラレタル債權者カ後ノ配當ニ關スル除斥期間内ニ其ノ證明又ハ證明ヲ爲シタルトキハ前ノ配當ニ於テ受クヘカリシ額ニ付他ノ同順位ノ債權者ニ先チテ配當ヲ受クルコトヲ得

第二百七十一條 左ニ掲タル債權ニ對スル配當額ハ破産管財人ノ寄託スルコトヲ要ス

- 一 第二百四十四條、第二百四十六條又ハ第二百四十八條ノ規定ニ依リ異議アル債權ニ付訴ノ提起又ハ訴訟ノ受継アリタルモノ
- 二 配當率ノ通知ヲ發スル前ニ訴願又ハ行政訴訟ノ落著セサル債權
- 三 第二百六十二條ノ規定ニ依リ別除権者カ證明シタル債權額
- 四 停止條件附債權及將來ノ請求權
- 五 第二百六十六條ノ規定ニ依リ擔保ヲ供セサル場合ニ於ケル解除條件附債權

第二百七十二條 破産管財人最後ノ配當ヲ爲スニハ監査委員ノ同意アリタルトキト雖裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第二百七十三條 最後ノ配當ニ關スル除斥期間ハ配當ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週以上一月内ニ於テ裁判所之ヲ定ム此ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二百七十四條 最後ノ配當ニ在リテハ破産管財人ハ配當表ニ對スル異議落著ノ後遲滞ナク各債權者ニ對スル配當額ヲ定メ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第二百七十五條 停止條件附債權又ハ將來ノ請求權カ最後ノ配當ニ關スル除斥期間内ニ之ヲ行使スルコトヲ得ルニ至ラサルトキハ其ノ債權者ハ配當ヨリ除斥セラル

第二百七十六條 解除條件附債權ノ條件カ最後ノ配當ニ關スル除斥期間内ニ成就セサルトキハ第二百六十六條ノ規定ニ依リテ供シタル擔保ハ其ノ效力ヲ失ヒ第二百七十一條第五號ノ規定ニ依リテ寄託シタル金額ハ之ヲ其ノ債權者ニ支拂フコトヲ要ス第百一條ノ規定ニ依リテ供シタル擔保又ハ寄託シタル金額亦同シ

第二百七十七條 別除権者カ最後ノ配當ニ關スル除斥期間内ニ破産管財人ニ對シ其ノ權利地棄ノ意思ヲ表示セス又ハ其ノ權利ノ行使ニ依リテ辨濟ヲ受クルコト能ハサルシ債權額ヲ證明セサルトキハ配當ヨリ除斥セラレタル

第二百七十八條 第二百七十五條又ハ前條ノ規定ニ依リテ除斥セラレタル債權者ノ爲ニ寄託シタル金額ハ之ヲ他ノ債權者ニ配當スルコトヲ要ス第百條ノ規定ニ依リテ寄託シタル金額亦同シ

第二百八十五條 破産管財人追加配當ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク計算報告書ヲ作り之ヲ裁判所ニ提出シテ其ノ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

第二百八十六條 配當率又ハ配當額ノ通知ヲ發スル前破産管財人ニ知レサル財團債權者ハ各配當ニ於テ配當スヘキ金額ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得ス

第二百八十七條 追加配當ハ最後ノ配當ニ付作りタル配當表ニ依リテ之ヲ爲ス

第二百八十八條 計算報告ノ爲ニ計算シタル債權者集會ニ於テハ破産管財人カ價值ナキ爲換價セザリシ財産ノ處分ニ付決議ヲ爲スコトヲ要ス

第二百八十九條 債權者集會終結シタルトキハ裁判所ハ破産終結ノ決定ヲ爲シ且其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百九十條 配當額ノ通知ヲ發シタル後新ニ配當ヲ充ツヘキ相當ノ財產アルニ至リタルトキハ破産管財人ハ裁判所ノ許可ヲ得テ追加配當ヲ爲スコトヲ要ス破産終結ノ決定アリタル後ト雖亦同シ

第二百九十一條 計算報告ノ爲ニ計算シタル債權者集會ニ於テハ破産管財人カ價值ナキ爲換價セザリシ財産ノ處分ニ付決議ヲ爲スコトヲ要ス

第二百九十二條 債權者集會終結シタルトキハ裁判所ハ破産終結ノ決定ヲ爲シ且其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百九十三條 配當額ノ通知ヲ發シタル後新ニ配當ヲ充ツヘキ相當ノ財產アルニ至リタルトキハ破産管財人ハ裁判所ノ許可ヲ得テ追加配當ヲ爲スコトヲ要ス破産終結ノ決定アリタル後ト雖亦同シ

第二百九十四條 追加配當ハ最後ノ配當ニ付作りタル配當表ニ依リテ之ヲ爲ス

第二百九十五條 破産管財人追加配當ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク計算報告書ヲ作り之ヲ裁判所ニ提出シテ其ノ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

第二百九十六條 配當率又ハ配當額ノ通知ヲ發スル前破産管財人ニ知レサル財團債權者ハ各配當ニ於テ配當スヘキ金額ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得ス

第二百八十七條 確定債權ニ付テハ破産者カ債權調査ノ期日ニ於テ其ノ債權ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシ場合ニ限り債權表ノ記載ハ破産者ニ對シ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス

第二百八十八條 破産者カ其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ債權調査ノ期日ニ出頭スルコト能ハサリシトキハ其ノ事由ノ止ミタル日ヨリ一週間内ニ限り異議ヲ追完スル爲メ破産裁判所ニ原狀回復ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二百八十九條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テ最後ノ配當ヨリ除外セラレタル相續債權者及受遺者ハ殘餘財産ニ付テ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第九條 強制和議 破産者ハ何時ニテモ強制和議ノ提供ヲ爲スコトヲ得

第二百九十一條 強制和議ノ提供ハ法人ニ在リテハ理事又ハ之ニ準スヘキ者ノ一致アルコトヲ要ス

第二百九十二條 強制和議ノ提供ハ相續財産ニ在リテハ相續人之ヲ爲シ相續人數人アルトキハ其ノ一致アルコトヲ要ス

第二百九十三條 一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權ヲ有スル者ハ強制和議ニ付テハ之ヲ破産債權者ト看做サス

第二百九十四條 強制和議ノ提供ヲ爲スニハ提供者ハ辨濟ノ方法、擔保ヲ供セムトスルトキハ其ノ擔保其ノ他強制和議ノ條件ヲ裁判所ニ申出ツルコトヲ要ス

第二百九十五條 強制和議ノ提供者ノ所在不明ナルトキ又ハ詐欺破産ノ公訴繫屬スルトキハ強制和議ヲ爲スコトヲ得ズ詐欺破産ニ付有罪ノ判決確定シタルトキ亦同シ

第二百九十六條 左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ破産管財人及監査委員ノ意見ヲ聽キ強制和議ノ提供ヲ棄却スルコトヲ得

一 債權者集會ニ於テ強制和議ヲ否決シタルコトアルトキ
二 強制和議ノ爲ニスル債權者集會ノ期日公告後ニ其ノ提供ヲ撤回シタルコトアルトキ

三 強制和議不認可ノ決定ヲ爲シタルコトアルトキ
四 強制和議取消ノ決定ヲ爲シタルコトアルトキ

第二百九十七條 裁判所強制和議ノ提供ヲ棄却セサル場合ニ於テ監査委員アルトキハ之ヲシテ意見書ヲ提出セシムルコトヲ要ス

第二百九十八條 強制和議ノ提供ニ關スル書類及監査委員ノ意見書ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲之ヲ裁判所ニ備ヘ置クコトヲ要ス

第二百九十九條 強制和議ノ爲ニスル債權者集會ノ期日ハ其ノ決定公告ノ日ヨリ一月内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ要ス

前項ニ規定スル者ニハ強制和議ノ條件及監査委員ノ意見ノ要領ヲ記載シタル書面ヲ送達スルコトヲ要ス

第三百條 裁判所ハ強制和議ノ提供者及監査委員ノ申立ニ因リ強制和議ノ爲ニスル債權者集會ノ期日ヲ債權調査ノ一般期日ト併合スルコトヲ得

第三百一條 強制和議ノ提供者ハ期日ニ出頭シテ強制和議ノ申立ヲ爲スコトヲ要ス但シ正當ノ事由アルトキハ代理人ヲ出頭セシムルコトヲ得

第三百二條 強制和議ノ提供者ハ破産債權者ヲ利スル場合ニ限り債權者集會ニ於テ其ノ條件ヲ變更スルコトヲ得

第三百三條 強制和議ハ一般ノ債權調査ノ終了前又ハ最後ノ配當ノ許可アリタル後ハ之ヲ決議スルコトヲ得ズ

第三百四條 強制和議ノ條件ハ各破産債權者ニ付平等ナルコトヲ要ス但シ不利益ヲ受クル者ノ同意アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三百五條 強制和議ノ提供者又ハ第三者カ強制和議ノ條件ニ依ラスシテ或破産債權者ニ特別ノ利益ヲ與フル行爲ハ之ヲ無効トス

第三百六條 強制和議ヲ可決スルニハ議決權ヲ行フコトヲ得ヘキ出席破産債權者ノ過半数ニシテ其ノ債權額カ届出ヲ爲シタル破産債權者ノ總債權ノ四分ノ三以上ニ當ル者ノ同意アルコトヲ要ス

第三百七條 前條ニ規定スル條件ノ一カ成立シタルトキ又ハ議決權ヲ行フタル所ニ依ル

第三百八條 強制和議ノ可決アリタルトキハ裁判所ハ其ノ期日又ハ直ニ言渡シタル期日ニ於テ強制和議ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス

第三百九條 第二百三十八條但書及第二百三十九條ノ規定ハ前二條ノ規定ニ依リ期日ヲ定ムル決定ニ之ヲ準用ス

第三百十條 裁判所ハ左ノ場合ニ限り破産債權者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ強制和議不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得

一 強制和議ノ手續又ハ決議カ法律ノ規定ニ反スル場合ニ於テ其ノ欠缺カ追完スヘカラサルモノナルトキ
二 第二百九十五條ニ規定スル事由カ強制和議ノ決議後ニ生シタルトキ

三 強制和議ノ決議カ不正ノ方法ニ因リテ成立スルニ至リタルトキ
四 強制和議ノ決議カ破産債權者ノ一般ノ利益ニ反スルトキ

議決權ヲ有セザリシ破産債權者カ前項ノ申立ヲ爲スニハ其ノ破産債權者タルコトヲ證明スルコトヲ要ス

第三百十一條 法人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ強制和議ノ可決アリタルトキハ社團法人ニ在リテハ定款ノ變更ニ關スル規定ニ從ヒ財團法人ニ在リテハ主務官廳ノ認可ヲ得テ法人ヲ繼續スルコトヲ得

第三百十二條 法人ヲ繼續スルカ否ノ定リタルトキ又ハ遲滯ナク其ノ手續

ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ其ノ法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ強制和議ノ認否ニ付決定ヲ爲ス爲期日ヲ定メ之ヲ公告スルコトヲ要ス

前項ノ期日ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
法人ヲ繼續セサルトキ又ハ遲滯ナク其ノ手續ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ強制和議不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

第三百十三條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テハ相續債權者ニ限り強制和議ニ關スル決議ニ加ハルコトヲ得

第三百十四條 相續人ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テ限定承認又ハ財産分離アリタルトキハ相續人ノ債權者ニ限り強制和議ニ關スル決議ニ加ハルコトヲ得

第三百十五條 相續財産及相續人又ハ前戸主ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テハ相續人又ハ前戸主ノ強制和議ニ付テハ相續人ノ債權者又ハ前戸主ノ相續開始後ノ債權者ニ限り之ニ關スル決議ニ加ハルコトヲ得

第三百十六條 前三條ノ場合ニ於テハ強制和議ニ關スル決議ニ加ハルコトヲ得サル破産債權者ノ債權ハ第三百六條第一項ノ總債權ニ之ヲ算入セス

第三百十七條 強制和議力前條ノ破産債權者ノ正當ノ利益ヲ害スヘキトキハ裁判所ハ其ノ申立ニ因リ強制和議不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

第三百十八條 強制和議認否ノ決定ハ之ヲ言渡シ且公告スルコトヲ要ス但シ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第三百十九條 議決權ヲ有セザリシ破産債權者カ強制和議認否ノ決定ニ對シテ不服ヲ申立ツルニハ其ノ破産債權者タルコトヲ説明スルコトヲ要ス

第三百二十條 強制和議ニ關スル決議ニ加ハルコトヲ得サル破産債權者ハ

強制和議不認可ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百二十一條 強制和議ハ認可ノ決定ノ確定ニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第三百二十二條 強制和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ裁判所書記ハ強制和議ノ條件ヲ債權表ニ記載スルコトヲ要ス

第三百二十三條 強制和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ破産管財人ハ財團債權者及一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權ヲ有スル者ノ確定債權ノ辨濟ヲ爲スコトヲ要ス

第三百二十四條 第二百八十二條ノ規定ハ強制和議ノ認可ノ決定カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十五條 破産財團ノ管理及處分ニ付テハ破産者ハ強制和議ニ定メタル制限ニ從フコトヲ要ス

第三百二十六條 強制和議ハ破産債權者ノ全員ノ爲且其ノ全員ニ對シテ效力ヲ有ス

第三百二十七條 法人ノ債務ニ付責任ヲ負フ社員ハ破産債權者ニ對シ強制和議ノ定ムル限度ニ於テ其ノ責任ヲ負フ但シ強制和議ニ別段ノ定アルトキハ其ノ定ニ從フ

第三百二十八條 確定債權ヲ有スル破産債權者ハ破産者カ債權調査ノ期日ニ於テ其ノ債權ニ對シ異議ヲ述ヘザリシ場合ニ限り破産終結ノ後破産

者、強制和議ノ爲ニ保證人ト爲リ其ノ他破産者ト共ニ債務ヲ負擔シ又ハ破産債權者ノ爲ニ擔保ヲ供シタル者ニ對シ債權表ノ記載ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得但シ民法第四百五十二條及第四百五十三條ノ適用ヲ妨ケス

第二百十五條第三項及民事訴訟法第五百十六條乃至第五百五十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十九條 強制和議力不正ノ方法ニ因リテ成立スルニ至リタルトキハ各破産債權者ハ強制和議ヲ以テ定メタル讓歩ヲ取消スコトヲ得但シ過失ニ因リ強制和議不認可ノ申立ヲ爲サザリシ破産債權者ハ此ノ限ニ在ラズ

讓歩ノ取消權ハ破産債權者カ取消ノ原因ヲ知りタル時ヨリ一月間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス強制和議認可ノ決定確定ノ時ヨリ二年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第三百三十條 破産者カ強制和議ノ履行ヲ怠リタルトキハ其ノ履行ヲ受ケサル破産債權者ハ強制和議ヲ以テ定メタル讓歩ヲ取消スコトヲ得

第三百三十一條 讓歩ノ取消ハ破産債權者カ強制和議ニ因リテ得タル權利ニ影響ヲ及ボサズ

讓歩ノ取消ニ因リテ回復シタル債權額ニ付テハ破産債權者ハ強制和議ノ履行完了ノ後ニ非サレハ其ノ權利ヲ行フコトヲ得ス

第三百三十二條 破産者カ強制和議ノ履行ヲ怠リタル場合ニ於テ届出ヲ爲シタル破産債權者ノ過半数ニシテ其ノ債權額カ其ノ者ノ總債權ノ四分ノ三以上ニ當ル者ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ強制和議取消ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

強制和議ノ定ムル所ニ從ヒ全部ノ履行ヲ受ケタル破産債權者ハ前項ノ申

立ニ必要ナル員數ニハ之ヲ算入セス全部又ハ一部ノ履行ヲ受ケタル者ニ付テハ從前ノ破産債權ノ額ヨリ其ノ受ケタル額ヲ控除シタルモノヲ以テ其ノ債權額トス

立ニ必要ナル員數ニハ之ヲ算入セス全部又ハ一部ノ履行ヲ受ケタル者ニ付テハ從前ノ破産債權ノ額ヨリ其ノ受ケタル額ヲ控除シタルモノヲ以テ其ノ債權額トス

第一項ノ債權額及總債權ノ計算ニ付テハ第三百六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第三百三十三條 詐欺破産ニ付有罪ノ判決カ確定シタルトキハ裁判所ハ破産債權者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ強制和議取消ノ決定ヲ爲スコトヲ得

裁判所ハ有罪ノ判決確定前ト雖第五百四條及第五百五條ニ定ムル處分ヲ命スルコトヲ得

第三百三十四條 第三百三十一條第一項ノ規定ハ強制和議ノ取消ニ之ヲ準用ス

第三百三十五條 強制和議取消ノ決定カ確定シタルトキハ破産手續ヲ續行ス

第三百三十六條 第一編ノ規定ノ適用ニ付テハ強制和議ノ取消ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做シ第三百三十二條ノ場合ニ在リテハ強制和議取消ノ申立、破産ノ申立ナキトキハ之ヲ支拂ノ停止又ハ破産ノ申立ト看做ス

第三百三十七條 第四百四十一條乃至第四百四十六條及第四百五十四條乃至第五百六條ノ規定ハ強制和議ノ取消ニ付テハ之ヲ準用ス

破産手續續行ノ費用ハ假ニ國庫ヨリ之ヲ支辨ス

第三百三十八條 強制和議ノ效力ヲ受ケタル債權者ニ付テハ從前ノ破産債權ノ額ヨリ強制和議ノ定ムル所ニ從ヒテ受ケタル額ヲ控除シタルモノヲ以テ破産債權ノ額トス

第三百三十九條 従前ノ確定債權ニ付テハ破産債權者カ強制和議ノ定ムル所ニ從ヒテ受ケタル額ノミヲ調査ス

第三百四十條 強制和議ノ效力ヲ受ケタル債權者カ強制和議ノ定ムル所ニ從ヒテ受ケタル額ノアルトキハ従前ノ破産債權ノ額ヲ以テ配當ニ加フヘキ債權ノ額ト看做シ破産財團ニ其ノ債權者カ受ケタルモノヲ加算シテ配當率ノ標準ヲ定ム但シ其ノ債權者ハ他ノ破産債權者カ自己ノ受ケタルモノト同一ノ割合ノ配當ヲ受ケル迄ハ配當ヲ受ケルコトヲ得ス

第三百四十一條 破産終結ノ後破産者カ強制和議ノ效力ヲ受ケタル債權者ニ對シテ爲シタル擔保ノ供與ハ強制和議ノ取消ニ因リテ其ノ效力ヲ失フ

第三百四十二條 強制和議ノ效力ヲ受ケタル債權者ハ従前ノ債權ニ付テハ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十三條 強制和議取消ノ申立及破産ノ申立アリタル場合ニ於テ裁判所カ其ノ一ニ付強制和議取消ノ決定又ハ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ他ノ一ノ申立ヲ棄却スルコトヲ要ス

第三百四十四條 前項ノ規定ニ依ル棄却ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百四十五條 一條ノ規定ハ強制和議ノ履行完了前ニ破産ノ宣告アリタル場合ニ之ヲ準用ス第三百三十三條ノ規定ニ依リ強制和議取消ノ決定ヲ爲スコトヲ得ル場合ニ於テ破産ノ宣告アリタルトキ亦同シ

第三百四十六條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テハ相續人ハ強制和議ノ履行完了前其ノ固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ相續財産ノ管理ヲ繼續スルコトヲ要ス但シ強制和議ニ別段ノ定アルトキハ其ノ定ニ從フ

第三百四十七條 民法第六百四十五條、第六百四十六條、第六百五十條第一項第二項及第六百五十二條ノ規定ハ破産債權者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三百四十八條 破産宣告ノ後裁判所カ破産財團ヲ以テ破産手續ノ費用ヲ償フニ足ラスト認メタルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ債權者集會ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三百四十九條 前項ノ規定ハ無限責任又ハ保證責任ノ相互保險會社、産業組合其ノ他ノ法人ニハ之ヲ適用セス破産手續ノ費用ヲ償フニ足ルヘキ金額ノ豫納アリタル場合亦同シ

第三百五十條 裁判所カ破産廢止ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

第三百五十一條 破産廢止ノ決定カ確定シタルトキハ破産管財人ハ財團債權ノ辨濟ヲ爲シ異議アルモノニ付テハ債權者ノ爲供託ヲ爲スコトヲ要ス

第三百五十二條 第二百九十一條及第二百九十二條ノ規定ハ破産廢止ノ申立ニ之ヲ準用ス

第三百五十三條 第二百八十七條ノ規定ハ破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一章 小破産

第三百五十八條 破産財團ニ屬スル財産ノ額カ一萬圓ニ滿タスト認ムルトキハ裁判所ハ破産ノ宣告ト同時ニ小破産ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ第四百三十三條第一項ニ掲グル事項ノ外小破産決定ノ主文ヲ公告シ且同條第二項ノ書面ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百五十九條 裁判所破産手續中ニ破産財團ニ屬スル財産ノ額カ一萬圓ニ滿タサルコトヲ發見シタルトキハ小破産ノ決定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ小破産ノ決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ裁判所ハ決定ノ

千二十一條第二項第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十六條 第三百三十一條ノ規定ハ相續財産ニ關スル強制和議取消ノ申立ニ之ヲ準用ス

第十章 破産廢止

第三百四十七條 破産者ハ債權届出ノ期間内ニ届出ヲ爲シタル總破産債權者ノ同意ヲ得タルトキ又ハ同意ヲ爲ササル破産債權者ニ對シ他ノ破産債權者ノ同意ヲ得テ破産財團ヨリ擔保ヲ供シタルトキハ破産廢止ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百四十八條 未確定債權ニ付其ノ債權者ノ同意ヲ必要トスヘキタ否ハ裁判所之ヲ定ム破産債權者ニ供スヘキ擔保カ相當ナルカ否ニ付亦同シ

第三百四十九條 前項ノ規定ニ依ル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百五十條 破産廢止ノ申立ヲ爲スニハ其ノ申立ニ必要ナル條件カ具備スルコトヲ要ス

第三百五十一條 破産廢止ノ申立アリタル旨ヲ公告シ且利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲其ノ申立ニ關スル書類ヲ備ヘ置クコトヲ要ス

第三百五十二條 破産債權者ハ前條ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週間内ニ破産廢止ノ申立ニ付裁判所ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

第三百五十三條 前項ノ期間經過前ニ届出ヲ爲シタル破産債權者モ亦異議ヲ申立ツルコトヲ得

第三百五十四條 裁判所ハ前條第一項ノ期間經過ノ後破産廢止ノ決定ヲ爲スニ必要ナル條件カ具備スルカ否ニ付破産者、破産管財人及異議ヲ申立

主文ヲ公告シ且破産管財人、監査委員並知レタル債權者及債務者ニ之ヲ記載シタル書面ヲ送達スルコトヲ要ス

第三百六十條 裁判所破産手續中ニ破産財團ニ屬スル財産ノ額カ一萬圓以上ナルコトヲ發見シタルトキハ小破産取消ノ決定ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第三百六十一條 小破産ノ決定及小破産取消ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百六十二條 第一回ノ債權者集會ノ期日及債權調査ノ期日ハ己ムコトヲ得サル事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ併合スルコトヲ要ス

第三百六十三條 監査委員ハ之ヲ置カス

第三百六十四條 第一回ノ債權者集會、強制和議取消後ノ第一回ノ債權者集會並債權調査、計算報告及強制和議ノ爲ニスル債權者集會ヲ除クノ外裁判所ノ決定ヲ以テ債權者集會ノ決議ニ代フ

第三百六十五條 前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百六十六條 配當ハ一回トシ最後ノ配當ニ關スル規定ニ依ル但シ追加配當ヲ爲スコトヲ妨ケス

第三百六十七條 小破産手續ニ關スル公告ハ第四百十六條ノ規定ニ依ル揭示ヲ爲スヲ以テ足ル

第三編 復權

第三百六十八條 破産者カ辨濟其ノ他ノ方法ニ因リ破産債權者ニ對スル債務ノ全部ノ免責ヲ得タルトキハ破産裁判所ハ該破産者ノ申立ニ因リ復權ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

申立人ハ免責ヲ證スル書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第三百六十九條 復權ノ決定ハ確定ノ後ニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三百六十九條 裁判所ハ復権ノ申立アリタル旨ヲ公告シ且利害關係人ノ

閲覧ニ供スル爲其ノ申立ニ關スル書類ヲ備ヘ置クコトヲ要ス

第三百七十條 破産債權者ハ前條ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ三月内ニ

復権ノ申立ニ付裁判所ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

第三百七十一條 異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ破産者及異議ヲ申立

テタル破産債權者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三百七十二條 復権ノ決定力確定シタルトキハ裁判所ハ其ノ主文ヲ公告

スルコトヲ要ス

第三百七十三條 第八條乃至第一百十二條及第一百十四條乃至第一百七條ノ

規定ハ復権ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四編 罰則

第三百七十四條 債務者破産宣告ノ前後ヲ問ハス自己若ハ他人ノ利益ヲ圖

リ又ハ債權者ヲ害スル目的ヲ以テ左ニ掲クル行爲ヲ爲シ其ノ宣告確定シ

タルトキハ詐欺破産ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

一 破産財團ニ屬スル財産ヲ隱匿、毀棄又ハ債權者ノ不利益ニ處分スル

コト

二 破産財團ノ負擔ヲ虚偽ニ増加スルコト

三 法律ノ規定ニ依リ作ルヘキ商業帳簿ヲ作ラズ、之ニ財産ノ現況ヲ知

ルニ足ルヘキ記載ヲ爲サズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀

棄スルコト

四 第八十七條ノ規定ニ依リ裁判所書記カ閉鎖シタル帳簿ニ變更ヲ加

ヘ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀棄スルコト

第三百七十五條 債務者破産宣告ノ前後ヲ問ハス左ニ掲クル行爲ヲ爲シ其

ノ宣告確定シタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

以テ破産債權者トシテ虚偽ノ權利ヲ行ヒタル者ハ債務者ニ對スル破産宣

告確定シタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第三百七十九條 第三百七十四條、第三百七十五條及前條ノ規定ノ適用ニ

付テハ強制和議ノ取消ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做ス

第三百八十條 破産管財人又ハ監査委員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ

之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役及ハ三千圓以下ノ罰金ニ

處ス破産債權者、其ノ代理人又ハ理事者若ハ之ニ準スヘキ者債權者集會ノ

決議ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收

スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第三百八十一條 破産管財人、監査委員、破産債權者、其ノ代理人又ハ理

事者若ハ之ニ準スヘキ者ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下

ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコト

ヲ得

第三百八十二條 第五百三十三條ノ規定ニ依リ説明ノ義務アル者故ナク説明

ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ説明ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下

ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者破産裁判所ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑

ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

附則

第三百八十三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三百八十四條 明治二十三年法律第三十二號商法第三編、同年法律第百

一號及家資分散法ハ之ヲ廢止ス

一 浪費又ハ賭博其ノ他ノ射倖行爲ヲ爲シ因テ著ク財産ヲ減少シ又ハ過

大ノ債務ヲ負擔スルコト

二 破産ノ宣告ヲ遅延セシムル目的ヲ以テ著ク不利益ナル條件ニテ債務

ヲ負擔シ又ハ信用取引ニ因テ商品ヲ買入レ著ク不利益ナル條件ニテ之

ヲ處分スルコト

三 破産ノ原因タル事實アルコトヲ知ルニ拘ラス或債權者ニ特別ノ利益

ヲ與フル目的ヲ以テ爲シタル擔保ノ供與又ハ債務ノ消滅ニ關スル行爲

ニシテ債務者ノ義務ニ屬セス又ハ其ノ方法若ハ時期カ債務者ノ義務ニ

屬セサルモノ

四 法律ノ規定ニ依リ作ルヘキ商業帳簿ヲ作ラズ、之ニ財産ノ現況ヲ知

ルニ足ルヘキ記載ヲ爲サズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀

棄スルコト

五 第八十七條ノ規定ニ依リ裁判所書記カ閉鎖シタル帳簿ニ變更ヲ加

ヘ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀棄スルコト

第三百七十六條 債務者ノ法定代理人、理事及之ニ準スヘキ者或支配人前

二條ノ規定スル行爲ヲ爲シ債務者ニ對スル破産宣告確定シタルトキハ前

二條ノ例ニ依リ相續財産ニ對スル破産ニ於テ相續人及前戶主並其ノ法定

代理人及支配人ニ付亦同シ

第三百七十七條 本法ニ依リ監守ヲ命セラレタル者逃走シ又ハ裁判所ノ許

可ヲ得スシテ外人ト面接若ハ通信シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓

以下ノ罰金ニ處ス

破産者裁判所ノ許可ヲ得スシテ居住地ヲ離レタルトキ罰前項ニ同シ

第三百七十八條 債務者及第三百七十六條ニ規定スル者ニ非スシテ第三

七十四條ニ規定スル行爲ヲ爲シタル者又ハ自己若ハ他人ヲ利スル目的ヲ

以テ破産債權者トシテ虚偽ノ權利ヲ行ヒタル者ハ債務者ニ對スル破産宣

告確定シタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第三百八十五條 民法施行法第二條第三條及非訟事件手續法第一百五十二條

第五百三十三條ハ之ヲ削除シ刑法施行法第二十五條第一項第三號ハ之ヲ削

ル

第三百八十六條 他ノ法令中身代限ノ處分ヲ受ケ債務ヲ完済セサル者ニ關

スル規定ハ破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

身代限ノ處分ヲ受ケ債務ヲ完済セサル者及家資分散ノ宣告ヲ受ケタル者

ハ他ノ法令ノ適用ニ付テハ之ヲ破産者ト看做ス

第三百八十七條 本法施行前破産若ハ復権ノ申立、破産若ハ家資分散ノ宣

告又ハ支拂猶豫ノ許可若ハ假許可アリタルモノニ付テハ仍舊法ニ依ル但

シ明治二十三年法律第三十二號商法第五十四條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラ

ズ

本法施行前ニ爲シタル家資分散又ハ支拂猶豫ノ申立ハ決定ヲ以テ之ヲ棄

却ス此ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百八十八條 舊法ニ依リテ破産若ハ家資分散ノ宣告又ハ身代限ノ處分

ヲ受ケタル者ハ本法ニ依リテ復権ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ申立ハ其ノ

事件ノ第一審裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百八十九條 他ノ法律ニ依リ法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者カ其ノ法

人ニ對シ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ要スル場合ニ於テモ和議開始ノ申立ヲ

爲スコトヲ妨ケズ

第三百九十條 商法第四百五條ヲ左ノ如ク改ム

保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險契約者ハ契約ノ解除ヲ爲スコ

トヲ得但其解除ハ將來ニ向テシ其效力ヲ生ズ

前項ノ規定ニ依リテ解除ヲ爲サル保險契約ハ破産宣告ノ後三個月ヲ經

過シタルトキハ其效力ヲ失フ

第三百九十一條 商法施行法中第三百三十八條乃至第四百四十五條及第四百四十七條ヲ削リ「第四百四十六條」ヲ「第三百三十八條」ニ改メ同法ニ左ノ一條ヲ加フ

第三百三十九條 商法施行條例ハ主ヲ廢止ス但シ同條例第二十一條乃至第二十三條及第五十一條ノ規定ハ舊商法ノ規定ニ依ルヘキ場合ニ於テハ仍其ノ效力ヲ有ス

(大正十一年勅令第四百九十八號ヲ以テ同十二年一月一日ヨリ施行)

附則 大正十五年法律第七十號
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和四年勅令第五百號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行)

○和議法

大正十一年四月二十五日
法律第七十二號 (各大臣副署)

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ和議ト稱スルハ破産豫防ノ爲ニスル強制和議ヲ謂フ
第二條 和議手續ハ其ノ開始決定ノ時ヨリ效力ヲ生ス
第三條 破産法第五條及第七條ノ規定ハ和議事件ノ管轄ニ付之ヲ準用ス
第四條 破産法第八十七條、第八十八條、第八十九條第一項、第九十條及第九十一條ノ規定ハ和議ノ開始アリタル場合ニ之ヲ準用ス
第五條 破産法第九十八條乃至第四百四條ノ規定ハ和議債權者ノ相殺權ニ付之ヲ準用ス
第六條 前二條ノ規定ノ適用ニ付テハ和議開始ノ申立ハ之ヲ破産ノ申立ト

看做シ和議ノ開始ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做ス

第七條 和議手續ニ關スル裁判ニ對シテハ本法ニ特別ノ規定アル場合ニ限リ其ノ裁判ニ付利害關係ヲ有スル者ハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ裁判ノ公告アリタル場合ニ於テハ其ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週間トス

第八條 破産法第十九條、第二十條、第二百二十二條及第二百二十四條ノ規定ハ和議開始、和議開始決定取消又ハ和議廢止ノ決定アリタル場合及和議認否又ハ和議取消ノ決定カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 和議廢止ノ決定アリタル場合又ハ和議不認可若ハ和議取消ノ決定カ確定シタル場合ニ於テ裁判所ハ破産ノ申立アルトキハ其ノ申立ニ因リ、申立ナキトキハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ破産ノ宣告ヲ爲シタル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ登記又ハ登錄ノ囑託ハ破産ノ登記又ハ登錄ノ囑託ト共ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十條 前條第一項ノ規定ニ依リ破産ノ宣告アリタルトキハ破産法第一編ノ適用ニ付テハ和議開始若ハ和議取消ノ申立又ハ詐欺破産ノ罪ニ該ルヘキ和議申立人ノ行爲ハ其ノ前ニ支拂ノ停止又ハ破産ノ申立ナキトキハ之ヲ支拂ノ停止又ハ破産ノ申立ト看做シ和議ノ爲ニ生シタル債權及和議手續ノ費用ハ之ヲ財團債權トス

第十一條 破産法第二條、第三條、第九條乃至第一百一十條、第一百三條乃至第一百八條及第二百二十五條ノ規定ハ和議ニ關シ之ヲ準用ス
和議手續ニ關シテハ本法ニ別段ノ定ナキトキハ民事訴訟法ヲ準用ス

第二章 和議ノ開始

第十二條 破産ノ原因タル事實アル場合ニ於テハ債務者ハ和議開始ノ申立

ヲ爲スコトヲ得但シ法人ニ在リテハ理事又ハ之ニ準スヘキ者ノ一致アルコトヲ要ス

第十三條 和議開始ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

キハ其ノ擔保其ノ他和議ノ條件ヲ裁判所ニ申出ツルコトヲ要ス

和議申立人ハ申立ト同時ニ財産ノ狀況ヲ示スヘキ明細書並債權者及債務者ノ一覽表ヲ提出スルコトヲ要ス申立ト同時ニ提出スルコト能ハサルトキハ爾後遲滞ナク之ヲ提出スルコトヲ要ス

第十四條 和議開始ノ申立ヲ爲スニハ和議手續ノ費用トシテ裁判所カ相當ト認ムル金額ノ豫納アルコトヲ要ス

第十五條 和議開始ノ決定アリタル後ハ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條 破産ノ宣告アリタル後ハ和議開始ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 和議開始ノ申立及破産ノ申立アリタルトキハ破産手續ハ之ヲ中止ス

第十八條 左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ和議開始ノ申立ヲ棄却スルコトヲ要ス

- 一 破産回避ノ目的ヲ以テ申立ヲ爲シタルトキ
 - 二 和議申立人ノ所在カ不明ナルトキ
 - 三 詐欺破産ノ罪ニ該ルヘキ行爲アリト認ムルトキ
 - 四 和議ノ條件カ法律ノ規定ニ反スルトキ
 - 五 和議ノ條件カ和議債權者ノ一般ノ利益ニ反スルトキ
- 第十九條 左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ和議開始ノ申立ヲ棄却スルコトヲ得

一 和議手續ノ費用ノ豫納ナキトキ

第二十六條 和議開始決定書ニハ決定ノ年月日時ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十七條 裁判所ハ和議開始ノ決定ト同時ニ管財人ヲ選任シ且左ノ事項ヲ定ムルコトヲ要ス

一 債權届出ノ期間但シ其ノ期間ハ決定ノ日ヨリ二週間以上二月以下ナルコトヲ要ス

二 債權者集會ノ期日但シ其ノ期日ト債權届出期間ノ末日トノ間ニハ一週以上一月以下ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス

第二十八條 裁判所カ和議開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ直ニ左ノ事項ヲ公告スルコトヲ要ス

- 一 和議開始決定ノ主文
 - 二 管財人ノ氏名及住所
 - 三 債權届出ノ期間及債權者集會ノ期日
- 知レタル債權者、和議申立人、管財人及整理委員ニハ前項ニ掲ケル事項、和議ノ條件及整理委員ノ意見ノ要領ヲ記載シタル書面ヲ送達スルコトヲ要ス

第二十九條 裁判所カ和議開始決定取消ノ決定ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ主文ヲ公告スルコトヲ要ス

第三十條 和議開始ノ申立ニ關スル書類並第二十一條ノ規定ニ依ル整理委員ノ調査書類及意見書ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲之ヲ裁判所ニ備ヘ置クコトヲ要ス

第三十一條 和議開始申立ノ時ヨリ決定ノ時迄ハ債務者ハ通常ノ範圍ニ屬セザル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第三十二條 和議ノ開始ハ債務者カ其ノ財産ヲ管理及處分スル權利ニ影響ヲ及ボサス但シ通常ノ範圍ニ屬セザル行爲ハ管財人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三十三條 第三十一條又ハ前條第一項第二項ノ規定ニ反スル行爲ハ和議債權者ニ於テ之ヲ否認スルコトヲ得但シ相手方カ行爲ノ當時其ノ事實ヲ知リタルトキニ限ル

第三十四條 管財人ハ自ラ金錢ノ收支ヲ爲スヘキコトヲ債務者ニ請求スルコトヲ得

第三十五條 管財人ハ裁判所ノ許可ヲ得テ債務者及之ニ扶養セラルル者ニ給スヘキ扶助料ノ額ヲ定ムルコトヲ得

第三十六條 管財人ハ何時ニテモ債務者ニ對シテ其ノ財産ニ關スル報告ヲ求メ又ハ債務者ノ財産ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得

第三十七條 破産法第五百三條ノ規定ハ和議ニ關シ管財人又ハ債權者集會ノ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條 管財人ノ任務終了ノ場合ニ於テハ管財人又ハ其ノ相續人ハ還帶ナク裁判所ニ計算ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第三十九條 第二十四條及破産法第五百八條乃至第六十一條第六十三條乃至第六十六條第六十九條ノ規定ハ管財人ニ之ヲ準用ス

第四十條 和議手續中ハ和議債權ニ付債務者ノ財産ニ對シ強制執行、假差押又ハ假處分ヲ爲スコトヲ得ス

和議開始前和議債權ニ付債務者ノ財産ニ對シ爲シタル強制執行、假差押及假處分ハ和議手續中ノ中止ス

第三章 和議債權及其ノ届出

第四十一條 債務者ニ對シ和議開始前ノ原因ニ基キテ生シタル財産上ノ請求權ハ之ヲ和議債權トス

第四十二條 一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權アル債權ハ之ヲ和議債權トセス

第四十三條 破産ノ場合ニ於テ別除權ヲ行使スルコトヲ得ヘキ權利ヲ有スル者ハ其ノ權利ノ行使ニ依リテ辨濟ヲ受クルコト能ハサル債權額ニ付和議債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第四十四條 左ニ掲ケル請求權ハ之ヲ和議債權トセス

- 一 和議開始後ノ利息
 - 二 和議開始後ノ不履行ニ因ル損害賠償及違約金
 - 三 和議手續参加ノ費用
 - 四 罰金、科料、刑事訴訟費用、追徴金及過料
- 前項ノ請求權ハ和議債權ニ從ル

第四十五條 破産法第十七條乃至第二十條、第二十二條乃至第二十七條及第二百二十八條乃至第三十條ノ規定ハ和議債權ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ和議ノ開始ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做ス

第四章 債權者集會

第四十六條 債權者集會ノ期日ニハ届出ヲ爲シタル和議債權者、和議申立人及和議ノ爲ニ保證人ト爲リ其ノ他債務者ト共ニ債務ヲ負擔シ又ハ和議

債權者ノ爲ニ擔保ヲ供スル者ヲ呼出スコトヲ要ス

前項ニ規定スル者ニハ和議ノ條件及整理委員ノ意見ノ要領ヲ記載シタル書面ヲ送達スルコトヲ要ス但シ第二十八條第二項第三項ノ規定ニ依リ既ニ送達ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條 管財人及整理委員ハ届出アリタル各債權ニ付債權者集會ニ於テ議決權ヲ行ハシムヘキカ否及如何ナル金額ニ付之ヲ行ハシムヘキカヲ調査スルコトヲ要ス

第四十八條 管財人及整理委員ハ債權者集會ニ於テ和議ノ開始ニ至リタル事情、債務者及其ノ財産ニ關スル經過及現狀並前條ノ規定ニ依ル調査ノ結果ニ付報告ヲ爲シ且和議ノ條件ノ適否ニ關シ意見ヲ述フルコトヲ要ス

破産法第八十二條第二項乃至第四項ノ規定ハ届出アリタル債權ニ付第四十六條第一項ニ規定スル者、管財人又ハ整理委員ノ異議アル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條 破産法第七十八條、第八十一條、第二百三十八條但書、第三百一條、第三百二條、第三百六條及第三百七條ノ規定ハ債權者集會ニ付之ヲ準用ス

第五十條 和議ノ認否

破産法第三百四條及第三百五條ノ規定ハ和議ニ付之ヲ準用ス

第五章 和議ノ認否

第五十條 債權者集會ニ於テ和議ヲ可決シタルトキハ裁判所ハ其ノ期日又ハ直ニ言渡シタル期日ニ於テ和議ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス

第四十六條第一項ニ規定スル者、管財人及整理委員ハ和議ノ認否ニ付意見ヲ述フルコトヲ得

破産法第二百三十八條但書ノ規定ハ和議認否ノ期日ヲ定ムル決定ニ付之

ヲ準用ス

第五十一條 裁判所ハ左ノ場合ニ限り和議債権者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ和議不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得

一 和議ノ手續又ハ決議カ法律ノ規定ニ反スル場合ニ於テ其ノ欠缺カ追完スヘカラサルモノナルトキ

二 第十八條第二號又ハ第三號ニ規定スル事由アルトキ

三 和議ノ決議カ不正ノ方法ニ因リテ成立スルニ至リタルトキ

四 和議ノ決議カ和議債権者ノ一般ノ利益ニ反スルトキ

第五十二條 和議認可ノ決定ハ之ヲ言渡シ且其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス但シ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第五十三條 和議認可ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

破産法第三百九條ノ規定ハ和議債権者ニ之ヲ準用ス

第五十四條 和議ハ認可ノ決定ノ確定ニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第五十五條 和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ裁判所書記ハ和議ノ條件ヲ債權表ニ記載スルコトヲ要ス

第五十六條 和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ債務者ハ和議ノ爲ニ生シタル債權、和議手續ノ費用及一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權アル債權ノ辨濟ヲ爲スコトヲ要ス

前項ニ規定スル債權ニシテ異議アルモノニ付テハ債権者ノ爲供託ヲ爲スコトヲ要ス

第五十七條 破産法第三百二十五條乃至第三百二十七條及第三百四十二條ノ規定ハ和議ノ效力ニ付之ヲ準用ス

第五十八條 和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ第十七條ノ規定ニ依リ手續ヲ中止シタル破産ノ申立並第四十條第二項ノ規定ニ依リ中止シタル強

制執行、假差押及假處分ハ其ノ效力ヲ失フ

第六十條 和議ノ廢止

第五十九條 左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ職權ヲ以テ和議廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

一 和議ノ可決前ニ和議ノ提供者カ其ノ提供ヲ撤回シタルトキ

二 債權者集會ノ第一期ヨリ二月内ニ和議ヲ可決セサルトキ

第六十條 左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ管財人若ハ整理委員ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ和議廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ債務者ヲ審訊スルコトヲ要ス

一 第二十條第一項第二項ノ規定ニ依ル裁判所ノ命令ニ違反シタルトキ

二 債務者カ第三十一條又ハ第三十二條第一項第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

三 債務者カ第三十四條ノ規定ニ依ル請求アリタルニ拘ラス自ラ金錢ノ收支ヲ爲シタルトキ

第六十一條 裁判所カ和議廢止ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

第七章 讓歩及和議ノ取消

第六十二條 破産法第三百二十九條乃至第三百三十一條ノ規定ハ和議ヲ以テ定メタル讓歩ノ取消ニ之ヲ準用ス

第六十三條 債務者ニ詐欺破産ノ罪ニ該ルヘキ行爲アルトキハ裁判所ハ和議債権者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ和議取消ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第六十四條 破産法第三百三十二條第一項及第二項ノ規定ハ和議ノ取消ニ之ヲ準用ス

和議取消ノ申立ニ必要ナル債權額及總債權ノ計算ニ付テハ第四十八條ノ規定ニ依リテ定リタル債權額ニ依ル

第六十五條 和議ノ取消ハ和議債権者カ和議ニ因リテ得タル權利ニ影響ヲ及ボサス

第六十六條 裁判所カ和議取消申立棄却又ハ和議取消ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

前項ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十七條 破産法第三百三十八條、第三百四十條及第三百四十一條ノ規定ハ第九條ノ規定ニ依リ破産ノ宣告アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第八章 罰則

第六十八條 整理委員又ハ管財人其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求ハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス和議債権者、其ノ代理人又ハ理事若ハ之ニ準スヘキ者債權者集會ノ決議ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十九條 整理委員、管財人又ハ和議債権者、其ノ代理人、理事若ハ之ニ準スヘキ者ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第七十條 第二十三條又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ説明ノ義務アル者故ナク説明ヲ爲サス又ハ虛偽ノ説明ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス和議申立人又ハ債務者第二十一條又ハ第三十六條ノ

第二編 民事 第七章 民事手續 競賣法

規定ニ依ル調査若ハ報告ヲ拒ミ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタルトキ亦同シ

前項ノ罪ヲ犯シタル者裁判所ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

和議手續參加ノ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

(大正十一年勅令第四百九十八號ヲ以テ大正十二年一月一日ヨリ施行)

第五節 競 賣

○競賣法 明治三十一年六月二十一日 (總理、司法)

改正 大正一五年第六八號 昭和六年第一九號

第一章 通 則

第一條 競買ノ申立ハ他ノ高價競買ノ申立アリタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競賣ヲ終了シタルトキハ當然其效力ヲ失フ

第二條 競買人ノ競落ニ因リテ競賣ノ目的タル權利ヲ取得ス

競賣ノ目的ノ上ニ存スル先取特權及ヒ抵當權ハ競落ニ因リテ消滅ス

競買人ハ留置權者、競賣人ニ對シテ優先權ヲ有スル質權者及ヒ其質權者ニ對シテ優先權ヲ有スル債權者ニ辨濟スルニ非サレハ競賣ノ目的物ヲ受取ルコトヲ得ス

第二章 動産ノ競賣

第三條 動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者其他民法又ハ商法ノ

規定ニ依リテ其競賣ヲ爲サントスル者ノ委任ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所屬ノ執達吏之ヲ爲ス

前項ノ委任ハ書面ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ハ其競買人ト爲ルコトヲ得ス 債權者ノ委任ニ因リテ競賣ヲ爲ス場合ニ於テハ債權者ハ現金ヲ以テ代價ヲ提供スルニ非サレハ其競買ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 競賣ハ競賣ニ付スヘキ物ノ所在地ニ於テ之ヲ爲ス但其他ニ於テ相當ノ代價ヲ得ル見込ナキトキハ他所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第六條 競賣ノ日時ハ執達吏カ其委任ヲ受ケタルトキ直チニ之ヲ定ムルコトヲ要ス但直チニ之ヲ定ムルコト能ハサル事情アルトキハ此限ニ在ラス

第七條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ豫メ之ヲ公告スルコトヲ要ス

公告ハ競賣ニ付スヘキ物ノ品質及ヒ價格ニ準シ競賣地ニ於ケル適當ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 競賣委任者ノ氏名、住所

二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質

三 競賣ノ條件ヲ定メタルトキハ其條件

四 競賣ノ場所及ヒ年月日時

五 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ノ氏名、住所

委任者カ競賣ノ條件ヲ定メサリシトキハ民事訴訟法第五百七十七條第三項ノ規定ヲ準用ス

第八條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス但通知ヲ受クヘキ者ノ住所又ハ居所カ知ラセルトキハ此限ニ在ラス

七 告知シタル競賣ノ條件

八 各競買物ニ對スル競買人ノ氏名及ヒ其申込價額

九 競賣ヲ停止シタルトキ又ハ競落ヲ爲サリシトキハ其事由

十 競賣ノ開始及ヒ完結ノ日時

十一 競賣調書ヲ作りタル場所及ヒ年月日

競賣調書ニハ委任者又ハ其代理人ヲシテ署名、捺印セシメ且競賣ノ公告ヲ爲シ及ヒ通知ヲ發シタルコトヲ證スル書面及ヒ委任狀ヲ添付スルコトヲ要ス

執達吏ハ委任者ノ請求ニ因リ競賣調書ノ謄本ヲ交付スルコトヲ要ス

第十五條 執達吏ハ競賣ノ完結後賣得金ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金及ヒ競落セサリシ物ハ遲滞ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付シ又ハ其者ノ爲メニ之ヲ供託スルコトヲ要ス

第十六條 執達吏ハ競賣ニ付キ正副二通ノ計算書ヲ作り其正本ハ計算ニ關スル證明書ト共ニ之ヲ委任者ニ交付シ其副本ハ之ヲ競賣調書ニ添付スヘシ

第十七條 競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ハ競賣ノ完結ニ至ルマテ其手續ニ關スル執達吏ノ處分ニ付キ其所屬區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ裁判ハ申立人ニ之ヲ通知スヘシ此裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

異議ノ裁判ハ之ヲ以テ善意ノ競買人ニ對抗スルコトヲ得ス

第十八條 前條ノ規定ニ依リテ異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ競賣ノ停止ヲ命スルコトヲ得但停止ニ因リテ著シキ損害ヲ生スル虞アルトキハ此限ニ在ラス

第九條 公告ト競賣トノ間ニハ五日以上ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス但競賣ニ付スヘキ物ニ關シ之ヨリ速ニ競賣ヲ爲スコトヲ要スル特別ノ事情アルトキハ此限ニ在ラス

第十條 高價品ノ競賣ハ鑑定人ヲシテ其評價ヲ爲サシメタル後之ヲ爲スコトヲ要ス

第十一條 金銀及ヒ金銀ノ製品ハ地金銀ノ相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ證賣スルコトヲ得ス

取引所ノ相場アル物ハ其相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

第十二條 前條ニ掲ケタル物ヲ競賣スル場合ニ於テ競賣ノ日ニ相當ナル競買ノ申込ナキトキハ執達吏ハ金銀及ヒ金銀ノ製品ニ付テハ地金銀ノ相場以上ノ代價、取引所ノ相場アル物ニ付テハ競賣ノ日ノ相場以上ノ代價ヲ以テ任意ニ之ヲ賣却スルコトヲ得

第十三條 競賣ハ其條件ヲ告知シ各競買物ニ付キ競買ノ申込ヲ催告スルニ始マリ最高價競買ノ申込人ニ對シ競落ノ告知ヲ爲スニ因リテ終了ス

競落ノ告知ハ最高價競買ノ申込ヲ三回呼上ケタル後之ヲ爲ス

第十四條 執達吏ハ競賣調書ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シ署名、捺印スヘシ

一 競賣委任者ノ氏名、住所

二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質

三 鑑定人ヲシテ評價ヲ爲サシメタルトキハ其評價額

四 競賣ノ場所及ヒ日時

五 第九條但書ノ事由アリタルトキハ其ノ事由

六 利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知ヲ發シタルコト若シ之ヲ發セサリシトキハ其事由

第十九條 第三者カ競賣ノ目的物ニ關シテ訴ヲ提起シタルコトヲ證明シタルトキハ執達吏ハ其競賣ヲ停止スルコトヲ要ス

物ノ保管ニ付キ過分ノ費用ヲ要スルトキ又ハ遲滞ノ爲メ著シク物ノ價格ヲ減少スル虞アルトキハ執達吏ハ競賣ヲ續行シテ賣得金ヲ供託スルコトヲ得

第二十條 前二條ノ規定ニ依リテ競賣ヲ停止シタル場合ニ於テハ執達吏ハ相當ノ方法ヲ以テ競賣ノ目的物ヲ保管スルコトヲ要ス此場合ニ於ケル競賣手續及ヒ保管ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

第二十一條 競賣ノ委任ハ競落ノ告知アルマテ之ヲ取消スコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル競賣手續ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

第三章 不動産ノ競賣

第二十二條 不動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者、抵當權者其他民法ノ規定ニ依リテ競賣ヲ爲サントスル者ノ申立ニ因リ不動産所在地ノ區裁判所之ヲ爲ス

民事訴訟法第六百四十一條第一項ノ規定ハ競賣ヲ爲スヘキ裁判所ノ管轄ニ之ヲ準用ス

第二十三條 申立人ハ競落期日マテハ最高價競買申込人ノ同意アル場合ニ限り其申立ノ取下ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 競賣ノ申立ハ書面ヲ提出シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 債權者及ヒ所有者ノ氏名、住所

二 競賣ニ付スヘキ不動産ノ表示

三 競賣ノ原因タル事由

四 年月日

五 裁判所

申立書ニハ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其委任狀ヲ添付スルコトヲ要ス
抵當證券ノ所持人カ競賣ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ前項ノ書面ノ外申立書ニ抵當證券ヲ添付スルコトヲ要ス

第二十五條 競賣手續ノ開始ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス
開始決定ニハ申立人ノ氏名、住所及ヒ前條第二項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ決定ヲ爲シタル判事之ニ署名、捺印スヘシ

第二十六條 裁判所ハ開始決定ヲ爲スト同時ニ職權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ニ登記スヘキ旨ヲ其管轄登記所ニ囑託スヘシ

民事訴訟法第六百五十一條第二項、第六百五十二條及ヒ第六百五十三條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 裁判所カ開始決定ヲ爲シタルトキハ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要ス
競賣ノ期日ハ競賣手續ノ利害關係人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス
左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

- 一 申立人
- 二 債務者及ヒ所有者
- 三 登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者
- 四 不動産上ノ權利者トシテ其權利ヲ證明シタル者
- 五 知レタル抵當證券ノ所持人及ヒ裏書人

札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲シタル登記ノ抹消ヲ囑託スヘシ

第四章 船舶ノ競賣

第三十六條 登記シタル船舶ノ競賣ハ申立ニ因リ其當時ノ碇泊港又ハ船舶ノ現在地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス

第三十七條 競賣ノ申立書ニハ船舶所有者並ニ船長ノ氏名、住所、船舶ノ表示及ヒ競賣ノ原因ヲ記載シ且船舶登記簿ノ謄本及ヒ官ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其認可ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第三十八條 競賣期日ノ公告ニハ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外船舶ノ表示及ヒ其碇泊港又ハ現在ノ場所ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條 前章ノ規定及ヒ民事訴訟法第七百十九條、第七百二十條第二項、第七百二十三條、第七百二十五條ノ規定ハ船舶ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第五章 増價競賣

第四十條 民法第三百八十四條ノ規定ニ依リテ抵當不動産ノ増價競賣ヲ請求スル債權者ハ第三取得者ニ競賣ノ請求ヲ送達シタル日ヨリ三日内ニ抵當不動産所在地ノ區裁判所ニ競賣ノ申立ヲ爲シ且擔保ノ認許ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ラサル競賣ノ請求ハ無効トス

第四十一條 競賣ノ申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ請求債權者之ニ署名、捺印スヘシ

- 一 債務者ノ氏名、住所
- 二 抵當不動産ノ表示

第二十八條 裁判所ハ鑑定人ヲシテ競賣ニ付スヘキ不動産ノ評價ヲ爲サシメ其評價額ヲ以テ最低競賣價額トスヘシ

第二十九條 競賣期日ノ公告ニハ第二十二條ニ掲ケタル者ノ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十條 競賣期日、其開始、競賣調書及ヒ競賣終局ノ告知ニ關スル民事訴訟法第六百五十九條第六百六十二條乃至第六百六十九條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第三十一條 競賣期日ニ相當ノ競買申込ナキトキハ裁判所ハ更ニ期日ヲ定メテ競賣ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第六百七十條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 競落期日ハ民事訴訟法第六百六十條ノ規定ニ從ヒ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

競落ノ手續、競落ヲ許ササル場合ノ新競賣期日、競賣ノ履行及ヒ競落人ノ義務不履行ノ場合ニ於ケル再競賣ニ關スル民事訴訟法第六百七十一條乃至第六百七十四條、第六百七十六條乃至第六百八十三條、第六百八十七條及ヒ第六百八十八條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第三十三條 競落人ハ競落ヲ許シ決定カ確定シタル後直チニ代價ヲ裁判所ニ支拂フコトヲ要ス此場合ニ於テハ裁判所ハ其裁判ノ謄本ヲ添ヘ競落人カ取得シタル權利ノ移轉ノ登記ヲ管轄登記所ニ囑託スヘシ

裁判所ハ前項ノ代價ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金ハ遲滞ナク之ヲ受取ルヘサ者ニ交付スルコトヲ要ス

三 第三取得者及ヒ讓渡人ノ氏名、住所

四 擔保ノ表示

五 第三取得者カ提供シタル金額

六 請求者カ定メタル増價金額

七 年月日

八 裁判所

申立書ニハ民法第三百八十三條ノ送達ヲ受ケタル日ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

民事訴訟法第六百四十三條第一項第三號乃至第五號、第二項及ヒ第三項ノ規定ハ本條ノ申立ニ之ヲ準用ス

第四十二條 裁判所ハ擔保ノ許否ニ付キ期日ヲ定メ決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

期日ニハ請求債權者及ヒ第三取得者ヲ呼出タスヘシ

擔保ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツコトヲ得ス

第四十三條 競賣ノ請求ハ擔保ヲ認許セサル裁判ニ因リテ當然其效力ヲ失フ

民法第三百八十四條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ニ對シテ競賣ノ請求書ヲ送達シタル他ノ債權者ハ前項ノ裁判アリタル日ヨリ三日内ニ第四十條ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 裁判所カ擔保ヲ認可シタルトキハ競賣手續ノ開始ノ決定ヲ爲スヘシ

決定ニハ認許シタル擔保ヲ表示シ且第四十一條第一項第一號乃至第三號、第六號及ヒ第七號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第二十五條第二項、第三項及ヒ第二十六條第一項ノ規定ハ本條ノ決定ニ

之ヲ準用ス

第四十五條 第二十七條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ增價競賣ニ之ヲ準用ス
左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

- 一 競賣請求者
- 二 債務者
- 三 第三取得者及ヒ讓渡人

四 登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者

第四十六條 競賣ノ公告ニハ增價競賣ノ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨及ヒ請

求者ノ定メタル增價金額ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號、第五號、第七號、第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ
第三十三條及ヒ民事訴訟法第六百五十九條乃至第六百六十九條、第六百七十一條乃至第六百七十四條、第六百七十六條乃至第六百八十三條、第六百八十七條ノ規定ハ本章ノ競賣及ヒ競落ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四十七條 競賣期日ニ請求債權者カ定メタル增價金額ニ達スル競買ノ申

込ナキトキハ請求債權者ヲ以テ競落人トス
民事訴訟法第六百七十八條ノ規定ニ依リ最高價競買人カ其競買ヲ取消シタルトキハ裁判所ハ更ニ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要ス

第四十八條 增價競賣ノ擔保ハ競落代價ノ完済ニ因リテ其效力ヲ失フ

第四十九條 裁判所ハ競賣請求者ノ申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規定ヲ準用ス

附則

第五十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 明治二十三年法律第九十二號增價競賣法ハ本法發布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

(明治三十一年勅令第百二十三號ヲ以テ明治三十一年七月十六日ヨリ施行)

附則 (大正十五年法律第六十八號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和四年勅令第百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行)

附則 (昭和六年法律第十九號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和六年勅令第百八十九號ヲ以テ昭和六年八月一日ヨリ施行)

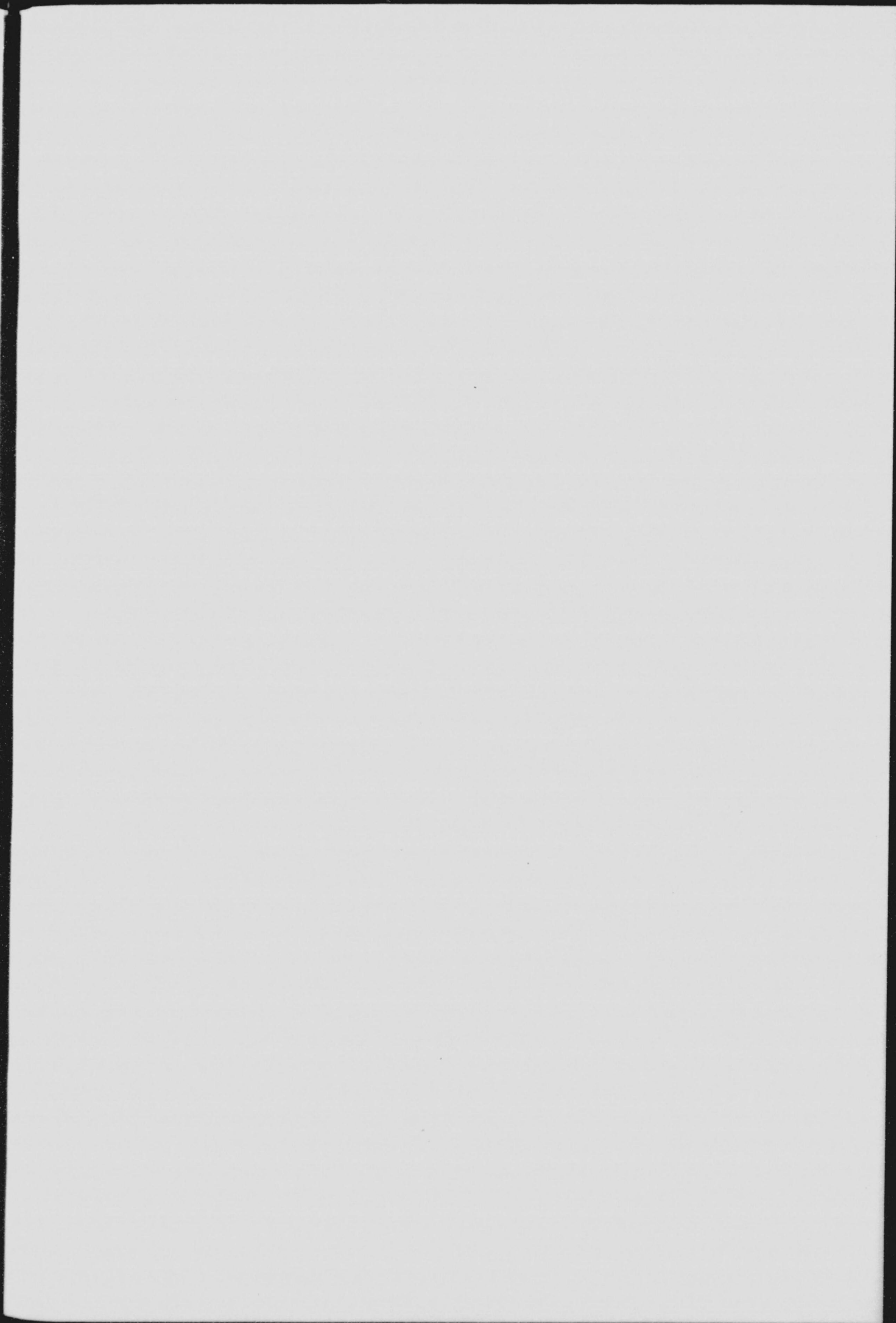
○外國人ノ抵當權ニ關スル法律

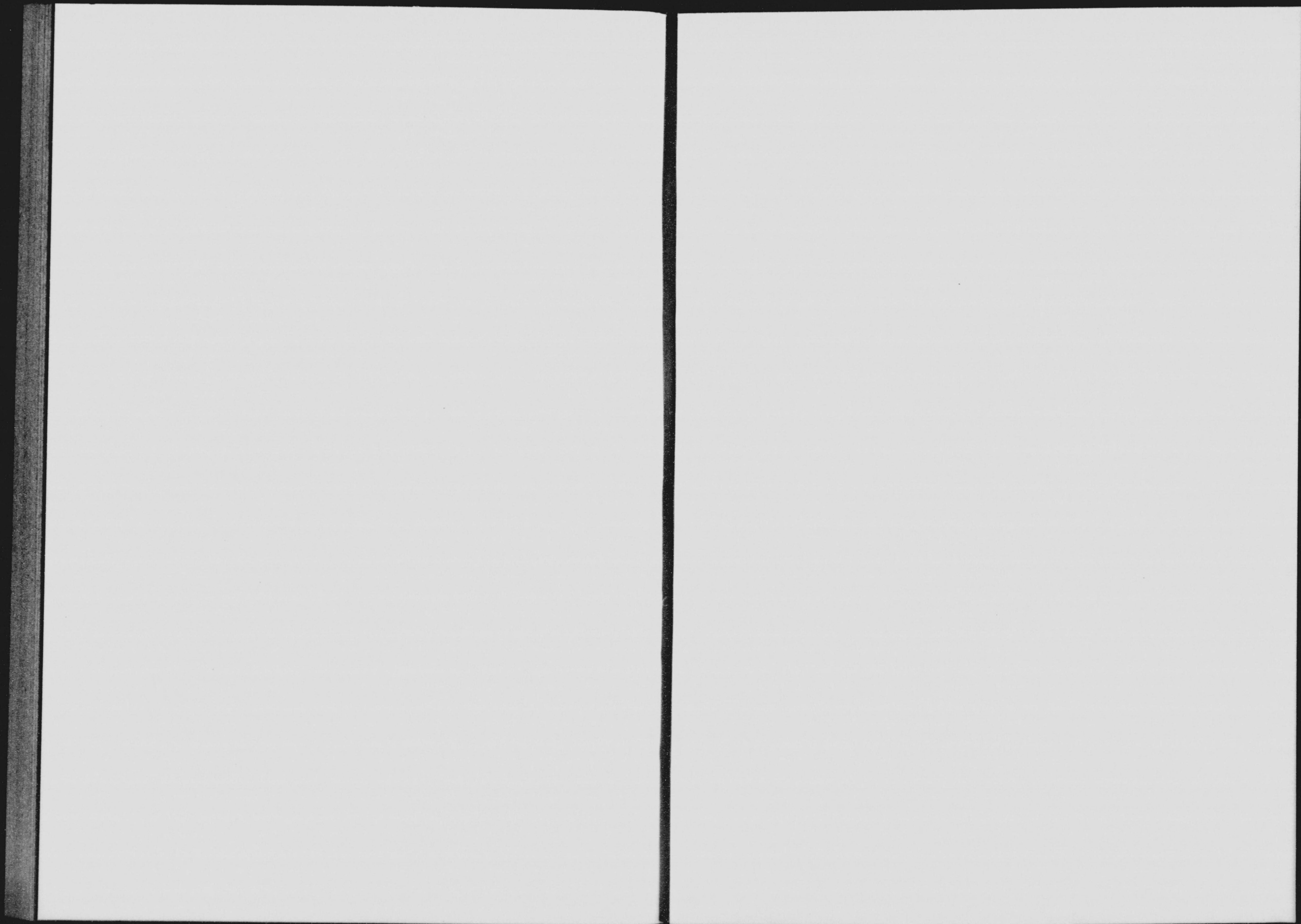
明治三十二年三月十六日 (總理、外務、司法大臣副署) 法律第六十七號

改正 大正一四年第四二號

抵當權者カ抵當權ノ目的タル權利ヲ享有スルコトヲ得サル場合ニ於テ增價競賣ヲ請求スルニハ若シ競賣ニ於テ第三取得者カ提供シタル金額ヨリ十分ノ一以上高價ニ抵當權ノ目的タル權利ヲ賣却スルコト能ハサルトキハ提供金額ニ十分ノ一ヲ加ヘタルモノト競落價額トノ差額ヲ負擔スヘキ旨ヲ附言スルコトヲ要ス

44107





手打-2

帝国法令全集 3

司法編 (2)

第八章 調停

第一節 金錢債務調停

○金錢債務臨時調停法

昭和七年九月七日(總理、司法)法律第二十六號(大臣副署)

第一條 負債ノ整理ニ依リ誠實ナル債務者ヲ更生セシムル爲債權者債務者ノ互讓ヲ必要トスルトキハ當事者ハ本法ニ依リ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二條 調停ノ申立ハ私法上ノ金錢債務ニシテ金額千圓ヲ超過セザルモノニ付之ヲ爲スコトヲ得但シ小作料其ノ他小作關係ヨリ生ジタルモノ及地代、家賃其ノ他借地借家關係ヨリ生ジタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ金額ニハ附帶ノ利息、違約金、費用又ハ手数料ノ額ヲ算入セズ既ニ元本ニ組入レタル此等ノモノニ付亦同ジ

第三條 調停ノ申立ハ相手方ノ住所、居所、營業所若ハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定ムル區裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

調停ノ申立ヲ受ケタル裁判所相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ區裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所ガ調停ノ申立ヲ受ケタル

第二編 民事 第八章 調停 金錢債務調停

トキ亦同ジ

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第四條 本法ノ調停ニ關シテハ借地借家調停法第二條、第四條ノ二、第六條乃至第二十三條及第二十六條乃至第三十二條ノ規定ヲ準用ス

第五條 事件ガ性質上調停ヲ爲スニ適セズ又ハ當事者不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ調停ノ申立ヲ却下ス第七條第二項ニ該當スルトキ其ノ他調停ヲ爲スニ適當ナラザル事情存スルトキ亦同ジ

調停委員會前項ノ事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲サズ

第六條 調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟ガ繫屬スルトキ又ハ裁判所ノ職權ヲ以テ事件ガ調停ニ付セラレタルトキハ受訴裁判所ハ決定ヲ以テ調停ノ終了又ハ第七條ノ規定ニ依ル裁判確定ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ申立ニ因リ決定ヲ以テ擔保ヲ供シ又ハ供セシメズシテ強制執行手續又ハ競賣法ニ依ル競賣手續ヲ一時停止スルコトヲ得

民事訴訟法第百十二條、第百十三條、第百十五條及第百十六條ノ規定ハ前項ノ擔保ニ之ヲ準用ス

第一項及第二項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第七條 調停委員會ニ於テ調停成ラザル場合ニ裁判所相當ト認ムルトキハ職權ヲ以テ調停委員ノ意見ヲ聽キ當事者雙方ノ利益ヲ衡平ニ考慮シ其ノ責力、業務ノ性質、既ニ債務者ノ支拂ヒタル利息手数料内入金等ノ額其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ調停ニ代ヘ利息、期限其ノ他債務關係ノ變更ヲ命ズル裁判ヲ爲スコトヲ得此ノ裁判ニ於テハ債務ノ履行其ノ他財產上

ノ給付ヲ命ズルコトヲ得

銀行其ノ他官廳ノ監督ヲ受ケテ金融業務ヲ取扱フ者ノ債權ニ付テハ其ノ業務ノ機構ヲ害スル虞アルトキハ前項ノ裁判ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條 前條ノ規定ニ依ル裁判ハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第九條 第七條ノ規定ニ依ル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第十條 第七條ノ規定ニ依ル裁判確定シタルトキハ其ノ裁判ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第十一條 調停委員又ハ調停委員タリシ者故ナク評議ノ願末又ハ調停主任、調停委員ノ意見若ハ其ノ多少ノ數ヲ漏泄シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ當分ノ内其ノ效力ヲ有ス

(昭昭七年勅令第二百四十九號ヲ以テ昭昭和七年十月一日ヨリ施行)

附則 (昭和九年法律第四十二號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○金錢債務臨時調停ノ手数料等ニ關スル件

昭和七年九月二十一日 (總理、司法) 勅令第二百五十一號 (大臣副署)

第一條 金錢債務臨時調停ノ申立ノ手数料ハ左ノ區別ニ從フ

調停ヲ求ムル債務ノ金額五十圓迄 二十錢

同 百圓迄 三十錢

同 二百五十圓迄 五十錢

同 五百圓迄 一圓

同 千圓迄 二圓

同 千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ一圓ヲ加フ

第二條 大正十一年勅令第三百三十九號第二條乃至第四條ノ規定ハ記録ノ閲覧若ハ謄寫又ハ其ノ正本、謄本、抄本若ハ事件ニ關スル證明書ノ付與ヲ求ムル手数料並ニ調停委員及調停ノ補助ヲ爲シタル者ノ旅費、日當及止宿料ニ付之ヲ準用ス

附則

本令ハ金錢債務臨時調停法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○金錢債務臨時調停法ノ規定ニ依ル

手数料納付方 昭和七年九月二十一日 司法省令第三十六號

金錢債務臨時調停法ノ規定ニ依ル手数料ハ收入印紙ヲ以テ納付セシムルコトヲ得

附則

本令ハ金錢債務臨時調停法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二節 小作調停

○小作調停法 大正十三年七月二十二日 (總理、農商務) 法律第十八號 (司法大臣副署)

第一條 小作料其ノ他小作關係ニ付爭議ヲ生シタルトキハ當事者ハ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

當事者ハ合意ヲ以テ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ヲ管轄スル區域裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二條 當事者不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三條 調停ノ申立ハ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長又ハ郡長ヲ經テ之ヲ爲スコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依ル調停ノ申立アリタルトキハ市町村長又ハ郡長ハ遲滞ナク申立ニ關スル書類ヲ裁判所ニ送付シ且町村長ニ在リテハ郡長ニ、郡長ニ在リテハ町村長ニ申立アリタル旨ヲ通知ヲ爲スコトヲ要ス

爭議ノ目的タル土地カ數郡市町村ニ亘ル場合ニ於テハ調停ノ申立ヲ受ケタル市町村長又ハ郡長ハ遲滞ナク關係市町村長及郡長ニ前項ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 裁判所直接ニ調停ノ申立ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス但シ第八條第一項ノ規定ニ依リ事件ヲ移送スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 調停ノ申立ハ爭議ノ實情ヲ明ニシテ之ヲ爲スヘシ

第七條 調停ノ申立ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

口頭ヲ以テ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ市町村長、郡長又ハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

第二編 民事 第八章 調停 小作調停

第八條 爭議ノ目的タル土地カ數個ノ裁判所ノ管轄區域内ニ存スル場合ニ於テ調停ノ申立ヲ受ケタル地方裁判所又ハ區域裁判所相當ト認ムルトキハ

決定ヲ以テ事件ヲ他ノ管轄地方裁判所又ハ管轄區域裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所カ調停ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同シ

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ事件ヲ移送ヲ受ケタル裁判所ハ遲滞ナク爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ其ノ旨ヲ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第九條 調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟カ繫屬スルトキハ調停ノ終了ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止ス

第十條 裁判所調停ノ申立ヲ受理シタルトキハ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス但シ爭議ノ實情ニ鑑ミ之ヲ開カスシテ調停ヲ爲スコトヲ得

當事者ノ申立アルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラス裁判所ハ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第十一條 裁判所事情ニ依リ適當ナル者アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス之ヲシテ勸解ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條 當事者多數ナル場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ代表シテ調停ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲總代ヲ選任スルコトヲ得

裁判所前項ノ規定ニ依ル總代ナキ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ總代ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

總代ハ當事者中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ要ス

第十三條 總代ノ選任ハ書面ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス

總代ノ解任ハ之ヲ裁判所ニ届出ツルニ非サレハ其ノ效ナシ

第十四條 裁判所ハ期日ヲ定メ當事者又ハ總代ヲ呼出スコトヲ要ス

前項ノ呼出ヲ受ケタル當事者又ハ總代ハ正當ノ事由ナクシテ出頭ヲ拒ムコトヲ得

第十五條 調停ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ調停

ニ参加スルコトヲ得

裁判所ハ調停ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ノ参加ヲ求ムルコトヲ得
第十六條 當事者、總代及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ裁判所ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシメ又ハ輔佐人ヲ同伴スルコトヲ得

裁判所ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スコトヲ得
第十七條 爭議ノ目的タル土地ノ所在地又ハ當事者ノ住所地ノ市町村長又ハ郡長ハ裁判所ニ對シ事件ノ經過ニ付陳述ヲ爲スコトヲ得

第十八條 裁判所必要アリト認ムルトキハ小作官、前條ノ市町村長又ハ郡長其ノ他適當ト認ムル者ニ對シ意見ヲ求ムルコトヲ得
第十九條 小作官ハ期日ニ出席シテ又ハ期日外ニ於テ裁判所ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第二十條 裁判所必要アリト認ムルトキハ事實ノ調査ヲ小作官ニ囑託スルコトヲ得
第二十一條 裁判所ニ於ケル調停手續ハ之ヲ公開セス但シ裁判所ハ相當ト認ムル者ノ傍聴ヲ許スコトヲ得

第二十二條 裁判所ハ費用ヲ要スル行爲ニ付當事者ノ一方又ハ雙方ヲシテ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得
第二十三條 裁判所ニ對スル申立其ノ他ノ申述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
口頭ヲ以テ申述ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

第二十四條 裁判所ノ調停ニ付テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス
第二十五條 裁判所ハ調停前調停ノ爲必要ト認ムル措置ヲ爲スコトヲ得

證據調ニ付テハ民事訴訟法ヲ準用ス

證人及鑑定人ノ受クヘキ旅費、日當及止宿料ニ付テハ民事訴訟費用法ヲ準用ス

第三十六條 期日ニ於テ調停成ラサルトキハ調停委員會ハ適當ト認ムル調停條項ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ調停條項ヲ定ムル場合ニ於テハ調停委員會ハ其ノ調書ノ正本ヲ當事者、總代アルトキハ總代ニ送付シ且當事者又ハ總代力其ノ送付ヲ受ケタル後一月内ニ異議ヲ述ヘサルトキハ調停ニ同意シタルモノト看做ス旨ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

當事者又ハ總代カ前項ノ正本ノ送付ヲ受ケタル後一月内ニ調停委員會ニ異議ヲ述ヘサルトキハ調停ニ同意シタルモノト看做ス
調停委員會ハ申立ニ因リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得期間ノ伸長ハ之ヲ相手方、總代アルトキハ總代ニ通知スルコトヲ要ス

當事者又ハ總代カ調停條項ニ對シ異議ヲ述ヘタルトキハ調停委員會ハ其ノ旨ヲ相手方、總代アルトキハ總代ニ通知スルコトヲ要ス
第三十七條 調停委員會第二條ニ規定スル事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲ササルコトヲ得

第三十八條 調停成リタルトキ又ハ第三十六條第三項ノ規定ニ依リ調停ニ同意シタルモノト看做サレタルトキハ裁判所ハ調停主任ノ報告ヲ聽キ調停ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス
調停認可ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

調停不認可ノ決定ニ對シテハ當事者又ハ總代ハ民事訴訟法ニ從ヒ即事抗告ヲ爲スコトヲ得
第三十九條 裁判所ハ調停力著シク公正ナラスト認ムル場合ニ非サレハ調停ニ依リ決定ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 裁判所ノ調停條項中ニ費用ノ負擔ニ關スル決定ヲ爲ササルトキハ各當事者ハ其ノ支出シタル費用ヲ自ラ負擔ス

第二十七條 調停ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス
第二十八條 調停委員會ハ調停主任一人及調停委員二人以上ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十九條 調停主任ハ判事ノ中ヨリ毎年豫メ地方裁判所長之ヲ指定ス
調停委員ハ調停ニ適當ナル者ニ就キ地方裁判所長ノ選任シタル者ノ中ヨリ各事件ニ付調停主任之ヲ指定ス但シ當事者カ合意ヲ以テ選定シタル者アルトキ又ハ地方裁判所長ノ選任シタル者ニ就キ當事者雙方カ各別ニ選定シタル者アルトキハ其ノ者ノ中ヨリ先ツ之ヲ指定スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス
第三十條 調停主任ハ爭議ノ實情ニ鑑ミ適當ト認ムル場所ニ於テ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第三十一條 調停委員會ニ於ケル調停手續ハ調停主任之ヲ指揮ス
第三十二條 調停委員會ノ決議ハ調停委員ノ過半数ノ意見ニ依リ可否同數ナルトキハ調停主任ノ決スル所ニ依ル

第三十三條 調停委員會ノ評議ハ之ヲ秘密トス
第三十四條 第十一條乃至第二十六條ノ規定ハ調停委員會ノ調停手續ニ之ヲ準用ス
第三十五條 調停委員會ハ當事者、總代又ハ利害關係人ノ陳述ヲ聽キ且必要ト認ムルトキハ證據調ヲ爲スコトヲ得

調停委員會ハ調停主任ヲシテ證據調ヲ爲サシメ又ハ之ヲ區裁判所ニ囑託スルコトヲ得

停不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得ス

第四十條 調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ調停ハ認可決定アリタルトキニ限り裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第四十一條 裁判所調停認可ノ決定ヲ總代ニ告知シタル場合ニ於テハ調停條項ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ揭示スルコトヲ要ス
第四十二條 調停委員會必要アリト認ムルトキハ調停ノ經過ヲ公表スルコトヲ得

第四十三條 調停事件終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ結果ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス
第四十四條 當事者又ハ利害關係人ハ手数料ヲ納付シテ記録ノ閲覧若ハ謄寫又ハ其ノ正本、謄本、抄本若ハ事件ニ關スル證明書ノ付與ヲ裁判所書記ニ求ムルコトヲ得但シ當事者カ事件ノ繫屬中記録ノ閲覧又ハ謄寫ヲ爲ス場合ニ於テハ手数料ヲ納付スルコトヲ要セス

第四十五條 調停委員及第十一條又ハ第三十四條ノ規定ニ依リ勸解ヲ爲シタル者ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス
第四十六條 第四十四條ノ手数料並前條ノ旅費、日當及止宿料ノ額ハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十七條 本法中郡トアルハ北海道ニ於テハ北海道廳支廳管轄區域、郡長トアルハ北海道ニ於テハ北海道廳支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司トス

本法中町村、町村長又ハ町村役場トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村、町村長又ハ町村役場ニ準スルモノトス
第四十八條 第三十四條ノ規定ニ依リ呼出ヲ受ケタル者正當ノ事由ナクシ

テ出頭セサルトキハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ調停委員會ノ意見ヲ聽キ五拾圓以下ノ過料ニ處スルコトヲ得

非訟事件手續法第二百七條及第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

第四十九條 調停委員又ハ調停委員タリシ者故ナク評議ノ顛末又ハ調停主任、調停委員ノ意見若ハ其ノ多少ノ數ヲ漏泄シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ勅令ヲ以テ指定スル地區ニ之ヲ施行セス

○小作調停法ノ施行期日及施行外地

區指定ノ件 大正十三年九月二十六日(總理、農商務、司法大臣副署) 勅令第二百二十八號

改正 大正一五年第六五號

昭和四年第一四一號

小作調停法ハ大正十三年十二月一日エリ之ヲ施行ス

小作調停法附則第二項ノ規定ニ依リ同法ヲ施行セサル地區ヲ指定スルコト左ノ如シ 沖繩縣

○小作調停ノ手数料等ニ關スル件

大正十三年十一月三日(總理、司法大臣副署) 勅令第二百五十三號

大正十一年勅令第三百三十九號第二條乃至第四條ノ規定ハ小作調停法第四

十四條ノ手数料並第四十五條ノ旅費、日當及止宿料ニ付之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正十三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

○小作調停法ノ規定ニ依ル手数料

納付方ノ件

大正十三年十一月三日 司法省令第十五號

小作調停法第四十四條ノ手数料ハ收入印紙ヲ以テ納付スヘシ

附則

本令ハ大正十三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三節 商事調停

○商事調停法

大正十五年三月三十日(總理、司法大臣副署) 法律第四十二號

第一條 商事ニ關シ爭議ヲ生シタルトキハ當事者ハ相手方ノ住所、居所、營業所若ハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定リタル地方裁判所若ハ區裁判所ニ調停ヲ申立ヲ爲スコトヲ得

調停ノ申立ヲ受ケタル裁判所調停ヲ爲スニ付相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ地方裁判所又ハ區裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所カ調停ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同シ

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二條 商事調停ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモクヲ除クノ外借地借家調停法ヲ準用ス

第三條 裁判所調停ヲ爲スニ付必要アリト認ムルトキハ計算人ヲ選定シ之

ヲシテ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ前項ニ規定スル裁判所ノ權限ハ調停委員會ニ屬ス

計算人ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス其ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 調停委員會ハ當事者ノ合意アル場合ニ於テハ第一條ノ爭議ニ付民事訴訟法ニ依ル仲裁判斷ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當事者ノ指定シタル調停委員會ノ屬スル裁判所ハ申立ニ因リ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第五條 借地借家調停法第十八條及第二十九條乃至第三十一條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル仲裁ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

當事者ノ一方ニシテ本法施行地區内ニ住所、居所、營業所又ハ事務所ヲ有スル者ニ對シ調停ノ申立ヲ爲シ得ヘキ事件ニ付テハ其ノ相手方ノ住所、居所、營業所及事務所カ本法施行地區外ニ在ル場合ト雖之ニ對シ其ノ住所、居所、營業所又ハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

○商事調停法ノ施行期日及施行地區ニ

關スル件

大正十五年十月十八日(總理、司法大臣副署) 勅令第三百二十二號

左ノ地區ニハ大正十五年十一月一日ヨリ商事調停法ヲ施行ス 東京府

京都府 大阪府 神奈川縣 兵庫縣 愛知縣

○商事調停ノ手数料等ニ關スル件

大正十五年十月十八日(總理、司法大臣副署) 勅令第三百二十三號

第一條 商事調停法ニ依ル調停ノ申立及仲裁判斷ノ申立ノ手数料ハ左ノ區別ニ從フ

調停又ハ仲裁判斷ヲ求ムル事項ノ價額五圓迄	二十錢
同 十圓迄	三十錢
同 二十圓迄	六十錢
同 五十圓迄	一圓五十錢
同 七十五圓迄	二圓
同 百圓迄	三圓
同 二百五十圓迄	六圓
同 五百圓迄	十圓
同 七百五十圓迄	十三圓
同 千圓迄	十六圓
同 二千五百圓迄	二十三圓
同 五千圓迄	二十八圓
同 五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ二圓ヲ加フ	

調停又ハ仲裁判斷ヲ求ムル事項ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキ

十圓

第二條 大正十一年勅令第三百三十九號第二條乃至第四條ノ規定ハ記録ノ開覽若ハ謄寫又ハ其ノ正本、謄本、抄本若ハ事件ニ關スル證明書ノ付與ヲ求ムル手数料並調停委員、調停ノ補助ヲ爲シタル者及計算人ノ旅費、日當及止宿料ニ付之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正十五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○司法省令第十三號 (大正十五年十月十九日)

商事調停法ノ規定ニ依ル手数料ハ收入印紙ヲ以テ納付セシムルコトヲ得

附則

本令ハ大正十五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四節 借地借家調停

○借地借家調停法

大正十一年四月十二日 (總理、司法) 法律第四十一號 (大臣副署)

改正 大正一三年第一七號

第一條 土地又ハ建物ノ賃借、地代、家賃其ノ他借地借家關係ニ付爭議ヲ生シタルトキハ當事者ハ爭議ノ目的タル土地又ハ建物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

(台三)

第一項ニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家ヲ謂フ

第二條 調停ノ申立ハ爭議ノ實情ヲ明ニシテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三條 當事者義務ノ回避其ノ他不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ裁判所ハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四條 爭議ノ目的タル土地又ハ建物カ數個ノ裁判所ノ管轄區域内ニ存スル場合ニ於テ調停ノ申立ヲ受ケタル地方裁判所又ハ區裁判所相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ管轄地方裁判所又ハ管轄區裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所カ調停ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同シ

第五條 調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟カ繫屬スルトキ又ハ前條ノ職權ヲ以テ事件ヲ調停ニ付スルコトヲ得

第六條 裁判所ハ期日ヲ定メ調停申立人及相手方ヲ呼出スヘシ此ノ場合ニ於テハ調停ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ノ參加ヲ求ムルコトヲ得

第七條 當事者及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テハ裁判所ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第八條 調停手續ハ之ヲ公開セス但シ裁判所ハ相當ト認ムル者ノ傍聽ヲ許スコトヲ得

第九條 費用ヲ要スル行爲ニ付テハ當事者ノ一方又ハ雙方ヲシテ其ノ費用ヲ負擔ス

(台三)

第二十二條 調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ第六條、第七條第一項但書第二項、第八條但書及第十三條ニ規定スル裁判所ノ權限ハ調停委員會ニ屬ス

第二十三條 調停委員會ハ當事者又ハ利害關係人ノ陳述ヲ聽キ且必要ト認ムルトキハ證據調ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 期日ニ於テ調停成ラサルトキハ調停委員會ハ爭議ノ目的タル事項及手續ノ費用ニ付適當ト認ムル調停費項ヲ定メ其ノ調書ノ正本ヲ當事者ニ送附スルコトヲ要ス

第二十五條 調停委員會第三條ニ規定スル事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲ササルコトヲ得

第二十六條 調停成リタルトキ又ハ第二十四條第二項ノ規定ニ依リ當事者カ調停ニ服シタルモノト看做サレタルトキハ裁判所ハ調停主任ノ報告ヲ聽キ調停ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス

調停認可ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

六五三

ヲ豫納セシムルコトヲ得

第十條 申立其ノ他ノ申述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第十一條 調停ニ付テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

第十二條 調停ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第十三條 裁判所ハ調停前調停ノ爲必要ト認ムル處分ヲ命スルコトヲ得

第十四條 裁判所調停ノ申立ヲ受理シタルトキハ調停委員會ヲ開クコトヲ得

第十五條 當事者雙方ノ申立アルトキハ裁判所ハ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第十六條 調停主任ハ判事ノ中ヨリ毎年豫メ地方裁判所長之ヲ指定ス

第十七條 調停委員ハ特別ノ知識經驗アル者ニ就キ毎年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付調停主任之ヲ指定ス

第十八條 調停委員及前條ノ規定ニ依リ調停ノ補助ヲ爲シタル者ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス

第十九條 調停委員會ニ於ケル調停手續ハ調停主任之ヲ指揮ス

第二十條 調停委員會ノ決議ハ調停委員ノ過半数ノ意見ニ依リ可否同數ナルトキハ調停主任ノ決スル所ニ依ル

第二十一條 調停委員會ノ評議ハ之ヲ秘密トス

調停不認可ノ決定ニ對シテハ民事訴訟法ニ從ヒ即時抗告ヲ爲スコトヲ得
第二十七條 裁判所ハ調停力著ク公正ナラスト認ムル場合ニ非サレハ調停
不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得ス

第二十八條 調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ調停ハ認可決定アリタル
トキニ限り裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第二十九條 調停ノ申立ヲ爲スニハ手数料ヲ納付スルコトヲ要ス

第三十條 當事者又ハ利害關係人ハ手数料ヲ納付シテ記録ノ閲覧若ハ謄寫
又ハ其ノ正本、謄本、抄本若ハ事件ニ關スル證明書ノ付與ヲ裁判所書記
ニ求ムルコトヲ得但シ當事者カ事件ノ繫屬中記録ノ閲覧又ハ謄寫ヲ爲ス
場合ニ於テハ手数料ヲ納付スルコトヲ要セス

第三十一條 第十八條ノ旅費、日當及止宿料並前二條ノ手数料ノ額ハ勅令
ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 調停委員會ノ呼出ヲ受ケタル當事者カ正當ノ事由ナクシテ出
頭セザルトキハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ調停委員會ノ意見ヲ聽キ五
十圓以下ノ過料ニ處スルコトヲ得

非訟事件手續法第二百七條及第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準
用ス

附則

本令施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十一年七月勅令第三百三十八
號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十一年七月勅令第三百三十八
號ヲ以テ施行地區指定)

○借地借家調停法ノ施行期日及施行地區

二關スル件

大正十一年七月十二日 (總理、司法
勅令第三百三十八號) (大臣副署)

左ノ地區ニハ大正十一年十月一日ヨリ借地借家調停法ヲ施行ス

- 東京府
- 京都府
- 大阪府
- 神奈川縣
- 兵庫縣

○勅令第三百二十六號 (大正十四年四月十一日)

左ノ地區ニハ大正十四年四月十五日ヨリ借地借家調停法ヲ施行ス
愛知縣

○借地借家調停ノ手数料等ニ關スル件

大正十一年七月十二日 (總理、司法
勅令第三百三十九號) (大臣副署)

第一條 借地借家調停法第二十九條ノ手数料ハ左ノ區別ニ從フ

調停ヲ求ムル事項ノ價額五圓迄	二十五錢
同 十圓迄	五十錢
同 二十圓迄	一圓二十錢
同 五十圓迄	一圓七十錢
同 七十五圓迄	二圓五十錢
同 百圓迄	

(台三)

(台三)

○借地借家調停法ノ規定ニ依ル手数料

納付方 大正十一年十月一日
司法省令第二十三號

借地借家調停法第二十九條及第三十條ノ手数料ハ收入印紙ヲ以テ納付セシ
ムルコトヲ得

附則

本令ハ大正十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○借地借家臨時處理法

大正十三年七月二十二日 (總理、司法
法律 第十 六號) (大臣副署)

改正 昭和四年第七號

第一條 本法ニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家
ヲ謂フ

第二條 地代、家賃、敷金其ノ他借地借家ノ條件カ著シク不當ナルトキハ
當事者ノ申立ニ因リ裁判所ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キ借地借家關係ヲ衡
平ナラシムル爲其ノ條件ノ變更ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ裁判所
ハ敷金其ノ他ノ財産上ノ給付ノ返還ヲ命シ又ハ其ノ給付ヲ地代若ハ家賃
ノ前拂ト看做シ其ノ他相當ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第三條 大正十二年九月ノ震災ニ因リテ滅失シタル建物ノ借主ハ其ノ建物
ノ敷地又ハ其ノ換地ノ上ニ新ニ築造セラレタル建物ニ付其ノ完成前賃借
ノ申出ヲ爲シタルトキハ他ノ者ニ優先シテ之ヲ賃借スルコトヲ得滅失シ
タル建物ノ敷地又ハ其ノ換地ノ上ニ築造セラレタル假設建築物ノ借主亦
同シ

本令ハ大正十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

第四條 調停委員及借地借家調停法第十七條ノ規定ニ依リ調停ノ補助ヲ爲
シタル者ノ旅費ハ鐵道又ハ汽船ヲ通スル水路ニ在リテハ二等旅客運賃、
運賃ノ等級ヲ二階級ニ區分スルモノニ在リテハ上級ノ運賃、其ノ等級ヲ
設ケサルモノニ在リテハ其ノ乘車又ハ乘船ニ要スル運賃ニ依リ汽船ヲ通
セサル水路ニ在リテハ一海里毎二十五錢、其ノ他ニ在リテハ一里毎ニ九
十錢トス但シ一海里未滿又ハ一里未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル

第三條 調停委員及借地借家調停法第十七條ノ規定ニ依リ調停ノ補助ヲ爲
シタル者ノ日當ハ一日六圓以内、止宿料ハ一日八圓以内ニ於テ裁判所ノ
意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル

第二條 借地借家調停法第三十條ノ手数料ハ各一件ニ付二十錢トス

同 二百五十圓迄 五圓

同 五百圓迄 八圓

同 七百五十圓迄 十圓

同 千圓迄 十二圓

同 二千五百圓迄 十七圓

同 五千圓迄 二十圓

同 五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ二圓ヲ加フ

調停ヲ求ムル事項ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ハ百圓
ト看做ス

前項ノ申出ヲ受ケタル者申出ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ拒絕ノ意思ヲ表示セサルトキハ申出ヲ承諾シタルモノト看做ス

第一項ノ申出ハ正當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ拒絕スルコトヲ得ス

第四條 前條ノ場合ニ於テ借家ニ付當事者間ニ協議調ハサルトキハ申立ニ因リ裁判所ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キ從前ノ貸借ノ條件、建物ノ狀況其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ借家關係ヲ定ムルコトヲ得

第五條 新ニ築造セラレタル建物ニ付第三條第一項ノ規定ニ依リ賃借ノ申出ヲ爲シタル者數人アル場合ニ於テ賃借スヘキ建物ノ割當ニ付當事者間ニ協議調ハサルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ從前ノ建物又ハ假設建築物ノ狀況、借主ノ職業其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ其ノ割當ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ裁判所ハ抽籤ノ方法ヲ用キテ割當ヲ爲スコトヲ得

裁判所ハ當事者間ノ衡平ヲ維持スル爲必要アリト認ムルトキハ割當ヲ受ケサル借主又ハ著シク不利益ナル割當ヲ受ケタル借主ノ爲割當ニ因リ著シク利益ヲ受ケタル他ノ借主ニ對シ相當ナル出捐ヲ命スルコトヲ得

第六條 大正十二年九月ノ震災ニ因リテ滅失シタル建物ニ居住シタル者カ其ノ建物ノ敷地ノ上ニ假設建築物ヲ築造シタル場合ニ於テ敷地ノ借主カ之ニ同意シタルトキハ其ノ同意ニ付地主ノ承諾ヲ得サリシ場合ト雖地主ハ之ヲ理由トシテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス但シ裁判所ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條 借地ノ上ニ存スル借地人ノ建物カ大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ借地權ハ借地權ノ登記及其ノ土地ノ上ニ存スル建物ノ登記ナキモ之ヲ以テ大正十三年七月一日以後其ノ土地ニ付權利ヲ取得シタル第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八條 第二條及第四條乃至第六條ノ規定ニ因ル裁判ハ借地又ハ借家ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第九條 鑑定委員會ハ五人以上ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十條 鑑定委員ハ特別ノ知識經驗アル者其ノ他適當ナル者ニ就キ毎年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付裁判所之ヲ指定ス

第十一條 鑑定委員會ノ決議ハ委員ノ過半数ノ意見ニ依ル

第十二條 鑑定委員會ノ評議ハ秘密トス

第十三條 鑑定委員ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス其ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 借地借家調停法第四條ノ二及第五條ノ規定ハ第二條、第四條及第五條ノ規定ニ依ル申立並第六條ノ規定ニ依ル許可ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テ調停ニ付スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十五條 第二條及第四條乃至第六條ノ規定ニ依ル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

第十六條 本法ニ依ル裁判ニシテ財産上ノ給付ヲ命スルモノハ執行力ヲ有スル債務名義タルノ效力ヲ有ス

第十七條 本法ニ依ル裁判ノ費用ニ付テハ民事訴訟費用法第十六條及民事訴訟用印紙法第十六條ノ規定ニ依ル

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(台三)

本法ハ昭和十四年四月三十日迄其ノ效力ヲ有ス
本法失効ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○借地借家臨時處理法ノ施行期日及施行

地區ニ關スル件 大正十三年八月十二日 (總理、司法)
勅令第七十四號 (大臣、副署)

借地借家臨時處理法ハ大正十三年八月十五日ヨリ東京府及神奈川縣ノ内借地法及借家法ノ施行地區ニ之ヲ施行ス
前項ノ地區外ニ跨リテ築造セラレタル建物アル場合ニ於テハ借地借家臨時處理法ハ其ノ建物ノ存スル場所ニ付亦之ヲ適用ス

○借地借家臨時處理法ニ規定スル鑑定委員ノ旅費、日當及止宿料ニ關スル件

大正十三年八月十二日 (總理、司法)
勅令第七十五號 (大臣、副署)

借地借家臨時處理法ニ規定スル鑑定委員ノ旅費、日當及止宿料ニ付テハ大正十一年勅令第三百三十九號第三條及第四條ノ規定ヲ準用ス
附則
本令ハ大正十三年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九章 登記 第一節 不動産

(台三)

○不動産登記法 明治三十二年二月二十四日 (各大臣)

改正 明治三十八年第三九號、四十四年第一二號
大正二年第一八號、五年第四五號、八年第二四號、一一年第六四號
昭和二年第三四號、六年第二〇號

- 不動産登記法
- 第一章 總則
 - 第二章 登記所及ヒ登記官吏
 - 第三章 登記ニ關スル帳簿
 - 第四章 登記手續
 - 第一節 通則
 - 第二節 所有權ニ關スル登記手續
 - 第三節 所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續
 - 第四節 抹消ニ關スル登記手續
 - 第五節 抗告
 - 附則
 - 不動産登記法
 - 第一章 總則
 - 第一條 登記ハ左ニ掲ケタル不動産ニ關スル權利ノ設定、保存、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ニ付キ之ヲ爲ス
 - 一 所有權

- 二 地上権
- 三 永小作権
- 四 地役権
- 五 先取特権
- 六 質権
- 七 抵當権
- 八 賃借権

第二條 假登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

- 一 登記ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セザルトキ
- 二 前條ニ掲ケタル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セントスルトキ

右ノ請求權カ始期附又ハ停止條件附ナルトキ其他將來ニ於テ確定スヘキモノナルトキ亦同シ

第三條 豫告登記ハ登記原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登記ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲ス但登記原因ノ取消ニ因ル訴ニ付テハ其取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

第四條 詐欺又ハ強迫ニ因リテ登記ノ申請ヲ妨ケタル第三者ハ登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス

第五條 他人ノ爲メ登記ヲ申請スル義務アル者ハ其登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス但其登記ノ原因カ自己ノ登記ノ原因ノ後ニ發生シタルトキハ此限ニ在ラス

第六條 同一ノ不動産ニ關シテ登記シタル權利ノ順位ニ付キ法律ニ別段ノ定ナキトキハ其順位ハ登記ノ前後ニ依ル
登記ノ前後ハ登記用紙中同區ニ爲シタル登記ニ付テハ順位番號ニ依リ別

區ニ爲シタル登記ニ付テハ受附番號ニ依ル
第七條 附記登記ノ順位ハ主登記ノ順位ニ依ル但附記登記間ノ順位ハ其前後ニ依ル

第二章 登記所及ヒ登記官吏

第八條 登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第九條 登記所ニ移送スルコトヲ要ス
一箇又ハ數箇ノ不動産ノ所在地カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其不動産ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス但登記簿ノ謄本ニハ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シ其不動産ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第十條 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セザルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

第十一條 登記所ハ土地ニ付キ左ニ掲ルタル事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ土地臺帳所管廳ニ通知スルコトヲ要ス

一 所有權ノ保存若クハ移轉

二 質權ノ設定及ヒ存續期間、存續期間ノ變更、移轉若クハ消滅

(合三)

(合三)

三 百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ設定、移轉若クハ消滅又ハ百年ヨリ長キ存續期間ヲ百年以下ニ變更シ若クハ百年以下ノ存續期間ヲ百年ヨリ長キ期間ニ變更シ又ハ存續期間ノ定ナキ地上權ニ百年ヨリ長キ期間ヲ定メ若クハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ存續期間ノ定ナキモノト爲シタルコト

四 所有權、質權又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ登記名義人ノ表示ノ變更

第十二條 登記官吏ハ自己、其妻又ハ四親等内ノ親族カ申請人ナルトキハ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者ニシテ且登記官吏ノ妻又ハ四親等内ノ親族ニ非サル者二人以上ノ立會アルニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス但親族ニ付テハ親族關係カ止ミタル後亦同シ
前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ調書ヲ作り立會人ト共ニ之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

第十三條 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付キ申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第三章 登記ニ關スル帳簿

第十四條 登記簿ハ土地登記簿及ヒ建物登記簿ノ二種トス

各種ノ登記簿ハ市ニ付テハ從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲シ町村ニ付テハ町村毎ニ別冊ト爲ス但登記事件夥多ナル町村ニ付テハ大字其他從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲スコトヲ得

第十五條 登記簿ハ一筆ノ土地又ハ一棟ノ建物ニ付キ一用紙ヲ備フ
同一ノ登記所ノ管轄ニ屬スル不動産カ登記簿ヲ分設シタル數箇ノ區畫ニ跨カルトキハ其一箇ノ區畫ノ登記簿ニシテ其不動産ニ關スル用紙ヲ備フ

第二編 民事 第九章 登記 不動産登記法

第二十條 登記簿、見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス

第二十一條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又利害ノ關係アル部分ニ限リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第二十二條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者カ不動産ノ目錄ヲ提出シタルトキハ登記所ハ其書面ヲ用キテ謄本又ハ抄本ヲ作成スル

コトヲ得

第二十二條 登記簿及び其附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除外登記所外ニ持出スコトヲ得ス但第二十條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二十三條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ三ヶ月ヨリ少カラサル期間ヲ定メ其期間内ニ登記ノ回復ヲ申請スル者ハ仍ホ其登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘキ旨ヲ告示スルコトヲ要ス

第二十四條 登記簿及び其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第四章 登記手續

第一節 通則

第二十五條 登記ハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ除外當事者ノ申請又ハ官廳若クハ公署ノ囑託アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

囑託ニ因ル登記ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除外申請ニ因ル登記ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十六條 登記ハ登記権利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ申請スルコトヲ要ス

第二十七條 判決又ハ相續ニ因ル登記ハ登記権利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ登記名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ債務者ノ表示ノ變更登記ハ債務者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條ノ二 滯納處分ニ因ル差押ノ登記ヲ囑託スル場合ニ於テ必要ア

面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十二條 假登記ハ次條ノ場合ヲ除外假登記権利者ノ申請ニ因リ其目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ遲滞ナク囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ假處分命令ハ假登記権利者カ假登記原因ヲ説明シタルトキハ區裁判所之ヲ發スルコトヲ要ス

申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第三十三條 假登記ハ假登記義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其承諾書ヲ添附シテ假登記權利者ヨリ之ヲ登記所ニ申請スルコトヲ得

第三十四條 豫告登記ハ第三條ニ掲ケタル訴ヲ受理シタル裁判所ヨリ職權ヲ以テ遲滞ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十五條 登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

一 申請書

二 登記原因ヲ證スル書面

三 登記義務者ノ權利ニ關スル登記簿

四 登記原因ニ付キ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

五 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其權限ヲ證スル書面

登記原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ前項第三號及ヒ第四號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第三十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

ルトキハ官廳又ハ公署ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ不動ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル權利移轉ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第二十八條ノ三 第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及ヒ第六十三條ノ三ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十九條 官廳又ハ公署ノ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ハ登記権利者ノ請求ニ因リ其官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十條 官有不動產又ハ府縣、郡、市、町村若クハ區ノ所有ニ係ル不動產ニ關スル權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳若クハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十一條 官廳又ハ公署カ取得シタル不動産ニ關スル權利ヲ取得シタルトキハ其ノ權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ其官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面及ヒ登記義務者ノ承諾書ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

官廳又ハ公署カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ニ付キ爲スヘキ登記ハ官廳又ハ公署カ登記權利者ナルトキハ職權ヲ以テ、登記義務者ナルトキハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス但官廳又ハ公署カ登記權利者ナルトキハ登記義務者ノ承諾書ヲモ添附スルコトヲ要ス

官廳又ハ公署カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ消滅ノ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書

一 不動産所在ノ郡、市、區、町村、字及ヒ土地ノ番號

二 地目及ヒ段別又ハ坪數

三 申請人ノ氏名、住所若シ申請人カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所

四 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其氏名、住所

五 登記原因及ヒ其日附

六 登記ノ目的

七 登記所ノ表示

八 年月日

第三十七條 登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テハ申請書ニ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲ記載シ附屬建物アルトキハ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

前條第二號ニ掲ケタル事項ハ前項ノ申請書ニハ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第三十八條 登記原因ニ買戻ノ特約其他登記ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條 登記權利者カ多數ナル場合ニ於テ登記原因ニ其持分ノ定アルトキハ申請書ニ其持分ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十條 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ノ副本ヲ提出スルコトヲ要ス

第四十一條 登記原因カ相續ナルトキハ申請書ニ相續ヲ證スル【戶籍吏】ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十二條 申請人カ登記權利者又ハ登記義務者ノ相續人ナルトキハ申請書ニ其身分ヲ證スル【戶籍吏】ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添

附スルコトヲ要ス

第四十三條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其表示ノ變更ヲ證スル「戸籍吏」ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第四十四條 登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證力滅失シタルトキハ申請書ニ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者二人以上カ登記義務者ノ人違ナキコトヲ保證シタル書面ニ通テ添付スルコトヲ要ス

第四十五條 申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其第三者ヲシテ申請書ニ署名、捺印セシメテ其書面ニ代フルコトヲ得

第四十六條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數個ノ不動産ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テハ登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルコトヲ得

第四十七條 債權者カ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ債權者及ヒ債務者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載シ且代位原因ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

依ルノ外事項欄ニ債權者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十一條 登記權利者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ登記用紙ニ記載シ其氏名、住所ノ共同人名簿ニ記載スルコトヲ得登記義務者ノ氏名、住所ヲ登記用紙ニ記載スルコトヲ要スル場合ニ於テ登記義務者カ多數ナルトキ亦同シ

第五十二條 表示欄ニ登記ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十三條 附記ニ依ル登記ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登記ノ番號ヲ用キ其番號ノ左側ニ附記何號ト記載スルコトヲ要ス

第五十四條 假登記ハ登記用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲シ其左側ニ餘白ヲ存スルコトヲ要ス

第五十五條 假登記ヲ爲シタル後本登記ノ申請アリタルトキハ假登記ノ左側ノ餘白ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十六條 權利ノ變更ノ登記ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付シタルトキニ限り附記ニ依リテ其登記ヲ爲ス尙權利ノ變更ノ登記ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル抵當證券ノ所持人又ハ裏書人アルトキハ其者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス

申請人ニ交付スルコトヲ要ス

第四十八條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條 登記官吏ハ左ノ場合ニ限り理由ヲ附シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スルコトヲ得但申請ノ欠缺カ補正スルコトヲ得ヘキモノナル場合ニ於テ申請人カ即日ニ之ヲ補正シタルトキハ此限ニ在ラス

一 事件カ其登記所ノ管轄ニ屬セサルトキ

二 事件カ登記スヘキモノニ非サルトキ

三 當事者カ出頭セサルトキ

四 申請書カ方式ニ適合セサルトキ

五 申請書ニ掲ケタル不動産又ハ登記ノ目的タル權利ノ表示カ登記簿ト抵觸スルトキ

六 第四十二條ニ掲ケタル書面ヲ提出シタル場合ヲ除ク外申請書ニ掲ケタル登記義務者ノ表示カ登記簿ト符合セサルトキ

七 申請書ニ掲ケタル事項カ登記原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ

八 申請書ニ必要ナル書面又ハ圖面ヲ添付セサルトキ

九 登録稅ヲ納付セサルトキ

第五十條 表示欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、登記ノ目的其他事項欄ニ掲ケタル事項ニシテ不動産ノ表示ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第四十六條ノ二ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲スニハ前項ノ規定ニ

第五十八條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示ヲ抹スルコトヲ要ス

第五十九條 行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス又ハ其名稱ノ變更アリタルトキ亦同シ

第六十條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ登記原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ登記番號、申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號及ヒ登記濟ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登記權利者ニ還付スルコトヲ要ス

於テ登記所ヨリ登記簿ノ還付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ登記権利者ニ交付スルコトヲ要ス

第六十三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ登記権利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス但登記権利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ニ通知スルヲ以テ足ル

第六十三條ノ二 前條ノ場合ニ於テ登記ノ錯誤又ハ遺漏カ登記官吏ノ過誤ニ出テタルトキハ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ヲ除ク外登記官吏ハ遲滞ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲シ其旨ヲ登記権利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス

第六十三條ノ三 前二條ノ通知ハ第四十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十四條 第五十六條及ヒ第五十七條ノ規定ハ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 抹消シタル登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス尙登記ノ回復ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル抵當證券ノ所持人又ハ裏書人アルトキハ其者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第六十六條 登記回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ノ回復スルトキハ回復ノ登記ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登記ノ同一ノ登記ヲ爲シ若シ或登記事項ノミカ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ其事項ヲ登記スルコトヲ要ス

タル事項アリタルコトヲ發見シタルトキハ其事項ヲモ記載スルコトヲ要ス

第七十二條 第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間中新登記ノ申請アリタルトキハ假設登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ假設登記簿ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十三條 假設登記簿ニ爲シタル登記ハ第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間満了ノ後遲滞ナク之ヲ登記簿ニ移スコトヲ要ス此場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ假設登記簿ニ於ケル登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十七條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十四條 假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移ス場合ニ於テ回復シタル登記アルトキハ新登記ノ順位番號欄ニハ回復シタル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十五條 假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ當事者ニ對シ之ニ本登記簿ニ與フヘキ旨ヲ通知シ若シ回復シタル登記ト假設登記簿ヨリ移シタル登記ト抵觸スルトキハ同時ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

當事者カ登記簿ヲ申請スル場合ニ於テハ假設登記簿ニ於ケル登記ノ登記簿ヲ提出スルコトヲ要ス

前項ノ申請アリタルトキハ第六十條ノ規定ヲ準用ス

第七十六條 登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リ

第六十七條 第九條第二項ノ場合ニ於テ乙登記所ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ相當登記區畫ノ登記簿ニ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第六十八條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ一箇又ハ數箇ノ不動産ノ所在地カ甲登記區畫ヨリ乙登記區畫ニ轉屬シタルトキハ登記所ハ乙登記區畫ノ登記簿ニ其不動産ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス

前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條 第二十三條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ回復ヲ申請スルコトヲ得

第七十條 前條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ前登記ノ順位番號、申請書受附ノ年月日、受附番號ヲ記載シ前登記ノ登記簿ヲ添付スルコトヲ要ス

第七十一條 第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ相當區画順位番號欄ニ前登記ノ番號ヲ記載シ事項欄ニ前登記ノ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス

登記官吏ハ回復ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ前登記ニ付キ職權ヲ以テ記載シ

タルトキハ新用紙中登記番號欄ニ前用紙ノ登記番號ヲ轉寫シ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號欄ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數又ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前用紙中表題部又ハ他ノ區ニ餘白アルトキハ表題部又ハ其區ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス

金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用キルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第七十八條 所有權ノ一部移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其部分ノ表示ヲ爲シ若シ登記原因ニ民法第二百五十六條第一項但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十九條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ増減又ハ地目若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其土地ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第八十條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地ノ分合、滅失若クハ増減シタル段別若クハ坪數並ニ現在ノ段別若クハ坪數又ハ新地目若クハ新番號ヲ記載シ且土地臺帳謄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第八十一條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ減少又ハ地目ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ際本ヲ添付スルコトヲ要ス尙抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ其所持人又ハ裏書人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ際本ヲモ添付スルコトヲ要ス

第五十六條第二項ノ規定ハ抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於ケル前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第八十二條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ分筆ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲地ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十三條 前條第一項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ

甲地ノ登記用紙ヨリ所有權其他ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ且所有權以外ノ權利ニ關スル登記中ニ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ヨリ乙地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ乙地ト共ニ其權利ノ目的タル旨ヲ附記スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ乙地ニ關シ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ際本ヲ添付シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記ス

ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 甲地ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合筆ノ登記ヲ爲ストキハ

乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ甲地ノ表示、其番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第八十七條 前條ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其登記カ甲地タリシ部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ甲地タリシ部分ノミニカ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十三條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條 土地ノ段別又ハ坪數ノ増減ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ増減ノ原因ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十九條 地目又ハ土地ノ番號ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第九十條 削除

第九十一條 建物ノ分合、其番號若クハ構造ノ變更、其滅失、其建坪ノ増減又ハ附屬建物ノ新築アリタルトキハ其建物ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク登記ヲ申請スルコトヲ要ス

ルコトヲ要ス

第八十四條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ乙地ノミカ所有權以外ノ權利ノ目的タルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ甲地ノ登記用紙中所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ乙地ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ際本ヲ添付シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十五條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合併ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ其登記カ合併シタル部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ合併シタル部分ノミニカ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十二條第二項、第八十三條第二項、第三項及ヒ前條ノ規定ハ第一項

(合三)

建物ノ敷地ノ番號ノ變更アリタルトキ亦同シ

第九十二條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ分合シタル建坪、新番號若クハ新構造又ハ滅失、増減若クハ新築シタル建坪並ニ現在ノ建坪ヲ記載シ又ハ敷地ノ新番號ヲ記載シ且建物ノ分合、構造ノ變更又ハ建坪ノ増減ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其圖面ヲ添付スルコトヲ要ス

第九十三條 建物ノ分合、其構造ノ變更、其滅失又ハ其建坪ノ減少ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其建物ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ第八十一條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割又ハ區分ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲建物ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割又ハ區分ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但分割又ハ區分シタル附屬建物ノミニ關スル表示番號アルトキハ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第九十五條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ノ附屬建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ乙建物ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條 第八十三條及ヒ第八十四條ノ規定ハ第九十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十三條ニ定メタル手續ヲ爲ス外

第九十七條

乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ分割又ハ區分ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十七條 第八十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ第九十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十五條第二項乃至第四項ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ合併ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十八條 甲建物ヲ乙建物又ハ其附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲スニ付テハ第八十六條及ヒ第八十七條ノ規定ヲ準用ス但甲建物ヲ乙建物ノ附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テハ乙建物ノ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要セス

第九十九條 第八十八條ノ規定ハ建物又ハ附屬建物ノ建坪ノ増減ノ登記ニ之ヲ準用ス

附屬建物ノ新築ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ附屬建物ノ種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百條 第八十九條ノ規定ハ建物ノ番號ノ變更、建物若クハ附屬建物ノ構造ノ變更又ハ敷地ノ番號ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百條ノ二 行政區畫又ハ字ノ變更ニ伴ヒ土地ノ番號ノ變更アリタルトキハ土地臺帳所管廳ハ遲滞ナク其旨ヲ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク登記用紙中表示欄ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第一百條ノ三 不動産ノ滅失ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ滅失ノ原因ヲ記載シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第一百條ノ四 前條ノ場合ニ於テ滅失シタル不動産カ他ノ不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タリシトキハ他ノ不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ滅失シタル不動産ノ表示ヲ爲シ滅失ノ原因及ヒ其不動産ノ滅失シタルコトヲ附記シ其不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記中滅失シタル不動産ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

他ノ不動産ノ所在地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク前項ノ登記ヲ其登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク第一項ニ定メタル手續ヲ爲スコトヲ要ス

第一百條ノ二 既登記ノ不動産ヲ世傳御料ニ編入シタル場合ニ於テ其登記ノ抹消ノ囑託アリタルトキハ登記用紙中表示欄ニ世傳御料ニ編入シタル旨ヲ記載シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第一百條ノ三 既登記ノ土地カ河川ノ敷地ト爲リタル場合ニ於テハ當該官廳ハ遲滞ナク其登記ノ朱抹ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ囑託スルコトヲ得

第一項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ登記用紙中表示欄ニ河川ノ敷地ト爲リタル旨ヲ記載シ土地ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ第一百條ノ規定ヲ準用ス

第一百條ノ三 土地ノ收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其申請書ニハ補償金ノ受取證又ハ供託受領證ヲ添付スルコトヲ要ス

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ起業者ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得

官廳又ハ公署カ起業者ナルトキハ其官廳又ハ公署ハ遲滞ナク前二項ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第一百條ノ二 第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及ヒ第六十三條ノ三ノ規定ハ第一百條ノ三第二項及ヒ前條第二項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百條ノ三 不動産ニ付キ遺留財産ノ設定又ハ増加ノ勸許アリタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク遺留財産ノ設定ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第一百條ノ四 前條ノ規定ハ王公家軌範ニ依ル世襲財産ノ設定又ハ増加ノ勸許アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第一百條ノ五 不動産ヲ華族世襲財産ト爲スコトヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク世襲財産ノ設定ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

華族世襲財産法第二十三條又ハ第二十八條ノ規定ニ依ル管理財産中不動産アルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク管理財産タル旨ノ登記ヲ登記所ニ囑託シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ囑託スルコトヲ要ス

管理人カ其管理中取得シタル不動産ニ付テハ取得ノ登記ト共ニ管理財産タル旨ノ登記ヲ申請シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ要ス

第一百條ノ二 不動産ノ信託ノ登記ニ付テハ受託者ヲ登記權利者トシ委託者ヲ登記義務者トス

第一百條ノ三 信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財産ニ屬スル不動産ノ

第二編 民事 第九章 登記 不動産登記法

信託ノ登記ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ信託法第二十七條ノ規定ニ基キ信託財産ノ復舊ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一百條ノ四 受益者又ハ委託者ハ受託者ニ代位シテ信託ノ登記ヲ申請スルコトヲ得

第四十六條ノ二ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル代位登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

此場合ニ於テハ申請書ニ代位原因ヲ證スル書面ノ外登記ノ目的タル不動産カ信託財産タルコトヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第一百條ノ五 信託ノ登記ノ申請ハ信託ニ因ル不動産ノ所有權ノ移轉ノ登記ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財産ニ屬スル不動産ノ取得ノ登記ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第一百條ノ六 受託者更迭ノ場合ニ於テ所有權移轉ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其更迭ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ爲スヘキ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百條ノ七 受託者ノ任務カ死亡、破産、禁治産、準禁治産又ハ裁判所若クハ主務官廳ノ解任命令ニ因リテ終了シタルトキハ前條ノ登記ハ新受託者又ハ他ノ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得受託者タル法人ノ任務カ解散ニ因リテ終了シタルトキ亦同シ

第一百條ノ八 信託ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ申請書ニ添付スルコトヲ要ス

一 委託者、受託者、受益者及ヒ信託管理人ノ氏名、住所法人ニ在リ

テハ其名稱及ヒ事務所

二 委託者、受託者、受益者及ヒ信託管理人ノ氏名、住所及ヒ分割又ハ區分ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

三 附屬建物ノ登記原因ノ記載ナキトキハ第八十五條第二項乃至第四項ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ合併ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

四 行政區畫又ハ字ノ變更ニ伴ヒ土地ノ番號ノ變更アリタルトキハ土地臺帳所管廳ハ遲滞ナク其旨ヲ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

五 前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク登記用紙中表示欄ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

六 既登記ノ不動産ヲ世傳御料ニ編入シタル場合ニ於テ其登記ノ抹消ノ囑託アリタルトキハ登記用紙中表示欄ニ世傳御料ニ編入シタル旨ヲ記載シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

七 既登記ノ土地カ河川ノ敷地ト爲リタル場合ニ於テハ當該官廳ハ遲滞ナク其登記ノ朱抹ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

八 前項ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ囑託スルコトヲ得

九 第一項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ登記用紙中表示欄ニ河川ノ敷地ト爲リタル旨ヲ記載シ土地ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

十 土地ノ收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其申請書ニハ補償金ノ受取證又ハ供託受領證ヲ添付スルコトヲ要ス

- 二 信託ノ目的
- 三 信託財産ノ管理方法
- 四 信託終了ノ事由
- 五 其他信託ノ條項

前項ノ書面ニハ申請人署名、捺印スルコトヲ要ス

第四百四條ノ九 前條ノ規定ニ依リ申請書ニ添付シタル書面ハ之ヲ信託原簿トス

信託原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第四百四條ノ十 裁判所カ信託管理人ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ遲滞ナク信託原簿ノ記載ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス主務官廳カ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同シ

第四百四條ノ十一 前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官廳カ受託者ヲ解任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四百四條ノ十二 裁判所カ信託財産ノ管理方法ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク信託原簿ノ記載ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百四條ノ十三 前三條ノ場合ヲ除ク外第四百四條ノ八第一項ニ掲ケル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ受託者ハ遲滞ナク其變更ヲ證スル書面ヲ添ヘテ信託原簿ノ記載ヲ申請スルコトヲ要ス但第四百四條ノ六又ハ第四百四條ノ七ノ場合ニ於テ登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ信託原簿ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第四百四條ノ十四 第四百四條ノ十一ノ規定ニ依リテ信託原簿ノ記載ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記簿ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第四百四條ノ十五 第四百四條ノ二乃至前條ノ規定ハ擔保附社債信託法ニ依ルルコトヲ要ス

第四百四條ノ十六 第四百四條ノ二乃至前條ノ規定ハ擔保附社債信託法ニ依ルルコトヲ要ス

第三百十條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ第四百五條又ハ第四百六條ノ規定ニ依リテ證明ヲ爲スコトヲ要セス

第三節 所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續

第三百十一條 地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、地代又ハ其支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百十二條 永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ノ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約又ハ民法第二百七十二條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百十三條 地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百八十一條第一項但書、第二百八十五條第一項但書又ハ第二百八十六條ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百十四條 地役權ノ設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ承役地タル不動産ノ表示ヲ爲シ其不動産カ地役權ノ目的タル旨、地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載スルコトヲ要ス
要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク其登記所ニ承役地、要役地、地役權設定ノ目的並ニ範圍及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百十五條 先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權

登記ニ之ヲ適用セス

第五百五條 未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

- 一 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ所有者トシテ登録セラレタルコトヲ證スル者
- 二 判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第五百六條 未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

- 一 建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ登記セラレタル者
- 二 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登録セラレタルコトヲ證スル者
- 三 既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者
- 四 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第五百七條 前二條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ第五百五條第何號又ハ前條第何號ニ依リテ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル證明書類ヲ添付シ前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ圖面ヲ添付スルコトヲ要ス但登記原因及ヒ其日附ヲ記載シ又ハ第三十五條第二號乃至第四號ニ掲ケタル書面ヲ添付スルコトヲ要セス

第五百八條 未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ爲スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第五百九條 第二百八條及ヒ第二百二十九條ノ規定ハ未登記ノ不動産所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第五百十條 債權ノ設定又ハ轉賣ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、違約金若クハ賠償額ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百四十六條但書ノ定アルトキ、第三百五十六條若クハ第三百五十七條ノ規定ニ異ナリタル定アルトキ又ハ第三百七十七條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第五百十一條 抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其發生期若クハ支拂時期ノ定アルトキ、元本若クハ利息ノ支拂場所ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百七十七條但書ノ定アルトキ又ハ第三百七十七條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第五百十二條 先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其權利ノ目的カ所有權以外ノ權利ナルトキハ申請書ニ其權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第五百十三條 質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第五百十四條 質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權又ハ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スルコトヲ要ス

第五百十五條 二 抵當證券ノ發行アル抵當權ノ目的物ノ讓渡ニ因ル移轉ノ登記ヲ爲シタルトキ又ハ抵當權ノ目的物ノ讓渡ニ因ル移轉ノ登記ヲ爲シタル後抵當證券ノ發行アリタルトキハ抵當權設定者ハ其氏名、住所ノ登

記ヲ申請スルコトヲ得但抵當權設定者カ債務者ニ非サルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ登記ハ抵當權設定ノ登記ニ附記シテ之ヲ爲ス

第二百二十條 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其債權ノ價格ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百二十一條 官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登記ハ囑託書ニ其官吏又ハ公吏カ差出シタル登記請求書ヲ添附シテ當該官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第二百二十二條 數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十三條 前條ノ場合ニ於テ不動産カ五箇以上ナルトキハ申請書ニ共同擔保目録ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ目録ニハ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ申請人之署名、捺印スルコトヲ要ス

第二百二十四條 數箇ノ不動産ニ關スル權利カ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ他ノ不動産ニ關スル權利ニ付キ第百二十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル登記ニ其旨ヲ附記シ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス其一箇ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ニ付キ變更ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

第二百二十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第二百二十六條 前條ノ規定ニ從ヒテ爲スヘキ登記ハ共同擔保目録ニ於テハ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ申請人之署名、捺印スルコトヲ要ス

録アル場合ニ於テハ其目録ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十七條 登記官吏カ抵當證券ヲ交付シタルトキハ職權ヲ以テ抵當權設定ノ登記ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第二百二十八條 登記官吏カ抵當證券法第五條第二項ノ囑託ニ因リ抵當證券ヲ作成シタルトキハ職權ヲ以テ抵當權設定ノ登記ニ其旨ニ附記スルコトヲ要ス

抵當證券法第一條第二項ノ申請アリタル場合ニ於テ登記官吏カ抵當證券ヲ交付シタルトキハ他ノ登記所ニ前條ノ登記ヲ囑託スルコトヲ要ス其申請ヲ却下シタルトキハ前項ノ規定ニ依ル登記ノ抹消ヲ囑託スルコトヲ要ス

第二百二十九條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ甲區事項欄ニ何權利ヲ目的トスル何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ且所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百三十條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百三十一條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ甲區事項欄ニ何權利ヲ目的トスル何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ且所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百三十二條 既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百三十三條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百三十四條 前四條ノ規定ハ所有權以外ノ權利又ハ其權利ヲ目的トスル

準用ス

第二百三十八條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百三十九條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ且甲區事項欄ニ所有權ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百四十條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百四十一條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ甲區事項欄ニ何權利ヲ目的トスル何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ且所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百四十二條 既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百四十三條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百四十四條 前四條ノ規定ハ所有權以外ノ權利又ハ其權利ヲ目的トスル

權利ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三百三十五條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産ニ付キ所有權以外ノ權利若クハ其權利ノ目的トスル權利ニ關スル登記又ハ既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ノ目的トスル權利ニ關スル登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ裁判ニ依リテ其權利ヲ證明スルコトヲ要セス

第三百三十六條 建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ設計書ニ定メタル其建物ノ種類、構造、建坪、建物ヲ新築スヘキ郡、市、區、町、村、字、土地ノ番號及ヒ工事費用ノ豫算額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載シ設計書及ヒ圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三百三十七條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ新築スヘキ建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏名、住所及ヒ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲スニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十八條 既登記ノ主タル建物ノ附屬建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ新築スヘキ附屬建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十九條 建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滞ナク所有權ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス但第百六條及ヒ第百七條ノ適用ヲ妨ケス

ル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滞ナク新築ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第四百十條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ更ニ建物ノ表示ヲ爲シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但前條第一項ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ關シテ甲區事項欄ニ爲シタル登記ヲモ朱抹スルコトヲ要ス

第四節 抹消ニ關スル登記手續

第四百十一條 登記シタル權利カ或人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其死亡ヲ證明スル【戸籍吏】ノ書面其他ノ公正證書ヲ添附スルトキハ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十二條 登記權利者カ登記義務者ノ行方ノ知レサルニ因リテ之ト共ニ登記ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其原本ヲ添附シ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書及ヒ債權並ニ最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書ヲ添附シタルトキハ登記權利者ノミニテ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關スル登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十三條 遺留財產ノ廢止ノ勸許アリタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク遺留財產ノ設定ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス遺留財產ノ相續人ナキトキ亦同シ

第四百十四條 前條ノ規定ハ王公家軌範ニ依ル世襲財產ノ解除ノ勸許アリタル場合及ヒ世襲財產ノ失效アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第四百十三條

華族世襲財產ノ廢止又ハ失效アリタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク華族世襲財產ノ設定ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百十三條ノ二 信託財產タル不動産ニ關スル權利ノ移轉ニ因リ其權利カ信託財產ニ屬セサルニ至リタル場合ニ於テ爲スヘキ信託登記抹消ノ申請ハ移轉登記ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ信託終了ニ因リ信託財產タル不動産ニ關スル權利カ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四百十四條 假登記ノ抹消ハ假登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得申請書ニ假登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ原本ヲ添附シタルトキハ登記上ノ利害關係人ヨリ假登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十五條 第三條ニ掲ケタル訴ヲ却下シタル裁判若クハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判カ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付キ和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ遲滞ナク囑託書ニ裁判ノ原本若クハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若クハ和解ヲ證明スル書面ヲ添附シテ豫告登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百十六條 登記ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其抹消ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ原本ヲ添附スルコトヲ要ス尙登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル抵當證券ノ所持人又ハ裏書人アルトキハ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ原本ヲ添附スルコトヲ要ス

抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ其抵當權ノ抹消ノ登記ノ申請書ニ

抵當證券ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百十七條 登記ノ抹消スルニハ抹消ノ登記ヲ爲シタル後抹消スヘキ登記ノ抹消スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ抹消ニ係ル權利ノ目的トスル第三者ノ權利ニ關スル登記アルトキハ登記用紙中相當事項欄ニ其第三者ノ權利ノ表示ヲ爲シ何權利ノ登記ノ抹消シタルニ因リテ抹消ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百十八條 第二十九條ノ規定ニ從ヒ官廳又ハ公署ヨリ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ノ囑託アリタル場合ニ於テハ滯納處分ニ關スル差押ノ登記ノ抹消シ若シ其權利ノ目的トセル先取特權、質權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ其登記ノ抹消スルコトヲ要ス

第四百十九條 第三百三條ノ規定ニ從ヒ土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ノ申請又ハ囑託アリタル場合ニ於テ其不動産ノ登記用紙中所有權又ハ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ其登記ノ抹消スルコトヲ要ス但其不動産ノ爲メニ存スル地役權ノ登記ハ此限ニ在ラス

第四百十九條ノ二 登記官吏ハ登記ヲ完了シタル後其登記カ第四十九條第一號又ハ第二號ニ該當スルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記權利者、登記義務者及ヒ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者ニ對シ一ヶ月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ノ抹消スヘキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

通知ヲ受クヘキ者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ商業登記ニ付キ定メタル公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スルコトヲ要ス

登記官吏ハ前項ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

第四百十九條ノ三 異議ノ申立アリタルトキハ登記官吏ハ理由ヲ附シタル

決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第四百十九條ノ四 前條第二項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第四百十九條ノ五 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第五章 抗告

第五十條 登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五十一條 抗告ハ登記所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第五十二條 抗告ハ新ナル事實及ヒ證據方法ヲ以テ其證據ト爲スコトヲ得ス

第五十三條 登記官吏カ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ三日内ニ意見ヲ附シテ事件ヲ抗告裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

登記官吏カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ登記完了ノ後ナルトキハ其登記ニ付キ異議アル旨ノ附記ヲ爲シ之ヲ登記上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第五十四條 抗告ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セス

第五十五條 抗告裁判所カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ決定ヲ以テ登記官吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告裁判所ハ登記上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要ス

新登記簿ノ用紙ニ移シタル番號及ヒ事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第六十四條 本法ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

(明治三十二年勅令第三百三十四號ヲ以テ明治三十二年六月十六日ヨリ施行)

附則 (大正二年法律第十八號)

第一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 本法施行前ニ登記所ノ受附タル事件ハ從前ノ規定ニ依リ完結ス

第三條 本法施行前ニ調製シタル登記簿ハ當分ノ内之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ關スル從前ノ規定ハ仍ホ其效力ヲ有ス

第四條 本法ニ依ル登記簿ニ始メテ登記ヲ爲ス場合ニ於ケル登記番號ハ從來ノ番號ヲ追ヒテ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條 從前ノ規定ニ依ル登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ本法ニ依ル登記簿ニ繼續用紙ヲ設クルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ乙區事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ新ナル順位番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第六條 所有權以外ノ權利ニ關スル登記ノ前後ハ從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ爲シタルモノト本法ニ依ル登記簿ニ爲シタルモノトノ間ニ在リテハ受附番號ニ依ル

第七條 從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ爲シタル所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ付キ本法ニ依ル登記簿ニ附記登記ヲ爲ス場合ニ於テハ主登記ヲ爲シタル區ノ名稱ヲ記載スルコトヲ要ス

第八條 從前ノ規定ニ依ル登記簿ヨリ本法ニ依ル登記簿ニ所有權以外ノ權利

第二編 民事 第九章 登記 不動産登記法

第五十六條 抗告裁判所ノ決定ニハ理由ヲ附スルコトヲ要ス

第五十七條 登記官吏カ抗告裁判所ノ命令ニ依リテ登記ヲ爲ストキハ命令ヲ爲シタル裁判所、命令ノ年月日、命令ニ依リテ登記ヲ爲ス旨及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第五十八條 抗告裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル決定ナルコトヲ理由トスルトキニ限り抗告ヲ爲スコトヲ得

第五十九條 送達ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用シ抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

附則

第六十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十一條 明治十九年法律第一號登記法中地所及ヒ建物ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第六十二條 明治六年第十八號布告地所實入書入規則又ハ同八年第四百十八號布告建物書入實規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ一年內ニ債權者ヨリ其登記ヲ申請セサルトキハ其權利ハ公證ノ效力ヲ失フ

前項ノ規定ニ從ヒテ登記シタル權利ノ順位ハ公證ノ順位ニ依ル

第六十三條 本法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區順位番號欄及ヒ事項欄ニ舊登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及ヒ事項ヲ移シ舊登記簿ノ用紙中

(台三)

(台三)

利ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキハ受附番號ノ順序ヲ追ヒテ新ナル順位番號ヲ記載シ其左側ニ從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ於ケル區ノ名稱及ヒ順位番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第九條 不動産登記法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ本法ニ依ル登記簿ニ登記ヲ爲ストキハ第六十三條ノ規定ヲ準用ス

第十條 明治三十九年法律第五十五號ハ之ヲ廢止ス

附則 (昭和二年法律第三十四號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (昭和六年法律第二十號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和二年勅令第八十八號ヲ以テ昭和六年八月一日ヨリ施行)

(昭和六年勅令第八十九號ヲ以テ昭和六年八月一日ヨリ施行)

○不動産登記法施行細則

明治三十二年五月十二日 司法省令第十一號

改正 明治三二年第五四號、三四年第一七號、三五年第一三號、三六年第二五號、三七年第一八號

大正二年第一五號、三年第三號、第八號、五年第一九號、第三四號、一一年第四六號、昭和二年第一〇號、四年第一六號、六年第二四號、八年第二〇號、第三一號、九年第八號

第一章 登記ニ關スル帳簿

第一條 土地登記簿及ヒ建物登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 共同人名簿ハ土地共同人名簿及ヒ建物共同人名簿ノ二種トス

共同人名簿ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

共同人名簿ヲ合綴シタル場合ニ於テハ登記簿ヲ分設シタル區畫毎ニ見出ヲ附スヘシ

第三條 土地共同人名簿及ヒ建物共同人名簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 登記簿及ヒ共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ交付スヘシ

登記所ハ翌年中ニ必要ナル帳簿ノ冊數及ヒ各冊ノ枚數ヲ見積リ毎年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ

豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得

第五條 登記簿及ヒ共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ

第六條 土地登記見出帳ハ附錄第三號雜形ニ依リ土地分合登記見出帳ハ附錄第四號雜形ニ依リ建物登記見出帳ハ附錄第五號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條 土地登記見出帳ニハ土地ノ番號ヲ逐ヒ豫メ各筆ノ見出欄ヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ其登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

第八條 土地分合登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ土地ノ分合ニ關スル登記ヲ爲ス毎ニ其土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ハ一ノ部ニ記入スルモノ類ニ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ但土地カ合併ニ因リ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ

第九條 建物登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ敷地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ敷地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲモ記入スヘシ但敷地カ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

第十條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ

第十一條 受附帳ハ附錄第六號雜形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ

第十二條 受附帳ハ一ノ年毎ニ更新スヘシ

第十三條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十四條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

一 圖面綴込帳
二 印鑑簿

三 共同擔保目録綴込帳

四 信託原簿綴込帳

五 申請書類綴込帳

六 決定原本綴込帳

七 抗告書類綴込帳

八 評價事件簿

九 評價書類綴込帳

十 印鑑證明書類綴込帳

十一 本登記済証交付帳

十二 土地登記済通知帳

十三 謄本抄本交付帳

十四 各種通知簿

十五 受領證原符元帳

十六 還納受領證綴込帳

前項第三號乃至第十六號ノ帳簿ハ一ノ年毎ニ別冊ト爲スヘシ但分冊スルコトヲ妨ケス

第十五條 申請書、囑託書、通知書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本、登記立會調書其他ノ附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リテ申請書類綴込帳ニ之ヲ編綴スヘシ

第十六條 圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ

第十七條 共同擔保目録ノ表紙ニハ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ番號ヲ附スヘシ

第十八條 共同擔保目録ハ一ノ年毎ニ其番號ヲ更新スヘシ

第二編 民事 第九章 登記 不動産登記法施行細則

第十六條ノ四 前二條ノ規定ハ信託原簿ニ之ヲ準用ス

第十七條 不動産登記法第四十四條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附シタル書面二通ノ内一通ハ登記所ニ之ヲ保存スヘシ

第十八條 第十四條第十四號ノ通知簿ニハ不動産登記法第二十八條ノ三、第六十條ノ二、第六十一條、第六十三條乃至第六十三條ノ三、第七十五條第一項、第九十三條ノ二、第九十四條第二項、第九十六條第二項、第九十七條ノ二、第九十九條ノ二第一項、第九十九條ノ二第二項、第一百零二條第二項及ヒ本令第六十二條第一項、第六十三條第一項、第六十九條、第六十九條ノ二ノ通知事項、通知ヲ受クル者及ヒ通知ヲ發スル年月日ヲ記入スヘシ

第十九條 評價事件簿ハ附錄第七號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十條 事變ヲ避クル爲メ登記簿及ヒ其附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

第二十一條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其他ノ附屬書類ヲ送付スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其關係アル部分ニ限り之ヲ送付スヘシ

第二十二條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其事由、年月日、滅失セシ登記簿ノ冊數其他不動産登記法第二十三條ノ告示ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スヘシ但區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

地方裁判所長カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申ヲ爲スヘシ

第二十三條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ詳細其狀況ヲ取調ヘ且處分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

六七九

第二十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目録ヲ作り地方裁判所長ノ認可ヲ受クヘシ但區裁判所出張所カ認可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

第二十五條 不動産ノ所有者ハ其本籍地又ハ所在地ノ市、區、町、村長ナキ地ニ於テハ其ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動産所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ

不動産ヲ所有スル法人又ハ外國會社ノ代表者ハ法人又ハ外國會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動産所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ但法人又ハ外國會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ此限ニ在ラス

第二十六條 印鑑ハ附録第八號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十七條 印鑑簿調製ノ様式及ヒ貼附ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムヘシ

第二十八條 第二十五條ノ規定ハ官廳及ヒ公署ニハ之ヲ適用セス

第二十九條 登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付又ハ登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

代理人カ前項ノ請求ヲ爲ストキハ申請書ニ其權限ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第三十條 土地登記簿謄本ノ交付又ハ土地登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但閱覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由ヲ記載シ又ハ其事出ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一 土地所在ノ郡、市、區、町、村、字及ヒ土地ノ番號

二 手数料ノ金額
三 登記所ノ表示
四 年月日

第三十一條 土地登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

第三十二條 前二條ノ規定ハ建物登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付又ハ建物登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ之ヲ準用ス但建物ノ番號アルトキハ申請書ニ其番號ヲモ記載スヘシ

第三十三條 不動産登記法第二十一條ノ二ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於ケル不動産ノ目録ハ登記簿及ヒ共同擔保目録ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

第三十四條 登記官吏カ第二十九條ノ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ請求ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シタル上受附番號ノ順序ニ從ヒテ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第三十五條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ捺捺スヘシ

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ半紙昇紙ヲ用ユヘシ

(台三)

(台三)

第三十五條ノ二 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿一用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルヘシ但請求ニ因リ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シテ之ヲ作ルコトヲ得此場合ニ於テハ認證文ニ其旨ヲ附記スヘシ

第三十六條 前條但書ノ規定ハ登記簿ノ謄本ノ交付ノ申請書ニ共同人名簿、共同擔保目録又ハ信託原簿ノ謄寫ヲ除ク旨記載アル場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スルトキハ謄本抄本交付帳ニ謄本又ハ抄本ノ區別、數、交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載スヘシ

第三十八條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第三十九條 印鑑簿及ヒ信託原簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

受附帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本綴込帳、抗告書類綴込帳、評價事件簿、評價書類綴込帳及ヒ印鑑證明書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ

本登記簿交付帳、土地登記簿通知簿、謄本抄本交付帳、各種通知簿、受領證原符元帳及ヒ還納受領證綴込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第三十七條ノ三 共同擔保目録ハ先取特權、質權又ハ抵當權ノ抹消ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ

第二章 登記申請ノ手續
第三十八條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事

第二編 民事 第九章 登記 不動産登記法施行細則

第三十九條 申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ

但登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ノ契印ヲ以テ足ル能ハサルトキハ申請書ニ其旨ヲ記載スヘシ

第四十條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定シタル管轄登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十一條 不動産登記法第二百二十八條又ハ第三百三十條ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ權利ノ目的タル不動産カ建物ナルトキハ申請書ニ圖面ヲ添附スヘシ

第四十二條 建物ノ圖面ニハ不動産登記法第三十六條第一號並ニ第三十七條ニ掲ケタル事項及ヒ敷地ノ方位並ニ建物ノ形狀、間尺、位置ヲ記載シテ申請人署名捺印スヘシ

圖面ハ總テ墨引、墨字ト爲シ若シ登記ノ目的外ナル建物アルトキハ其圖面ハ朱引、朱字ト爲スヘシ

圖面ハ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

第四十三條ノ二 共同擔保目録ハ附録第九號雜形ニ依リ美濃紙ヲ以テ之ヲ

調製スヘシ
第四十三條ノ三 申請人ハ共同擔保目録ノ表紙ニ不動産共同擔保目録ト記載シ之ニ署名捺印スヘシ
 共同擔保目録ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ
 前二項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル
第四十三條ノ四 共同擔保目録ニ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スニハ其表示ノ順序ヲ追ヒテ番號欄ニ番號ヲ附記スヘシ
第四十三條ノ五 質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ先順位ノ質權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ申請書ニ其旨ヲ記載スヘシ
第四十三條ノ六 信託原簿ハ附錄第十號雜形ニ依リ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ
第四十三條ノ七 信託原簿用紙中ノ或欄カ記載スヘキ餘白ナキトキハ豫備欄ニ記載ヲ爲スヘシ
第四十三條ノ八 信託原簿用紙中ノ豫備欄カ記載スヘキ餘白ナキトキハ申請人ハ附錄第十一號雜形ノ豫備欄用紙ヲ編綴シ之ニ記載ヲ爲スヘシ
第四十三條ノ九 第四十三條ノ三ノ規定ハ信託原簿ニ之ヲ準用ス
第四十四條 登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ニシテ且登録稅法第二條第一項第七號、第十二號乃至第十四號、第十六號、第十九號但書及ヒ第二十二號但書ノ規定ニ依リ登録稅ヲ納付スヘキ場合ニ於テ數個ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數箇ノ不動産ニ關スル權利ノ登記ヲ申請スルトキハ最初ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登録稅ノ全額ヲ納付スヘシ
 前項ノ規定ニ從ヒ登録稅ヲ納付シタルトキハ登記官吏ハ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應シ登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但二通以上ノ

證明書
五 登録稅法施行規則第五條ノ六第一號ノ場合ニ於テハ同號ニ該當スルコトノ地方長官ノ證明書及ヒ資金ノ貸付證書又ハ貸付ヲ爲シタル負債整理組合若クハ農村負債整理組合第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ認認シタル貸付證書ノ謄本
六 登録稅法施行規則第五條ノ六第二號又ハ第三號ノ場合ニ於テハ其各號ニ該當スルコトノ地方長官ノ證明書
第四十四條ノ四 登録稅法施行規則第五條ノ四ノ規定ニ依リ登録稅ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ登記ノ申請書ニ大藏大臣ノ認定書ヲ添付スヘシ
第四十四條ノ五 不動産登記法第二百二十二條ノ三ノ規定ニ依リ申請書ニ前ノ登記ヲ表示スルニハ共同擔保目録ノ番號又ハ登記番號及ヒ順位番號ヲ記載スルヲ以テ足ル
第四十四條ノ六 不動産登記法第二百三條ノ三第一項ノ規定ニ依リ當該官廳カ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ囑託書ニ河川法ノ規定ニ依リ河川ノ敷地ト爲リタル旨ヲ記載スヘシ
第四十四條ノ七 法人又ハ外國會社ノ代表者カ不動産ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テ其法人又ハ外國會社ノ登記ヲ受ケタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ申請書ニ不動産登記法第三十五條第一項第五號ノ書面ヲ添付スルコトヲ要セス
第四十四條ノ八 法人又ハ外國會社ノ登記ヲ受ケタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記所ト異ナル場合ト雖モ同時ニ數箇ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ不動産登記法第三十五條第一項第五號ノ書面ハ一箇ノ申請書ノミニ一通ヲ添付スルヲ以テ足ル
 前項ノ場合ニ於テハ他ノ各申請書ニ其旨ヲ附記スヘシ

受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ
 申請人カ他ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添付スヘシ
第四十四條ノ二 數箇ノ不動産ニ關シ登録稅法第十六條ノ三ノ規定ニ依リ登録稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ登記官吏ハ後ニ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應シ課稅價格ヲ記載シタル登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ
 不動産及ヒ他ノ權利ニ關シ登録稅法施行規則第四條及ヒ第四條ノ二ノ規定ニ依リ登録稅ヲ徵收スル場合亦前項ニ同シ
 前條第三項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第四十四條ノ三 登録稅法施行規則第五條又ハ第五條ノ六ノ規定ニ依リ登録稅ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ登記ノ申請書ニ左ノ各號ニ從ヒ附屬書類ヲ添付スヘシ
 一 登録稅法施行規則第五條第一號ノ場合ニ於テハ同號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ證明書及ヒ資金ノ貸付證書又ハ貸付ヲ爲シタル北海道府縣市町村、産業組合若クハ産業組合聯合會ノ認認シタル貸付證書ノ謄本
 二 登録稅法施行規則第五條第二號ノ場合ニ於テハ同號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ證明書及ヒ資金ノ貸付證書又ハ貸付ヲ爲シタル北海道府縣市町村、産業組合若クハ産業組合聯合會ノ認認シタル貸付證書ノ謄本
 三 登録稅法施行規則第五條第三號ノ場合ニ於テハ同條第一號又ハ第二號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ證明書
 四 登録稅法施行規則第五條第四號ノ場合ニ於テハ同條第一號又ハ第二號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ證明書及ヒ資金ノ貸付證書又ハ貸付ヲ受ケタル者ニシテ貸付ノ條件ヲ具備セサルニ至リタルモノナルコトノ地方長官ノ

第四十四條ノ九 前條ノ規定ハ數箇ノ申請書ニ「戶籍吏」ノ書面ヲ添付スル場合ニ之ヲ準用ス
第四十四條ノ十 不動産登記法第六條第一號ノ規定ニ依リテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ登記番號ヲ記載スル外證明書類ヲ添付スルコトヲ要セス
第四十四條ノ十一 申請書ニ添付シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添付スヘシ
 登記官吏カ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ
第四十四條ノ十二 不動産登記法第四條第二項ノ規定ニ依リ管理財產タル旨ノ登記ノ囑託書ニハ管理人ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ管理人ノ改任ノ登記ノ表示ノ變更ノ登記ハ本人ヨリ之ヲ申請スヘシ
第四十四條ノ十三 不動産登記法第四條第三項ノ規定ニ依リ登記ノ申請書ニハ管理人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ
第四十四條ノ十四 不動産登記法第四條第三項ノ規定ニ依リ取得ノ登記及ヒ管理財產タル旨ノ登記ノ申請ハ同一ノ申請書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得管理財產ノ移轉ニ因リテ管理終了スル場合ニ於テ其移轉ノ登記及ヒ管理終了ニ因ル登記抹消ノ申請ニ付キ亦同シ
第四十四條ノ十五 管理財產ノ移轉其他ノ處分ニ因ル登記ノ申請書ニハ宮内大臣ノ認可書ヲ添付スヘシ
第四十四條ノ十六 債權ノ分割ニ因ル抵當權ノ變更ノ登記ヲ申請スル場、ニ於テハ申請書ニ分割セラレタル各債權ノ額ヲ記載スヘシ

第二編 民事 第九章 登記 不動産登記法施行細則

第四十四條ノ十六 債権ノ分割ニ因ル抵當權ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ分割セラレタル各債権ノ額ヲ記載スヘシ

第四十四條ノ十七 抵當證券交付ノ附記登記アル抵當權ニ付キ移轉其他ノ登記ヲ申請スル爲メ登記原因ヲ證スル書面トシテ抵當證券ヲ提出スル場合ニハ申請書副本ヲモ提出スヘシ

第四十四條ノ十八 抵當證券交付ノ附記登記ノ抹消ヲ申請スルニハ不動産登記法第四十六條第二項ノ規定ニ準シ申請書ニ抵當證券又ハ除權判決ノ謄本ヲ添付スヘシ

第四十五條 不動産登記法第四十四條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記済證力減失シタル旨ヲ記載スヘシ

第四十六條 不動産登記法第四十四條ニ掲ケタル書面ニハ左ノ諸件ヲ記載シ保證人署名捺印スヘシ

一 登記ヲ受クヘキ不動産ノ表示及ヒ登記ノ目的

二 登記義務者ノ人違ナキコト

三 保證人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號

四 保證人ノ住所、年齢

五 年月日

第四十六條ノ二 明治三十四年勅令第七十九號第一條第二項及ヒ第一條ノ二ノ規定ニ依リ土地ノ所有權ヲ取得シタル者カ所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ永代借地券ノ抹消ニ因リ所有權ヲ取得シタルモノナル旨ヲ記載スヘシ

第四十六條ノ三 登録税法第十九條ノ五ノ規定ニ依リ價格ヲ認定シタルトキハ之ヲ申請書ニ記載シ且書面又ハ口頭ヲ以テ告知スヘシ

第四十六條ノ四 評價ノ請求ヲ爲サントスル者ハ其請求書ニ登記官吏ノ指示シタル費用ノ豫納額ニ相當スル印紙ヲ貼附シテ之ヲ差出スヘシ

第四十六條ノ五 登録税法第十九條ノ六ノ規定ニ依ル評定價格及ヒ課税標準價格ハ遅滞ナク書面ヲ以テ之ヲ評價請求者ニ告知スヘシ

前項ノ告知書ニハ評價費用額ヲ記載シ且評價費用ノ豫納額ニ不足アルトキハ其不足額ヲ遅滞ナク納付スヘキ旨ヲ記載スヘシ

第四十六條ノ六 課税標準價格確定シタルトキハ登記官吏ハ申請書ニ其價格及ヒ登録税額ヲ記載スヘシ

第四十六條ノ七 登記申請人カ其負擔ヲ超エテ納付シタル登録税額及ヒ評價費用額ノ還付ヲ請求シタルトキハ登記官吏ハ遅滞ナク其請求書ヲ地方裁判所長ニ送付シ且事件ヲ表示シテ左ノ事項ヲ報告スヘシ

一 申告價格、認定價格、評定價格及ヒ確定價格

二 既納及ヒ確定ノ登録税額

三 豫納及ヒ確定ノ評價費用額

四 還付ヲ要スル金額

五 還付ヲ受クヘキ者ノ氏名、住所

第三章 登記手續

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ遅滞ナク申請ニ關スル總テノ事項ヲ調査スヘシ

第四十八條 登記番號ハ不動産登記法施行ノ日ヨリ更ニ新ナル番號ヲ附スヘシ

第四十九條 表示欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及ヒ表示欄ニ縱線ヲ劃シ事項欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及ヒ事項欄ニ縱線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

假登記ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縱線ヲ劃シ其左側ニ本登記ヲ爲シ得ヘキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及ヒ事項欄ニ縱線ヲ劃スヘシ

第五十條 登記ノ申請書ニ圖面ヲ添付シタル場合ニ於テハ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ圖面綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ

第五十一條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第五十二條 不動産登記法第七十六條第一項ノ場合ニ於テハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコトヲ附記シ前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字ヲ追記スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條 不動産登記法第五十一條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ記載シ氏名、住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ全員ノ氏名、住所ヲ記載シ豫備欄ニ登記番號、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第五十四條 共同人名簿ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所等ヲ記載シタルトキハ氏名、住所欄及ヒ持分欄ニ於ケル縱線ヲ番號欄及ヒ豫備欄ニ延長シテ餘白ト分界スヘシ

登記原因ニ持分ノ定ナキトキハ持分欄ニハ朱線ヲ交又スヘシ

第五十五條 共同人名簿ニ記載シタル登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所ノ變更又ハ持分ノ移轉若クハ變更ニ付キ登記簿ニ登記ヲ爲シタルトキハ人名簿中豫備欄ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第五十六條 前條ノ場合ニ於テ豫備欄ニ餘白ナキトキハ新ニ番號欄ニ前番

第二編 民事 第九章 登記 不動産登記法施行細則

第六八五

第六八五

第六八五

第六八五

第六八五

第六八五

第五十七條ノ六 共同擔保目録用紙中豫備欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其目録ニ繼續用紙ヲ編綴シ之ニ契印ヲ爲スヘシ

第五十七條ノ七 不動産登記法第六十三條ノ二第一項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱、許可ノ年月日及ヒ登記ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第五十七條ノ八 信託ノ登記ヲ爲ストキハ信託原簿ノ番號ヲ記載スヘシ
第五十七條ノ九 不動産登記法第四條ノ五、第百二十七條ノ二及ヒ第百四十三條ノ二第一項第二項ノ規定ニ依ル登記ノ申請アリタルトキハ其登記ハ登記用紙中同一順位ノ事項欄ニ之ヲ爲シ縱線ヲ以テ各登記ヲ分界スヘシ

第五十七條ノ十 信託原簿ノ記載ヲ變更スヘキトキハ登記官吏ハ附録第十二號雛形ノ變更欄用紙ヲ編綴シテ契印ヲ爲シ之ニ記載ヲ爲スヘシ
第五十七條ノ十一 信託原簿ノ變更欄ニ記載ヲ爲シタルトキハ縱線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第五十八條 登記シタル權利ノ順位ヲ讓渡シ又ハ拋棄シタル場合ニ於テ變更登記ヲ爲シタルトキハ其權利ノ登記ノ順位番號ノ左側ニ變更登記ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第五十九條 附記登記ヲ爲シタルトキハ主登記ノ順位番號ノ左側ニ附記番號ヲ記載スヘシ

第六十條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルニ因リ登記回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ前登記ノ登記簿ニ不動産登記法第六十條第一項ノ手續ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第六十一條 不動産登記法第四十九條ノ五ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲

ス場合ニ於テハ其事由及ヒ登記ノ年月日ヲモ記載スヘシ
第六十二條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定ニ因リ登記ヲ爲シタルトキハ登記所ハ速ニ其旨ヲ他ノ登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ見出帳中備考欄ニ其通知事項ヲ記入スヘシ
第六十三條 地役權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク其登記所ニ變更又ハ消滅ノ事由及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スヘシ
第六十三條ノ二 不動産登記法第四十六條ノ二ノ申請アリタル場合ニ於テ表示欄ニ登記ヲ爲スニハ債權者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ不動産登記法第二十八條ノ三及ヒ第百三條ノ二ノ規定ニ依ル登記ニ之ヲ準用ス
第六十三條ノ三 債權ノ分割ニ因ル抵當權ノ變更ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第六十三條ノ四 第四十四條ノ十七ノ規定ニ依リ申請書副本ノ提出アリタル場合ニ於テハ不動産登記法第六十條第一項ノ記載ハ其申請書副本ニ之ヲ爲スヘシ

第六十三條ノ五 第四十四條ノ十八ノ申請ニ基キ抵當證券交付ノ附記登記ヲ抹消スル場合ニ於テ其抵當證券作成ノ附記登記アルトキハ登記官吏ハ之ヲモ抹消スヘシ

(台三)

第六十四條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ表示欄ニ閉鎖ノ事由及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹スヘシ

第六十五條 不動産登記法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十六條 不動産登記法第四十七條第二項ノ受領證ハ登記簿ヲ交付スルトキ之ヲ還納セシムヘシ

還納ヲ受ケタル受領證ハ之ヲ保存スヘシ

第六十七條 不動産登記法第十二條第二項ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 申請人ノ氏名、住所
- 二 申請人カ登記官吏ナルコト又ハ登記官吏ノ妻若クハ登記官吏ノ四親等内ノ親族ナルコト
- 三 登記ヲ爲スヘキ不動産ノ表示及ヒ登記ノ目的
- 四 申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號
- 五 立會人ノ氏名、住所及ヒ年齢
- 六 立會人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號

第六十八條 不動産登記法第十一條第一項ノ通知ニハ土地所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、段別若クハ坪數、申請書受附ノ年月日、登記ノ目的及ヒ申請人ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ
前項ノ通知ハ登記ヲ完了シタル日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スヘシ但地租納期開始前十五日内ハ其都度通知ヲ爲スヘシ

第六十九條 登記官吏カ不動産登記法第二十九條、第百三十一條又ハ第百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ不動産ノ表示、登記原因

其日附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及ヒ登記簿ノ旨ヲ不動産ノ所有者ニ通知スヘシ但第百三十一條又ハ第百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ所有權以外ノ權利者ニモ其通知ヲ爲スヘシ

第六十九條ノ二 不動産登記法第四十九條ノ二第一項ノ通知ハ同法第四十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ亦之ヲ爲スヘシ

第六十九條ノ三 不動産登記法第四十九條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ完了シタル事件ノ表示及ヒ事件カ登記所ノ管轄ニ屬セサルコト若クハ登記スヘキモノニ非サルコトヲ記載スヘシ

第七十條 不動産登記法第二十八條ノ三、第六十條ノ二、第六十一條、第六十三條乃至第六十三條ノ三、第七十五條第一項、第百三條ノ二、第百二十七條ノ二、第百四十九條ノ二第一項、第百五十三條第二項及ヒ本令第六十九條、第六十九條ノ二ノ通知ハ郵便其他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第七十一條 不動産登記法第九條第一項ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ管轄ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ニ記載シタル登記所ノ名稱ヲ變更スヘシ

同法第五十九條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ行政區畫若クハ字又ハ其名稱ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ニ記載シタル行政區畫若クハ字又ハ其名稱ヲ變更スヘシ

第七十一條ノ二 第四十六條ノ二ノ申請アリタル場合ニ於テ永代借地登記簿ノ用紙中永代借地權ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル登記アリテ其登記カ未タ抹消ニ保ラサルトキハ登記官吏ハ普通登記簿ニ所有權ノ登記ヲ爲

ス

シタル上他ノ權利ニ關スル登記ヲ移スヘシ
第七十一條ノ三 前條ノ規定ニ依リ他ノ權利ニ關スル登記ヲ普通登記簿ニ移ストキハ永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記ヲ普通登記簿ニ移ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載スヘシ
 前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ前登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ
第七十一條ノ四 登記官吏カ其職務上擔保附社債信託法第九條第十四號ノ規定ニ依リテ過料ニ處セラレヘキ者アルコトヲ知りタルトキハ遅滞ナク其事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スヘシ

附則

第七十二條 不動産登記法第六十三條ノ規定ニ依リ舊登記簿ヨリ登記ヲ移シタルトキハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ舊登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ
 前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊登記簿表題部取消欄ニ新登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨、新登記番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ
第七十三條 不動産登記法第六十三條ノ登記ヲ爲ササル不動産ニ付キ其滅失又ハ其不動産ニ關スル權利ノ抹消ノ登記ノ申請アリタルトキハ舊登記簿ニ其登記ヲ爲スヘシ
第七十四條 受附番號ハ明治三十二年分ニ限リ六月十六日ヨリ之ヲ更新シ十二月三十一日ニ止ムヘシ
第七十五條 舊登記簿ノ際本ハ舊際本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ
第七十六條 明治二十六年三月司法省令第三號ニ依リ既ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ更ニ之ヲ提出スルコトヲ要セス
附則 (大正二年司法省令第十五號)
第一條 本令ハ大正二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
第二條 従前ノ規定ニ依ル登記簿ノ際本ハ従前ノ規定ニ依ル際本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ
第三條 従前ノ規定ニ依ル登記簿ヨリ改正登記簿ニ建物ニ關スル登記ヲ移

シ又ハ轉寫スル場合ニ於テハ敷地ノ地目及ヒ段別若クハ坪數ハ之ヲ移シ又ハ轉寫スルコトヲ要セス舊登記簿ヨリ従前ノ規定ニ依ル登記簿又ハ改正登記簿ニ建物ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキ亦同シ
第四條 前條ノ規定ハ舊建物登記簿及ヒ従前ノ規定ニ依ル建物登記簿ノ際本又ハ抄本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス
第五條 不動産登記法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ本令施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ改正登記簿ニ登記ヲ爲ストキハ第七十二條ノ規定ヲ準用ス
第六條 本令施行前ニ調製シタル土地登記見出帳及ヒ土地分合登記見出帳ハ當分ノ内其儘之ヲ使用スルコトヲ得
第七條 土地臺帳際本及ヒ土地異動通知書綴込帳ハ司法大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ廢毀スルコトヲ得
 區裁判所出張所カ前項ノ許可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

附錄第一號

土地(建物)登記簿	區裁判所
紙數表紙ヲ除キ	枚
地方裁判所長	

登記番號	第	表	表示番號
(示表産動不)	部	題	表示番號
			表示欄
			表示番號
			表示欄
			表示番號
			表示欄

甲		順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

丁

(權外權所 利ノ以有) 區

(權有所) 區

丁

	乙
	番順位
	事項欄
	番順位
	事項欄
	番順位
	事項欄
	番順位
	事項欄

附録第二號

土地(建物)共同人名簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ
枚
地方裁判所長

番號											
											申請人ノ氏名、住所
											持分
											豫
											備

番號

番號											
											申請人ノ氏名、住所
											持分
											豫
											備

附録第三號

土地登記見出帳

區裁判所

物件ノ表示	申告價格	認定價格	評定價格	稅法第九條ノ價格ニ依ル價格	確定價格	評價費用豫納額	確定稅額	差稅額	登錄稅額	申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號	登記ノ原因及ヒ目的	評價請求者ノ氏名、住所及ヒ請求ノ年月日	評價費用確定額
													豫備

附錄第八號 (用紙厚紙五寸横一寸)

印鑑

郡市町村番地

氏名

何年何月生

(注意) 法人ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ事務所又ハ營業所ノ所在地、法人ノ名稱並ニ代表者ノ資格ヲ記載スヘシ

附錄第九號

不動産共同擔保目錄

登記簿ノ冊數	登記番號	登記順位番號	番號	擔保ノ目的タル權利ノ表示	豫備

備	豫
備	豫

備	豫
備	豫

更	變
更	變

更	變
更	變

○永代借地權ニ關スル件

明治三十四年九月二十一日 (内務、司法、外務大臣副署)
勅令第七十八號

第一條 永代借地ノ所在地ヲ管轄スル地方廳ニ於テ永代借地權ノ移轉ヲ地券ニ記載スルコトノ申請ヲ受ケタルトキ又ハ永代借地權ニ關スル届出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ永代借地ノ所在地ヲ管轄スル登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

永代借地權ノ移轉ニ關スル通知ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ通知書ニ永代借地券ノ謄本ヲ添付スヘシ但シ既ニ通知ヲ爲シタル永代借地ニ關シ更ニ通知ヲ爲ス場合ニ於テハ地券ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ通知書ニ永代借地ノ表示、當事者ノ氏名、國籍、住所、權利移轉ノ原因及其ノ年月日ヲ記載スヘシ

第二條 永代借地及永代借地ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ付テハ特別ノ登記簿ヲ設ケ之ヲ登記所ニ備フヘシ

第三條 登記簿ハ永代借地登記簿及借地建物登記簿ノ二種トス

第四條 永代借地登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙丙丁戊ノ五區ニ分チ尙表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各永代借地ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ永代借地ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ永代借地權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ地上權、永小作權及此等ノ權利ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ地役權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ先取特權、質權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

戊區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス

第六條 永代借地權ノ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第七條 借地建物登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙丙丁ノ四區ニ分チ尙表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各建物ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ建物及附屬建物ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ地役權ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ先取特權、質權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス

第六條 未登記ノ永代借地權ヲ目的トスル權利ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ永代借地權ノ證明ニ足ルヘキ書面ヲ添付スヘシ

第七條 登記所ニ於テ永代借地權ノ移轉ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ其ノ永代借地權ノ既登記ナルト未登記ナルトヲ問ハズ職權ヲ以テ永代借地權ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘシ

既登記ノ永代借地權ニ關スル届出ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ登記ニ變更ヲ生スヘキトキハ職權ヲ以テ變更ノ登記ヲ爲スヘシ

未登記ノ永代借地權ヲ目的トスル權利ニ付登記ノ申請アリタルトキハ職權ヲ以テ永代借地權ノ登記ヲ爲スヘシ

第八條 明治三十二年勅令第二百五十一號ヲ以テ定メタル期日前ニ永代借地及永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關シ外國領事廳ニ於テ爲シタル登記ハ領事廳ヨリ登記簿又ハ其ノ謄本ヲ登記所ニ引渡シタルモノニ限り本令ニ依リテ爲シタル登記ト同一ノ效力ヲ有ス

第九條 明治三十二年勅令第三百二十九號ニ依リ登記セラレタル不動産ニ付本令施行ノ後登記ヲ爲ス場合ニ於テハ本令ニ依リテ備ヘタル登記簿ノ用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區位番號欄及事項欄ニ舊登記簿ノ用紙ニ爲シタル登記ヲ移シ舊登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

第十條 前項ノ規定ハ外國領事廳ニ於テ登記セラレタル不動産ニ付本令施行ノ後登記ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 永他借地權ハ他ノ名稱ニテ登記セラレタルモノト雖前條ノ規定ニ依リ登記ヲ移ス場合ニ於テハ之ヲ永代借地權ト記載スヘシ

第十二條 永代借地權又ハ永代借地ノ上ニ存スル建物ノ所有權ヲ目的トスル權利ニ付登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ權利第四條又ハ第五條ノ規定ニ適合セザルトキハ登記用紙ノ各區中其ノ權利ト最モ類似スル權利ヲ登記スヘキ區ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

附則
第十二條 本令ニ規定セザル事項ニ付テハ不動産登記法ノ規定ヲ準用ス

○永代借地及同地上建物ニ關スル登記取扱手續

明治三十四年九月二十一日
司法省令第十五號

第十三條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 明治三十二年勅令第三百二十九號ハ之ヲ廢止ス

第一條 永代借地及永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ヲ準用ス

第二條 永代借地登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ永代借地建物登記簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 外國領事廳ノ登記簿ノ謄本及ヒ其譯文ハ之ヲ登記所ニ備フヘシ

第四條 登記ノ申請書ニ添付スル書面カ外國語ヲ以テ記載シタルモノナルトキハ申請人ハ之ニ其譯文ヲ附スヘシ

第五條 外國領事廳ノ登記簿ニ移スニハ其譯文ニ依ルヘシ

第六條 外國領事廳ノ登記簿ニ移シタルトキハ外國領事廳ノ登記簿ノ謄本及ヒ其譯文ニ登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨、登記番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第六條 明治三十四年勅令第七十九號第二條ニ依リ地方廳ヨリ永代借地券ノ抹消ノ通知アリタルトキハ登記官吏ハ永代借地登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其登記用紙中永代借地權ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル登記アルトキハ表示欄ニ地券抹消ノ通知アリタル旨ヲ記載シ置キ他ノ權利ニ關スル總テノ登記ニ付キ抹消ノ登記ヲ爲シタル後又ハ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ因リ他ノ權利ニ關スル登記ヲ普通登記簿ニ移シタル後登

記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第七條 前條第一項ノ通知アリタル場合ニ於テ永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ其登記ヲ普通登記簿ニ移シ前登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

附則

第八條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九條 明治三十二年司法省令第四十一號外國人又ハ外國法人ノ權利ノ目的タル不動産ニ關スル登記取扱手續ハ之ヲ廢止ス

附録第一號

永代借地登記簿

區 裁判所

紙數表紙ヲ除キ
地方裁判所長 枚

登記番	第	號
(示表地借代永) 部 題 表		
表示	表示	欄
表示	表示	欄
表示	表示	欄
表示	表示	欄

永代借地登記簿

甲 區 (權地借代永)		乙 區 (權小ヒ權地作永及上)	
番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄

永代借地登記簿

丙 區 (權 役 地)		丁	
番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄

借地 建物登記簿

甲 (權有所) 區		乙 (權役地) 區	
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄

借地 建物登記簿

丙 區	
順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄

借地 建物登記簿

丁 (先取特權質權及抵當權) 區		區 (借賃) 區	
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄
順位 番號	事項欄	順位 番號	事項欄

○立木登記規則

明治四十三年四月二十六日
司法省令第五號

改正 大正元年第一號、五年第二六號、
昭和七年第二號

第一條 明治四十二年法律第二十二號ニ依ル立木ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 立木登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 立木共同人名簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 立木登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リテ之ヲ調製スヘシ

第五條 立木登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ立木ノ存スル土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ其ノ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及登記番號ヲ記入シ若樹木ノ生立スル部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號ヲモ記入スヘシ但シ立木ノ存スル土地カ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其ノ少ナキ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

第六條 第四條ニ定メタル雛形ノ見出帳ヲ使用スルヲ不便トスル地方ニ在リテハ地方裁判所長ハ特別ノ見出帳ヲ調製セシムルコトヲ得

第七條 前項ノ見出帳ノ雛形、之ヲ用ウヘキ登記所及其ノ記入手續ニ付テハ豫メ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 不動産登記法施行細則第三十條及第三十一條ノ規定ハ立木登記簿

ノ際本若ハ抄本ノ交付又ハ立木登記簿若ハ附屬書類ノ閲覧ノ請求ニ之ヲ準用ス但シ樹木ノ生立スル部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ申請書ニ其ノ名稱又ハ番號ヲモ記載スヘシ

第七條ノ二 樹種ヲ記載スルニハ平假名ヲ用フヘシ
第八條 樹木ノ數量ハ材積及本數ヲ記載スヘシ但シ三十年生以下ノ樹木ニ在リテハ本數ヲ記載スルヲ以テ足ル

第九條 一集團ニ二種以上ノ樹木生立スル場合ニ於テハ各種毎ニ材積及本數ヲ記載スヘシ
第十條 樹齡ハ各種毎ニ何年生ト記載スヘシ但シ植栽ニ依リ生立セシメタル樹木ノ集團ニ非サルモノニ付テハ各種毎ニ何年生以上何年生以下ト記載スルヲ以テ足ル

第十一條 樹種、數量及樹齡ヲ申請書ニ記載スル場合ニ於テハ之ヲ調査シタル年度ヲ記載スヘシ
第十二條 既登記ノ地上權者カ立木ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ地上權ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第十三條ノ二 昭和七年勅令第十二號別表中ニ掲ケサル樹種又ハ七種ヲ超ニル種類ノ樹木ヲ以テ組成セララルル樹木ノ集團ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニハ申請書ニ其ノ集團カ植栽ニ依リ生立セシメタル樹木ノ集團ナルコトヲ證スル主務官廳ノ書面ヲ添附スヘシ

第十四條ノ三 合併又ハ變更ノ結果立木カ昭和七年勅令第十二號別表中ニ掲ケサル樹種又ハ七種ヲ超ニル種類ノ樹木ヲ以テ組成セララルル樹木ノ集團トナルニ至ル場合ニハ其ノ合併又ハ變更ノ登記ノ申請書ニ合併又ハ變更前ノ立木カ植栽ニ依リ生立セシメタル樹木ノ集團ナルコトヲ證スル主務官廳ノ書面ヲ添附スヘシ

第十五條ノ一 一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル
第十六條 第十五條ノ添附書面ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ且之ニ丁數ヲ附スヘシ

第十七條 第十五條ノ場合ニ於テ登記官吏カ乙區事項欄ニ抵當權設定ノ登記ヲ爲ストキハ施業方法ヲ記載シタル添附書面ノ提出アリタル旨ヲ記載シ登記ノ末尾ニ其ノ書面ノ綴込帳ノ冊數及丁數ヲ記載シ且添附書面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號、登記番號及順位番號ヲ記載スヘシ

第十八條 前項ノ記載ヲ爲シタルトキハ添附書面ニ掲ケタル施業方法ハ乙區事項欄ニ記載セラレタルモノト看做ス
第十九條 添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十條 第十六條乃至第十八條ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス
第二十一條 登記官吏カ添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ添附書面中變更シタル事項ヲ朱抹シ其ノ餘白ニ變更ヲ記載シタル書面ノ冊數及丁數ヲ記入スヘシ

第二十二條 前三條ノ規定ハ添附書面ニ掲ケタル事項ノ更正ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則 (明治四十二年法權第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令ハ明治四十二年五月二十日ヨリ施行)

附則 (大正五年司法省令第二十六號)
本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル帳簿ハ本令施行後ト雖之ヲ使用スヘシ
見出帳ハ之ヲ改製スル迄ハ仍從前ノ體形ニ依ルヘシ

第二編 民事 第九章 登記 立木

務官廳ノ書面ヲ添附スヘシ
第十三條 登記ノ申請書ニ添附スヘキ圖面ハ附錄第四號雜形ニ準シテ調製シ之ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

一 立木所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
二 地目及段別
三 樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合ニ於テハ其ノ部分ノ位置及段別、其ノ部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號

四 立木ノ存スル土地又ハ土地ノ部分ノ境界ニ道路、河川、湖海、沼池其ノ他境界ノ目標タルヘキモノアルトキハ其ノ名稱及位置
五 鄰接地ノ番號並地目及其ノ所有者ノ氏名
六 立木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ存スル場合ニ於テハ其ノ部分ニ鄰接スル他ノ部分ノ表示
七 鄰接スル土地又ハ土地ノ部分ニ生立スル樹木ノ所有者カ土地ノ所有者ト異ナルトキハ其ノ樹木ノ所有者ノ氏名

第十四條 市區町村ニ地方長官ノ認可ヲ得テ作製シタル立木ニ關スル實測圖面及公簿ノ備アルトキハ登記ノ申請書ニ其ノ圖面及公簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ此ノ圖面ハ前條ニ掲ケタル事項ヲ具備スルコトヲ要ス
第十四條ノ二 登記所カ市區町村ヨリ實測圖面ノ謄本ノ送付ヲ受ケタルトキハ便宜整理シ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第十五條 抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ記載スヘキ施業方法カ詳密ニ涉ルトキハ申請書ノ記載ニ代ヘ其ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ
第十六條 前條ノ添附書面ニハ申請人之ニ署名捺印シ且其ノ書面カ數葉ニ涉ルトキハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ登記權利者又ハ登記義務者カ多

附則 (昭和七年司法省令第二號)
本令ハ昭和七年二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ニ登記シタル立木ノ樹種及樹齡ノ記載ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

附錄第一號

立木登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

附錄第三號

立木登記見出帳

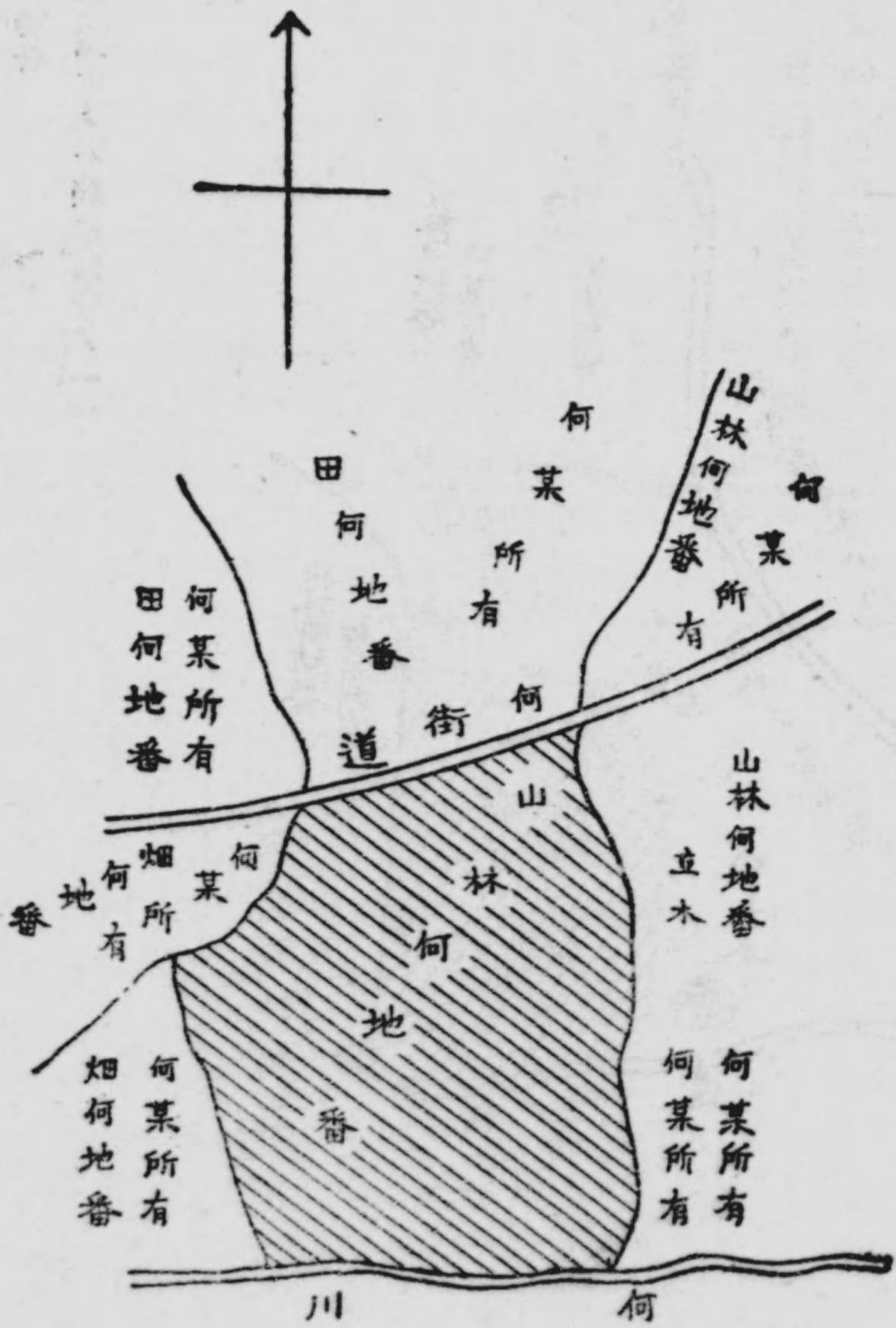
區裁判所

部		部	
	存続本		存続本
	番		番
	符號		符號
	土地ノ番號		土地ノ番號
	樹木ノ生立スル部分ノ名稱		樹木ノ生立スル部分ノ名稱
	登記簿		登記簿
	冊數丁數		冊數丁數
	登記番號		登記番號
	地上權ノ順位番號		地上權ノ順位番號
	備考		備考

附錄第四號 (用紙美濃)

樹木力一筆ノ土地ノ全部ニ生立スル場合

何國何郡何町(村)大字何番
山林段別何町何段何畝何歩



樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合

(實測ナラハ縮尺何分ノ一)

何國何郡何町(村)大字何何
番山林何町何段何畝何歩
内
實測(見込)面積何町何段
何畝何歩



○一定ノ町村又ハ其大字ノ土地登記簿ニ關スル件

明治三十九年七月九日
司法省令第十七號

改正 大正二年第一七號

第一條 一定ノ町村又ハ其大字ノ土地登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ之ヲ調製スルコトヲ得

前項ノ町村又ハ其大字ハ地方裁判所長ノ具申ニ因リ司法大臣之ヲ定ム
第二條 前條ノ土地登記簿ヲ備ヘタル登記所ニハ地上權登記索引簿ヲ備フルコトヲ得

地上權登記索引簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

附錄第一號

土地登記簿

區裁判所

第二編 民事 第九章 登記 一定ノ町村大字ノ土地登記簿

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

地方裁判所長

	土地登記簿	
	丁	

(權外權所) 區 (利ノ以有)	土地登記簿	
	丁	

	土地登記簿	第 號	登記 番號
(權有所) 區		甲	(示表地土) 部 題 表
		番順位 番號	表示 番號
		事項 欄	表示 欄
		番順位 番號	表示 番號
	事項 欄	表示 欄	
	番順位 番號	表示 番號	
	事項 欄	表示 欄	
	丁		

	土地登記簿	乙
		番順位 番號
		事項 欄
		番順位 番號
		事項 欄
	番順位 番號	
	事項 欄	
	丁	

番順位	地段別	登記目	權利者ノ氏名	冊數	丁數	附冊數	附冊丁數	關係位番號	殘段別	備考
一六										
一七										
一八										
一九										
二〇										
二一										
二二										
二三										
二四										
二五										
二六										
二七										
二八										
二九										
三〇										
三一										
三二										
三三										

(合三)

地上權登記索引簿

番順位	地段別	登記目	權利者ノ氏名	冊數	丁數	附冊數	附冊丁數	關係位番號	殘段別	備考
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
四〇										
四一										
四二										
四三										
四四										
四五										
四六										
四七										
四八										
四九										

(合三)

順位 番號	地上權 設定 段別	登記 目 的	權利者ノ氏名	冊數	丁數	附 冊數	丁數	關係 位 番號	殘 段 別	備 考
六五										
六四										
六三										
六二										
六一										
六〇										
五九										
五八										
五七										
五六										
五五										
五四										
五三										
五二										
五一										
五〇										

順位 番號	地上權 設定 段別	登記 目 的	權利者ノ氏名	冊數	丁數	附 冊數	丁數	關係 位 番號	殘 段 別	備 考
六六										
六七										
六八										
六九										
七〇										
七一										
七二										
七三										
七四										
七五										
七六										
七七										
七八										
七九										
八〇										
八一										
八二										
八三										

地上權登記索引簿		登記ノ		權利者ノ氏名		冊數		丁數		附記ノ		關係順		殘段別		備考	
番號	位	地	上	權	目	的	冊	數	丁	冊	數	丁	位	番	號	別	備
八四																	
八五																	
八六																	
八七																	
八八																	
八九																	
九〇																	
九一																	
九二																	
九三																	
九四																	
九五																	
九六																	
九七																	
九八																	
九九																	

○外國人又ハ外國法人ノ物權登記ニ

關スル法律

明治三十二年三月二十日 (總理、外務、司法大臣副署) 法律第七十一號

外國人又ハ外國法人カ改正條約實施前ニ爲シタル不動産又ハ船舶ニ關スル物權ノ得喪及ヒ其變更ニ付登記ヲ爲スヘキ場合及ヒ其登記ノ手續ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

○各省所管不動産登記ノ囑託ニ關スル件

明治三十五年一月十八日 (總理、司法大臣副署) 勅令第五號

各省大臣カ其ノ所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ省令ヲ以テ指定シタル官吏ハ不動産登記法第三十五條第五號ノ書面ヲ提出スルヲ要セス

○內務省令第十三號 (明治三十五年四月十日)

改正 明治三十七年第九號、三十八年第三號、第一九號、四一年第一九號、大正一三年第一一號、第三五號、一四年第七號、昭和三年第三二號、五年第一〇號、第三三號、七年第六號、一〇年第四七號
當省所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ就テハ左ノ官吏ヲ指定ス
警視總監 北海道廳長官 府縣知事 神宮大宮司 造神宮副使 內務大臣 第二編 民事 第九章 登記 各省所管不動産登記囑託

臣官房會計課長 內務省土木出張所長 衛生試驗所長 國立癩療養所長 傷兵院長 北海道廳支廳長

○大藏省令第十五號 (昭和八年六月二十六日)

明治三十五年勅令第五號ニ依リ當省ノ所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス

- | | |
|-----------|-----------|
| 警視總監 | 北海道廳長官 |
| 府縣知事 | 大臣官房會計課長 |
| 營繕管財局總務部長 | 營繕管財局出張所長 |
| 造幣局長 | 稅關長 |
| 稅務監督局長 | 稅務署長 |
| 釀造試驗所長 | 專賣局長官 |
| 地方專賣局長 | 專賣局製作所長 |
| 專賣局研究所長 | 專賣局試驗場長 |
| 內閣印刷局長 | |

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十五年大藏省令第十號ハ之ヲ廢止ス

○陸軍省令第四號 (明治三十五年二月五日)

改正 明治三十七年第三一號、四〇年第七號、四三年第四號

第二編 民事 第九章 登記 各省所管不動産登記囑託

大正四年第八號、五年第六號、八年第三七號、一二年第一六號、一三年第三五號、一五年第二號、昭和五年第六號、九年第六號、一〇年第一〇號

本年勅令第五號ニ依リ當省所管ニ係ル不動産ノ登記囑託ニ關シ左ノ通指定ス

師團經理部長(滿洲駐劄及外地派遣ノ師團ニ在リテハ當該師團經理部留守主計正) 朝鮮軍經理部長 臺灣軍經理部長 關東軍經理部長 陸軍航空本廠會計課長(抵當權ニ限ル) 陸軍造兵廠長官 陸軍築城部部長、同支部長及同出張所長 陸軍築城部本部員ヲ兼動スル要塞司令部員 千住製絨所長 陸地測量部長

○海軍省令第二十一號 (大正九年十月九日)

改正 大正一〇年第一四號、一一年第二二號、昭和七年第一號、一一年第五號

當省所管ニ屬スル不動産ノ登記ノ囑託ニ付テハ其ノ不動産ヲ管理スル海軍省建築局長、海軍建築部長、要港部建築部長、海軍燃料廠長、海軍火藥廠長、海軍燃料廠探炭部長、海軍燃料廠平壤鑛業部長ヲ指定ス 大正二年六月十日 海軍省令第九號ハ之ヲ廢止ス

○司法省令第十九號 (昭和二年九月二十日)

當省所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス

司法大臣官房會計課長

控訴院長(東京控訴院長ヲ除ク)

地方裁判所長(東京、大阪、名古屋、仙臺地方裁判所長ヲ除ク)

刑務所長

少年刑務所長

少年審判所長
少年院長

附則

明治三十六年司法省令第十八號ハ之ヲ廢止ス

○文部省令第十五號 (昭和六年五月十三日)

當省所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス
北海道廳長官、府縣知事、文部大臣官房會計課長、帝國大學總長、官立大學長、文部省直轄諸學校長、帝國圖書館長、氣象臺長、緯度觀測所長、東京科學博物館長、體育研究所長

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年文部省令第三十二號ハ之ヲ廢止ス

○農林省令第二號 (大正十四年四月一日)

改正 昭和二年第二三號、四年第五號、八年第三三號、九年第二五號、一〇年第九號、一一年第一五號

不動産登記囑託ニ關スル代理官指定ノ件左ノ通定ム

大臣官房會計課長、米穀局長、馬政局長官、農事試驗場長、蠶業試驗場長、生絲検査所長、茶業試驗場長、園藝試驗場長、營林局長、國有林產物販賣所長、營林署長、林業試驗場長、水産講習所長、水産試驗場長、畜産試驗場長、獸疫調査所長、種羊場長、種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長及種鶏場長ハ當省所管ニ係ル不動産及船舶登記囑託ニ關シ本官ノ代理官トス

附則

(台三)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○商工省令第二號 (大正十四年四月一日)

改正 昭和三年第二號、第一五號、五年第六號、九年第八號

不動産登記囑託ニ關スル代理官指定ノ件左ノ通定ム

大臣官房會計課長、特許局長官、工業試驗所長、陶磁器試驗所長、絹業試驗所長、花建検査所長、輸出絹織物検査所長、工藝指導所長、鑛山監督局長、燃料研究所長及臨時産業合理局會計課長ハ當省所管ニ係ル不動産及船舶登記囑託ニ關シ本官ノ代理官トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○逓信省令第五十號 (明治四十三年三月二十九日)

改正 大正二年第五四號、八年第五二號、九年第九〇號、第一一〇號、一四年第一九號、第六一號

明治三十五年勅令第五號ニ依リ當省所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ關シ左ノ官吏ヲ指定ス

逓信省經理局長 貯金局長 簡易保險局長 燈臺局長 逓信局長

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十五年二逓信省令第五號ハ之ヲ廢止ス

○逓信省令第五十七號 (昭和七年十二月八日)

明治三十五年勅令第五號ニ依リ當省所管ニ係ル左記不動産ノ登記ノ囑託ニ付テハ各下記ノ官吏ヲ指定ス

第二編 民事 第九章 登記 各省所管不動産登記囑託

(台三)

仙臺飛行場 宮城縣知事

設置用土地

青森飛行場 青森縣知事

設置用土地

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○逓信省令第十九號 (昭和十年六月二十七日)

明治三十五年勅令第五號ニ依リ當省所管ニ係ル左記不動産ノ登記ノ囑託ニ付テハ下記ノ官吏ヲ指定ス

那霸飛行場用地及同飛行場附屬官舎用地 沖繩縣知事

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○鐵道省令第一號 (大正九年六月五日)

改正 大正一三年第一號、昭和二年第四號、六年第一號

明治三十五年勅令第五號ニ依リ當省所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス

鐵道省建設局長 鐵道省改良事務所長

鐵道省工務局長 鐵道省電氣事務所長

鐵道省電氣局長 鐵道局長

鐵道省建設事務所長 鐵道局保線事務所長

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二節 耕地整理 區劃整理

○耕地整理登記令

明治四十二年十月十二日(總理、農商務、勅令第二百三十三號) (司法大臣副署)

改正 大正二年第九二號、四年第八〇號

- 第一條 耕地整理法第三十七條ノ規定ニ依ル土地及建物ニ關スル登記ノ特例ニ付テハ本令ニ依ル
- 第二條 耕地整理ニ依ル土地ニ關スル登記ハ整理施行地區内ノ從前ノ土地既登記ナルカ又ハ從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ既登記ノモノアルトキ換地ニ付之ヲ爲ス整理施行後其ノ上ニ既登記ノ地役權存續スヘキ換地ニ付亦同シ
- 第三條 削除
- 第四條 土地ニ關スル登記ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ整理施行者又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スヘシ
 - 一 從前ノ土地及換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
 - 二 從前ノ土地並換地ノ地目及段別若ハ坪數
 - 三 換地ノ交付ヲ受ケタル者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所
- 四 耕地整理ニ因リテ登記ヲ申請スル旨
- 五 登記所ノ表示
- 六 年月日
- 第五條 換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スル場合ニ於テハ申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ尙地役權換地ノ一部ニ付存スルトキ

ハ其ノ部分ヲ表示シタル圖面ヲ添附スヘシ

- 一 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
- 二 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ地目及段別若ハ坪數
- 三 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ所有者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所
- 四 地役權換地ノ一部ニ付存スルトキハ其ノ部分及符號
- 第六條 從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ申請書ニ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ交付シタル換地ノ部分及其ノ部分ノ符號ヲ記載スヘシ
- 第七條 從前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付セサル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ
- 第七條ノ二 從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ未登記ノモノアルトキハ申請書ニ其ノ未登記ナル旨ヲ記載スヘシ未登記ノ從前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ換地ニ地役權ノ登記アルトキ亦同シ
- 第八條 耕地整理ニ依ル土地ノ登記ノ申請ハ整理施行地區ノ全部ニ付同一ノ申請書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區毎ニ之ヲ爲スヘシ
- 前項ノ規定ハ換地ニ付權利ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ必要トスルトキ其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ケス
- 前項ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ事由ヲ記

(台三)

載スヘシ

整理施行地區カ二以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ノ申請ニ關シテハ司法大臣ノ定ムル所ニ依ル

- 第八條ノ二 耕地整理ニ依ル土地ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テ必要アルトキハ整理施行者ハ登記名義人又ハ相續人ニ代リ土地ノ表示若ハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ申請スルトコトヲ得
- 第八條ノ三 不動産登記法第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及第六十三條ノ三ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス
- 第八條ノ四 第八條ノ二ノ場合ニ於テハ登記原因及登記ノ目的カ異ナルトキト雖同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルトコトヲ得
- 第八條ノ五 耕地整理法第三十條第四項ノ告示アリタル後ハ整理施行地區内ノ土地ニ關シテハ耕地整理ニ因ル登記ヲ爲シタル後ニ非サレハ他ノ登記ヲ爲スコトヲ得但シ申請人確定日附アル書面ニ依リ告示前ニ登記原因ノ生シタルコトヲ證明シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第九條 從前ノ土地一箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スヘシ
- 從前ノ土地ノ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地中其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タリシ部分ヲ指定シテ交付シタル換地ノ部分ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ變更シタル旨ヲ附記シ之ニ相當スル從前ノ表示ヲ朱抹スヘシ
- 換地ニ地役權ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙

(台三)

- 中乙區事項欄ニ其ノ登記ヲ移シ其ノ登記ノ末尾ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ但シ耕地整理ニ依リ其ノ登記中ニ記載シタル要役地若ハ承役地ノ表示、地役權ノ範圍又ハ地役權ノ存スル土地ノ部分ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ變更ヲ附記シ之ニ相當スル從前ノ表示ヲ朱抹スヘシ
- 前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ地役權ニ關スル登記アル土地ノ登記用紙中乙區事項欄ニ耕地整理ニ因リテ地役權ニ關スル登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示、其ノ番號及登記何號ニ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ前ノ登記ヲ朱抹シ捺印スヘシ
- 第十條 從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地中其ノ一箇ノ登記用紙ニ於ケル表示欄ニ換地及其ノ登記番號ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スヘシ
- 前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示、其ノ番號及登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ
- 第十一條 前條ノ場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ他ノ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其ノ登記ハ從前ノ數箇ノ土地中某土地ノミニ關スル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ
- 從前ノ數箇ノ土地中ニ未登記ノモノアルトキハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ其ノ土地ヲ表示シテ所有權保存ノ登記ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ
- 換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關

スル登記アルトキハ登記官吏ハ其ノ土地ヲ指定シテ交付シタル換地ノ某部分ノ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

他ノ從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ移シ其ノ土地ヲ指定シテ交付シタル換地ノ某部分ノ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第十一條ノ二 前條ノ規定ニ依リ他ノ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權其ノ他ノ權利ニ關スル登記ヲ移シタル場合ニ於テ登記原因、其ノ日附、登記ノ目的及受附番號カ同一ナルトキハ從前ノ土地ノ登記用紙ニ於ケル登記番號ノミヲ轉寫シ各登記番號ノ土地ニ付同一事項ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第十二條 從前ノ土地一箇ニ對シ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ一箇ノ換地ノ表示ヲ爲シ他ノ換地ニ付登記何號ニ登記ヲ爲シタル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スヘシ

從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ相當區事項欄ニ他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其ノ權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第十三條 前條ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ他ノ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ他ノ換地ニ付登記何號ニ登記ヲ爲シタル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

權利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記中換前ノ土地ノ表示ヲ朱抹スヘシ

他ノ土地ノ所在地他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク前項ノ登記ヲ其ノ登記所ニ囑託スヘシ

前項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク第一項ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第十八條 耕地整理ヲ施行スル爲國有ニ屬スル道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル場合ニ於テ其ノ不用ニ歸シタル既登記ノ土地ヲ整理施行地ノ所有者ニ交付シタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク其ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第十九條ノ二 第十六條及第十七條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ甲登記所ハ既登記ノ土地ニ付テハ其ノ土地ニ關スル登記簿ノ謄本及附屬書類若ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送シ未登記ノ土地ニ付テハ其ノ未登記ナル旨ヲ乙登記所ニ通知スヘシ但シ登記簿ノ謄本ニハ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫スヘシ

第二十條 前項ノ場合ニ於テ甲登記所ハ從前ノ土地ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第二十條 前條ノ場合ニ於テ從前ノ土地一箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタルトキハ乙登記所ハ換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記ノ末尾ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號及耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第二編 民事 第九章 登記 耕地整理

地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

換地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ其ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ轉寫シ且所有權以外ノ權利ニ付テハ他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其ノ權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第十四條 第九條第二項乃至第四項ノ規定ハ從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ對シ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 未登記ノ從前ノ土地ニ對スル換地ニ地役權ノ登記アル場合ニ於テハ登記官吏ハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スヘシ

第九條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 從前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付セサル場合ニ於テハ登記官吏ハ土地ノ滅失ト看做シ登記用紙中表示欄ニ換地ヲ交付セサル事由ヲ記載シ土地ノ表示、其ノ番號及登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第十七條 前條ノ場合ニ於テ從前ノ土地他ノ土地ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タリシトキハ他ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地ノ表示ヲ爲シ換地ヲ交付セサル事由ヲ附記シ其ノ土地ト共ニ所有權以外ノ

登記簿ノ謄本ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ登記簿ノ謄本ヨリ其ノ權利及處分ノ制限ニ關スル從前ノ登記ヲ移シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第二十一條 第九條第二項乃至第四項ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ乙登記所ハ換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記ノ末尾ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號及耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第九條第二項乃至第四項、第十一條及第十二條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地一箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ乙登記所ハ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記ノ末尾ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號及耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第九條第二項乃至第四項及第十三條第二項、第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條ノ二 第十條及第二十二條ノ規定ハ甲乙兩登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條ノ三 第十二條及第二十三條ノ規定ハ甲登記所ノ管轄ニ屬スル

從前ノ土地一箇ニ對シ甲乙兩登記所ノ管轄内ニ於テ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ町村其ノ他登記簿ヲ分設シタル甲登記區畫ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ換地トシテ乙登記區畫ニ屬スル土地ヲ交付シタルトキハ登記官吏ハ乙登記區畫ノ登記簿ニ其ノ換地ニ關スル登記ヲ爲スヘシ

第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
乙登記區畫ノ登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ甲登記區畫ニ屬スル從前ノ土地ノ登記用紙ハ之ヲ閉鎖スヘシ

第二十四條ノ二 第二十三條ノ二及第二十三條ノ三ノ規定ハ同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ町村其ノ他登記簿ヲ分設シタル甲乙兩登記區畫ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ換地トシテ乙登記區畫ニ屬スル一箇ノ土地ヲ交付シ又ハ甲登記區畫ニ屬スル從前ノ土地一箇ニ對シ換地トシテ甲乙兩登記區畫ニ屬スル數箇ノ土地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條ノ三 換地ニ付登記ヲ爲ス場合ニ於テ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權其ノ他ノ權利ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキハ現ニ效力ヲ有スル登記ノミヲ移シ又ハ轉寫スルコトヲ得

第二十五條 從前ノ土地舊登記簿ニ登記シタルモノナル場合ニ於テ本令ニ依リ登記用紙ヲ閉鎖スヘキトキハ舊登記簿ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十六條 耕地整理ニ依ル建物ニ關スル登記ハ耕地整理施行ノ爲既登記ノ建物ノ分合、其ノ番號若ハ構造ノ變更、其ノ滅失、其ノ建坪ノ増減又ハ建物ノ新築アリタルトキ之ヲ爲ス登記シタル建物ノ敷地ノ番號ノ變更アリタルトキ亦同シ

第二十六條ノ二 第八條ノ二乃至第八條ノ四ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準

用ス

第二十七條 耕地整理法第三十六條ノ規定ニ依リ整理施行者ノ爲スヘキ建物ニ關スル登記ノ申請ハ土地ニ關スル登記ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第二十八條 登記官吏土地及建物ニ關スル登記ヲ完了シタルトキハ其ノ旨整理施行者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ通知ヲ受クヘキ者共同施行者ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミニ通知スルヲ以テ足ル

第二十九條 登記官吏第十五條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ換地及從前ノ土地ノ表示、耕地整理ニ因リテ所有權及地役權ニ關スル登記ヲ爲シタル旨ヲ換地ノ所有者ニ通知スヘシ

第三十條 本令ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
整理地登記規則ハ之ヲ廢止ス

第三十一條 舊耕地整理法第四十八條ノ認可アリタル土地ノ登記ニ關シテハ第七條乃至第八條ノ五、第十一條ノ二及第十六條乃至第二十四條ノ三ノ規定ヲ準用スルノ外整理地登記規則ヲ適用ス但シ同規則第三條第二號及第三號ノ規定ハ此限ニ在ラス

○耕地整理登記令施行細則

明治四十二年十月十四日
司法省令第二十一號

第一條 耕地整理登記令ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除

クノ外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 整理施行地區カ二以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ニ於テハ土地ニ關スル登記ノ申請ハ各登記所ノ管轄ニ屬スル地域毎ニ之ヲ爲スヘシ

第三條 削除

第四條 耕地整理登記令第五條ノ規定ニ依リ登記ノ申請書ニ添付スヘキ圖面ニハ換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號並方位及地役權ノ存スル換地ノ部分ノ段別若ハ坪數並其ノ部分ノ符號ヲ記載シ申請人ニ署名捺印スヘシ

第五條 耕地整理法第三十條第四項ノ規定ニ依ル地方長官ノ通知書及左ニ掲ケル添付書類ハ之ヲ申請書ニ合綴シ別冊ト爲スヘシ
一 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本
二 整理施行者ノ氏名、住所又ハ名稱及事務所ヲ記載シタル書面
三 換地説明書
四 整理確定圖

前項ノ通知書及第一號乃至第三號ノ書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ但シ耕地整理登記令第八條第二項ノ規定ニ依リ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ最後ノ申請書受附ノ日ヨリ之ヲ起算スヘシ

第六條 第四條ノ圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載シ前條ノ書類ニ之ヲ合綴スヘシ

前項ノ圖面ニハ番號ヲ附シ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第六條ノ二 整理確定圖ニハ申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ但シ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ

其ノ都度之ヲ記載スヘシ

第六條ノ三 第五條第三項ノ整理確定圖ノ番號ハ土地ノ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ、第六條第二項ノ圖面ノ番號ハ乙區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第七條 耕地整理登記令第十一條第二項ノ場合ニ於テ未登記ノ從前ノ土地カ二箇以上ナルトキハ其ノ土地ヲ併記シテ所有權保存ノ登記ヲ爲スコトヲ得

第八條 耕地整理ニ因ル登記ヲ完了シタルトキハ從來ノ土地登記見出帳ノ全部又ハ一部ヲ改製スヘシ但シ整理施行地區内ノ土地寡少ナルカ爲改製ヲ要セザルトキハ不動産登記法施行細則第八條ノ規定ニ從ヒ見出帳ノ整理ヲ爲スコトヲ得

第九條 耕地整理登記令第八條ノ三、第十九條第一項、第二十六條ノ二、第二十八條、第二十九條及第三十一條ノ通知事項、通知ヲ受クヘキ者及通知ヲ發スル年月日ハ不動産登記法施行細則第十四條第十三號ノ通知簿ニ之ヲ記入スヘシ

第十條 耕地整理登記令第八條ノ三、第二十六條ノ二、第二十八條、第二十九條及第三十一條ノ通知ハ郵便其ノ他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十一條 耕地整理登記令第二十九條ノ通知ハ換地カ共有ナル場合ニ於テハ共有者ノ一人ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

第十二條 耕地整理法第九條ノ規定ニ依ル登記簿及其ノ附屬書類ノ謄寫ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第十三條 耕地整理登記令第八條ノ五但書ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

附則

本令ハ明治四十二年十月十六日ヨリ之ヲ施行ス
整理地登記取扱手續ハ之ヲ廢止ス但シ第六條ノ二ノ規定ハ舊耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行シタル土地ノ登記ニ關シテ仍効力ヲ有ス

○都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ

關スル登記ノ件 大正八年十一月二十八日(總理、司法) 勅令第四百八十四號 (大臣副署)

耕地整理登記令ハ都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ノ地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(大正八年勅令第四百八十一號ヲ以テ) 同九年一月一日ヨリ都市計畫法施行)

○司法省令第十八號 (大正八年十一月三十八日)

明治四十二年司法省令第二十一號耕地整理登記令施行細則ハ土地區劃整理地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ之ヲ準用ス 本令ハ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三節 法人及夫婦財產

○法人及夫婦財產契約登記取扱手續

明治三十二年五月三十一日 司法省令第十五號

改正 明治三十五年第一七號、四十四年第二二號、大正二年第一九號、五年第三〇號、七年第二號、一一年第三六號

第一條 法人登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ夫婦財產契約登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 法人登記見出帳及ヒ夫婦財產契約登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 登記所ニハ登記簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 印鑑簿
 - 二 申請書類送込帳
 - 三 決定原本送込帳
 - 四 抗告書類送込帳
 - 五 登記済證交付帳
 - 六 謄本抄本證明書交付帳
 - 七 受領證原符元帳
- 前項第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一十年毎ニ別冊ト爲スヘシ但分冊スルトヲ妨ケス

第三條ノ二 夫婦財產契約登記見出帳中名稱欄ニハ夫ノ氏名ヲ記載シ備考欄ニ妻ノ氏名ヲ記載スヘシ

第三條ノ三 法人設立ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中名稱欄ニ法人ノ種類ヲ記載スヘシ

第四條 外國法人ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セザルトキハ最モ之ニ類似セル欄ニ記載シタル上其名稱ヲ附記スヘシ

第五條 外國法人ノ事務所ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第六條 民法施行法第二十條第一項ノ規定ニ依リテ申請シタル法人ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中第四欄ニ主務官廳ノ認可アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載スヘシ

第七條 夫婦財產契約カ夫婦ノ一方ノ死亡ニ因リテ終了シタルトキハ他ノ一方ノ者ノミニテ登記ノ申請ヲ爲スヘシ 前項ノ場合ニ於テハ申請書ニ其事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第八條 夫婦財產契約ニ關シ登記シタル事項ノ變更ノ登記又ハ夫婦財產契約ノ登記ノ更正ハ登記用紙中管理者ノ變更及ヒ共有財產ノ分割欄ニ之ヲ爲スヘシ

第九條 商業登記取扱手續第二十一條第五項、第二十三條及ヒ第二十六條ノ規定ハ法人ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃至第七條、第九條乃至第二十條、第二十四條、第二十五條、第二十七條、第二十八條、第二十九條乃至第三十二條、第四十六條ノ規定ハ法人及ヒ夫婦財產契約ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

第十二條 本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 明治三十一年七月司法省令第六號法人及ヒ夫婦財產契約登記取扱

第二編 民事 第九章 登記 法人及夫婦財產

規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

附則 (大正五年司法省令第三十號)

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル帳簿及ヒ用紙ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スヘシ 見出帳ハ之ヲ改製スルマテハ仍ホ前從ノ雛形ニ依ルヘシ

附錄第一號

法人登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ
枚
地方裁判所長

備		豫		變		更	
七 出資ノ 方法	六 總額ノ 資産	五 期存立時	四 設立許可 ノ年月日	三 目的	二 事務所	一 名稱 (法人團)	登記ノ年月日 及登記官印 第一號 マデ 年月日登記
十 清算ノ 所名、 住氏		九 原因及 解散ノ 年月日		八 住氏名、 住所		理事ノ 年月日登記	
丁		丁		丁		丁	

更	變	更	變
更		變	
更	變	更	變
更		變	

丁

紙數表紙ヲ除キ 枚 地方裁判所長	附錄第二號 夫婦財産契約登記簿 區裁判所
------------------------	----------------------------

日本競馬會登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

九ノ氏名 及住所	清算人	八事由及 年月日	解散ノ 年月日	七氏名及 住所	監事ノ 潔
年月日 登記		年月日 登記			備

四 年月日 成立ノ	三 目的	二 事務所	一 名稱	登記ノ年 月日及 官印 第一欄 マヨリ 月 日 登記
		六 長、理 理事	長、副 理事	五 總額 支産ノ
		所 名及住 事ノ氏		

丁

更 變	更 變
更 變	更 變

丁

更	變	更	變
更	變	更	變

附錄第二號

日本競馬會登記受附帳	
區裁判所	

第四節 商業登記

○商業登記取扱手續

明治三十二年五月十三日 司法省令第十三號

改正 明治三十二年第二〇號、三十五年第一六號、三十九年第一號、四十四年第一九號、大正元年第四號、二年第二〇號、五年第二九號、一一年第三五號、昭和四年第三九號、第四二號、八年第一九號、一一年第二〇號

- 第一條 商業登記簿ハ附錄第一號乃至第九號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ但合資會社登記簿ヲ調製スルニハ附錄第七號雜形ノ第一欄ヨリ變更欄ニ至ルマテノ用紙ト社員ノ氏名、住所等ヲ記載スヘキ用紙ト別子初メニ第一欄ヨリ變更欄ニ至ルマテノ用紙ヲ纏メ其末尾ニ社員ノ氏名、住所等ヲ記載スヘキ用紙ヲ纏メテ之ヲ編綴スヘシ
- 第二條 商業登記簿ハ市町村毎ニ別冊ト爲スヘシ但市制又ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ從來ノ町村其他之ニ類スル區域毎ニ別冊ト爲シ東京市、京都市及ヒ大阪市ニ在リテハ其各區毎ニ別冊ト爲スヘシ
- 第三條 商法施行法第十五條第一項ニ依ル商號ノ登記ノ爲メ東京市及ヒ大阪府ニ存スル登記所 東京區裁判所及ヒ大阪府ノ管轄毎ニ別ニ商業登記簿ヲ備フヘシ
- 第四條 商業登記簿ノ見出帳ハ附錄第十號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第五條 受附帳ハ附錄第十一號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第六條 法律ニ依リ登記ノ申請書ニ捺印スヘキ者ハ豫メ其印鑑ヲ登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ但登記ノ申請ニ付キ委任ニ因ル代

年受附日ノ番受	年受附日ノ番受
號附	號附
目登記的ノ	目登記的ノ
ノ申請人	ノ申請人
備	備
考	考

理ヲ爲ス者ハ此限ニ在ラス

第七條 印鑑ハ附録第十二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第八條 登記所ニハ登記簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 印鑑簿
- 二 申請書類送達帳
- 三 決定原本送達帳
- 四 抗告書類送達帳
- 五 登記簿送達帳
- 六 謄本抄本證明書交付帳
- 七 受領證原符元帳
- 八 還納受領證送達帳

前項第二號乃至第八號ノ帳簿ハ一各年毎ニ別冊ト爲スヘシ但分冊スルコトヲ妨ケス

第九條 申請書、囑託書、通知書、届書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其他附屬書類ハ之ヲ登記簿ノ冊數及ヒ其丁數ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リテ申請書類送達帳ニ之ヲ編綴スヘシ

登記簿ノ種類ニ依リ前項ノ送達帳ヲ分冊シタルトキハ其表紙ニ登記簿ノ種類ヲ示スヘキ文字ヲ記載スヘシ

第九條ノ二 印鑑簿ハ永了ニ之ヲ保存スヘシ

受附帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本送達帳及ヒ抗告書類送達帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ

登記簿送達帳、謄本抄本證明書交付帳、受領證原符元帳及ヒ還納受領證送達帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十條 登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽又ハ登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

第十一條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ疏明スルニ足ルヘキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其關係ヲ疏明スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 閱覽セント欲スル登記事項
- 三 登記所ノ表示
- 四 年月日

第十二條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記事項
- 三 手数料ノ金額
- 四 登記所ノ表示
- 五 年月日

第十三條 登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲモ記載スヘシ

第十四條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通テ提出スヘシ

第十五條 前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項及ヒ年月日ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シ署名捺印シ且

登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第十四條 登記ノ申請人又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ

第十四條ノ二 官廳ノ許可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ官廳ノ許可書ノ到達シタル年月日ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ商法第二百四條ノ三第三項又ハ第二百五十六條ノ規定ニ依リ外國ニ於テ生シタル事項ノ登記ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條ノ三 代理人ニ依リテ申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其權限ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第十五條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、會社カ申請人ト受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第十六條 申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第十七條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スヘシ

第十八條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交又スヘシ但後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲メ設ケタル欄ニ付テハ此限ニ在ラス

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其餘白ニ朱線ヲ交又スヘシ

第十九條 變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ其左側ニ縱線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

變更ノ登記又ハ登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正シタル

ル登記事項ヲ朱抹スヘシ

第十九條ノ二 抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ抹消スヘキ登記事項ヲ朱抹スヘシ但抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スヘキ場合ハ此限ニ在ラス

第二十條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘシ

第二十一條 會社ノ設立ノ場合ヲ除ク外商法第五十一條第一項、第七條、第九條、第十一條第一項又ハ第二百四十二條ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其事由ヲ記載スヘシ會社ノ合併又ハ組織變更ニ因リ設立ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

非訟事件手續法第三百三十五條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ三ニ定メタル營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ノ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

同法第七十條第二項ノ規定ニ依リ商業登記ニ記載スヘキ事項ハ豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ

保險ヲ營業トスル株式會社設立費用償却ノ方法ノ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

破産法第二百二十二條及ヒ和議法第八條ノ規定ニ依リ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第二十二條ノ二 擔保附社債信託法ニ依リ社債ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スヘシ

第二十一條ノ三 擔保附社債信託法ニ依リ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ第二回以後ノ發行ノ登記ヲ爲スニハ信託證書ヲ表示シ之ニ基テ何回ノ發行ナルコト及ヒ第一回ノ發行ノ登記ニ表示シタル擔保ノ目的物カ同時ニ其回ノ社債ノ擔保ノ目的タルコトヲ記載スヘシ

第二十一條ノ四 登記官吏カ擔保附社債信託法第一百五條ノ規定ニ依リ主

務官廳ヨリ登記ノ囑託ヲ受ケタルトキハ左ノ規定ニ從フヘシ

一 囑託カ信託會社ノ事業ノ停止ニ關スル場合ニ於テハ登記用紙中豫備欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

二 囑託カ銀行事業ヲ兼ヌル信託會社ノ免許ノ取消ニ關スル場合ニ於テハ目的變更ノ登記ヲ爲スヘシ

三 囑託カ信託事業ヲ專業トスル信託會社ノ免許ノ取消ニ關スル場合ニ於テハ解散ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十一條ノ五 地方鐵道法第六條ノ二(軌道法第二十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ後配株ヲ發行シテ資本増加ヲ爲シタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第二十二條 社債又ハ資本若クハ株金ノ増加ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ事項ニ付キ更ニ登記ヲ爲スヘキトキハ變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第二十三條 非訟事件手續法第四百八條ノ規定ニ依リ登記ノ更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第二十四條 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコト竝ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字竝ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ユヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尚ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘシ

第二十六條 登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十七條 登記ノ申請人ハ登記簿證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

登記官吏カ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ附錄第十三號雛形ニ依リ登記簿證ヲ交付スヘシ

第二十八條 商業登記簿ノ見出帳ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

第二十八條ノ二 妻ノ登記ニ付テハ夫ノ氏名、法定代理人ノ登記ニ付テハ無能力者ノ氏名、支配人ノ登記ニ付テハ主人ノ氏名又ハ商號、外國會社ノ登記ニ付テハ會社ノ種類ヲ見出帳ノ備考欄ニ記載スヘシ

第二十九條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳中備考欄ニ其事由ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ

第三十條 商號ノ變更又ハ未成年者、妻、法定代理人若クハ支配人ノ氏名ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中更ニ相當ノ部ニ其見出ヲ移シ前ノ見出ノ備考欄ニ第何冊第何丁ニ移シタル旨ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ

第三十一條 甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其部分ニ屬スル登記簿又ハ其謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スヘシ但登記簿ノ謄本ニハ現存セル登記ノミヲ謄寫ス

ヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉出シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移スヘシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第三十三條 會社ノ商號ハ商號登記簿ニ登記スルコトヲ要セス

第三十四條 同一ノ當事者ヨリ數箇ノ商號ノ登記ノ申請アリタルトキハ各商號ニ付キ各別ノ登記用紙ニ登記ヲ爲スヘシ

第三十五條 商業ヲ營ム未成年者カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ未成年者ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十六條 商業ヲ營ム妻カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ妻ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ其夫ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十七條 無能力者ノ爲メニ商業ヲ營ム法定代理人カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ法定代理人ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ新法定代理人ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十八條 前三條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記事項ノ消滅シタルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第三十九條 數人ノ支配人ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ各別ノ登記

第二編 民事 第九章 登記 商業登記

用紙ニ登記ヲ爲スヘシ

支配人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ支配人ノ選任ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第三十九條ノ二 支配人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ニハ他ノ支配人ノ登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數及ヒ丁數ヲ附記スヘシ

第四十條 登記ヲ爲シタル未成年者、妻若クハ法定代理人ノ營業所又ハ支配人ヲ置キタル營業所カ登記所ノ管轄外ニ移轉シタルトキハ登記用紙中消滅欄ニ其登記ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ他ノ營業所アル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ營業所カ商號ノ效力ヲ有スル區域外ニ移轉シタルトキハ登記用紙中消滅欄ニ其登記ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十二條 前條ノ規定ハ市町村又ハ商號ノ登記ノ效力ニ付キ市町村ニ準スヘキ區域ノ變更ニ因リ商號ノ登記ノ效力カ消滅シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 合資會社ノ社員ノ氏名、住所、出資及ヒ責任ノ登記ハ登記簿ノ末尾ニ編綴セル用紙ニ之ヲ爲スヘシ其登記事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ付テモ亦同シ

第四十三條ノ二 會社ノ社員ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記及ヒ社員ト支配人トノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ會社ノ設立ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中代表社員ノ氏名欄ニ之ヲ爲スヘシ

第四十三條ノ三 會社ヲ代表スヘキ取締役ノ登記、取締役ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記及ヒ取締役ト支配人トノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ會社ノ設立ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中取締役ノ氏名住所欄ニ

之ヲ爲スヘシ

第四十三條ノ四 第三十九條ノ二ノ規定ハ會社ノ社員又ハ取締役ト支配人トノ共同代表ニ關スル規定ニ登記ニ之ヲ準用ス

第四十三條ノ五 株主總會ノ決議無効ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲シ決議無効ノ判決ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及ヒ其判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載シ抹消ニ係ル登記アルトキハ其登記ヲ復活スヘシ

前項ノ登記ヲ爲シタルトキハ決議シタル事項ノ登記ヲ抹消スヘシ

前二項ノ規定ハ創立總會ノ決議無効ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四十四條 會社カ其本店又ハ支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ本店又ハ他ノ支店アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第四十四條ノ二 會社カ其本店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ新所在地ノ登記所ノ管轄内ニ支店アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第四十四條ノ三 會社ノ支店ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十四條ノ四 會社ノ設立無効ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及ヒ年月日欄ニ之ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ設立無効ノ判決ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及ヒ其判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載スヘシ

第四十四條ノ五 會社ノ設立取消ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及ヒ年月日欄ニ之ヲ爲スヘシ

日欄ニ之ヲ爲スヘシ

第四十四條ノ六 裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於ケル登記ノ申請書ニハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十四條ノ七 會社ヲ代表スヘキ清算人ノ登記及ヒ清算人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ始メテ清算人ノ選任ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中清算人ノ氏名住所欄ニ之ヲ爲スヘシ

第四十四條ノ八 非訟事件手續法第百五十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及ヒ其登記カ商法又ハ非訟事件手續法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ記載スヘシ

第四十四條ノ九 非訟事件手續法第百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其事由ヲモ記載スヘシ

第四十四條ノ十 非訟事件手續法第百五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及ヒ許可ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第四十四條ノ十一 會社登記簿ニ合併又ハ組織變更ニ因ル解散ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

破産手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ強制和議認可決定ニ因リ破産手續終結シタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第四十五條 會社登記簿ニ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十六條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

附則 (明治四十四年司法省令第十九號)
本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ニ登記所ノ受附ケタル事件ニハ從前ノ規定ヲ適用ス
本令施行前ニ登記シタル事項ニ關スル登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ
從前ノ規定ニ依リ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社カ社債ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ各社債ニ付キ拂込ミタル金額ノ登記ハ各社債ノ金額欄ニ、資本増加ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ優先株ノ種類及ヒ其各種ノ株式ノ數ノ登記ハ優先株主ノ權利欄ニ之ヲ爲スヘシ
前項ノ規定ハ從前ノ規定ニ依リ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社ノ社債ノ登記及ヒ株金ノ増加ノ登記ニ之ヲ準用ス
附則 (大正五年司法省令第二十九號)
本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ニ調製シタル帳簿及ヒ用紙ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スヘシ
見出帳ハ之ヲ改製スルマテハ仍ホ從前ノ雛形ニ依ルヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第四十七條 外國會社ノ登記ハ其會社ト同種ノ會社ノ登記簿又ハ最モ之ニ類似セル會社ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セザルトキハ最モ之ニ類似セル欄ニ記載シタル上其名稱ヲ附記スヘシ

第四十七條ノ二 第四十四條ノ二ノ規定ハ外國會社カ其支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條 外國會社ノ支店ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十九條 商法施行前ニ登記シタル事項ノ變更若クハ消滅ノ登記又ハ商法施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ニ付キ商法施行法ノ規定ニ依リ其會社ノ登記ニ追加スヘキ事項ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ但從來ノ登記簿用紙中相當ノ欄ナキ事項ニ付テハ變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第四十九條ノ二 非訟事件手續法第百三十五條ノ二第一項、第百三十五條ノ四第一項、第百九十五條ノ二、第百九十五條ノ二、第百九十五條ノ二、第百九十五條ノ二第二項、擔保附社債信託法第百十五條及ヒ鐵道國有法第百一十五條ノ二、依ル登記ノ囑託ニ付テハ登録稅ヲ要セズ

第四十九條ノ三 登記官吏カ其職務上過料ニ處セラレヘキ者アルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク其事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スヘシ

第五十條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十八條、第三十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ第七十一條第一項ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

第二編 民事 第九章 登記 商業登記

附錄第一號

商號登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

登記官印 月日及ヒ 登記官印	號				備
	四 住所 氏名、 用者ノ	三 營業所	二 營業ノ 種類	一 商號	
登記ノ年 月日及ヒ 右【明治】年 月 日登記					豫
備					

丁

更	變
減消	更
【明治】年 月 日登記	變

附錄第二號

未成年者登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

號		第	登記 番號
備	豫	登記ノ年 月日及ヒ 登記官印	一 未成年 者ノ氏 名、住 所
		右【明治】年 月 日登記	二 營業ノ 種類
		三 營業所	變
減消	更		變
【明治】年 月 日登記			

丁

號		第	登記 番號
備	豫	登記ノ年 月日及ヒ 登記官印	一 未成年 者ノ氏 名、住 所
		右【明治】年 月 日登記	二 營業ノ 種類
		三 營業所	變
減消	更		變
【明治】年 月 日登記			

(台三)

附錄第三號

妻
登
記
簿

區
裁
判
所

紙數表紙ヲ除キ	地方裁判所長
枚	

號		第	登記 番號
備	豫	登記ノ年 月日及ヒ 登記官印	一 未成年 者ノ氏 名、住 所
		右【明治】年 月 日登記	二 營業ノ 種類
		三 營業所	變
減消	更		變
【明治】年 月 日登記			

丁

(台三)

號		第	番	登
號		第	番	登
備	豫	登記ノ年 月日及ヒ 登記官印	三 營業所	二 無能ノ 者ノ住 所及力 住氏
		右【明治】 年月 日登記	一 法定代 理人ノ 住所及 資格	一 妻ノ氏 名、住 所
減消	更	變		
【明治】年 月 日登記				

附録第四號	法定代理人登記簿
紙數表紙ヲ除キ	枚
地方裁判所長	區裁判所

(合三)

七六〇

號		第	番	登
號		第	番	登
備	豫	登記ノ年 月日及ヒ 登記官印	三 營業所	二 無能ノ 者ノ住 所及力 住氏
		右【明治】 年月 日登記	一 法定代 理人ノ 住所及 資格	一 妻ノ氏 名、住 所
減消	更	變		
【明治】年 月 日登記				

號		第	番	登
號		第	番	登
備	豫	登記ノ年 月日及ヒ 登記官印	三 營業所	二 無能ノ 者ノ住 所及力 住氏
		右【明治】 年月 日登記	一 法定代 理人ノ 住所及 資格	一 妻ノ氏 名、住 所
減消	更	變		
【明治】年 月 日登記				

七六一

(合三)

更	變
更	變

丁

更	變
更	變

號						第	番	登
六 名代 員表 ノ社	五 年設 月立 日ノ	四 目 的	三 支 店	二 本 店	一 商 號	記 官 印 ヲ ケ ケ ケ	年 月 日 ノ 第 一 ヨ	登 記 ノ 第 一 ヨ
							【明治】	年 月
七								
價 及 種 資 所 名 ノ 社 格 ヒ 類 ノ 出 住 氏 員								

丁

備	豫	一 十 月 了 清 算 結 了 ノ 年	十 所 名 ノ 清 算 人 住 氏	九 日 ヒ 事 由 散 ノ 及 ノ	八 ノ ハ 時 存 立 ノ 事 由 散 又 ノ
		登 記	登 記	登 記	
		【明治】	【明治】	【明治】	
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
備					

附錄第七號

合資會社登記簿

區裁判所

地方裁判所長

紙數表紙ヲ除キ
枚

--	--

(台三)

號						第	登記 番號
六 代 表 社 員 名	五 年 設 立 日	四 目 的	三 支 店	二 本 店	一 商 號	登 記 ノ 日 月 年	第 一 欄 第 一 日 登 記 【 明 治 】 年 月
備	豫	一 十 一 清 算 結 了 ノ 日 月	十 一 清 算 ノ 所 名 住 氏 人	九 日 事 由 及 ノ	八 ノ 時 存 立 ノ 事 由 及 ノ	七 丁 記 載 ノ 氏 名 等	
		【 明 治 】 年 月 日	登 記 【 明 治 】 年 月 日	登 記 【 明 治 】 年 月 日			

丁

備	豫
更	變

更	變
更	變

丁

(台三)